（仮称）人生100年の学びの拠点
中頓別学園整備工事

J-221730-C

2024年8月

日建設計

図面リスト（建築工事）

意　匠　図

通し番号	図面番号	名　　称	縮尺
1	1 － 1	工事概要書(1)	－
2	1 － 2	工事概要書(2)	－
3	1 － 3	見積区分表	－
4	2 － 1	付近見取り図・配置図	1/4000 1/400
5	2 － 2	現況図・先行撤去図	1/400
6	2 － 3	現況測量図・敷地求積図 ・平均地盤算定図	1/400 1/800
7	2 － 4	面積算定図・面積表(1)	1/200
8	2 － 5	面積算定図・面積表(2)	1/200
9	3 － 1	改修前　仕上共通事項・仕上表(1)	－
10	3 － 2	改修前　仕上表(2)	－
11	3 － 3	改修後　仕上共通事項・仕上表(1)	－
12	3 － 4	改修後　仕上表(2)	－
13	3 － 5	改修後　仕上表(3)	－
14	3 － 6	改修後　仕上表(4)	－
15	4 － 1	改修前　ピット平面図	1/200
16	4 － 2	改修前　1階平面図	1/200
17	4 － 3	改修前　2階・塔屋階平面図	1/200
18	4 － 4	改修後　ピット平面図	1/200
19	4 － 5	改修後　1階平面図	1/200
20	4 － 6	改修後　2階平面図	1/200
21	4 － 7	改修後　塔屋階平面図・屋根平面図	1/200
22	4 － 8	改修前　立面図	1/200
23	4 － 9	改修後　立面図	1/200
24	4 － 9A	躯体目地位置図	1/200
25	4 － 10	改修前　断面図	1/200
26	4 － 11	改修後　断面図	1/200
27	5 － 1	改修前　1階・2階天井伏図	1/200
28	5 － 2	改修後　1階天井伏図	1/200
29	5 － 3	改修後　2階・塔屋階天井伏図	1/200
30	6 － 1	建具共通事項	－
31	6 － 2	建具詳細図(1)	－
32	6 － 2A	建具詳細図(2)	－
33	6 － 2B	建具詳細図(3)	－
34	6 － 3	改修前　建具案内図	1/200
35	6 － 4	改修前　建具表(1)	1/200
36	6 － 5	改修前　建具表(2)	1/200
37	6 － 6	改修後　建具案内図(1)	1/200
38	6 － 7	改修後　建具案内図(2)	1/200
39	6 － 8	改修後　建具表(1)	1/100
40	6 － 9	改修後　建具表(2)	1/100
41	6 － 10	改修後　建具表(3)	1/100
42	6 － 11	改修後　建具表(4)	1/100
43	6 － 12	改修後　建具表(5)	1/100
44	6 － 13	改修後　建具表(6)	1/100
45	6 － 14	改修後　建具表(7)	1/100
46	6 － 15	改修後　建具表(8)	1/100
47	7 － 1	防水範囲図	1/300
48	7 － 2	断熱範囲図	1/300
49	8 － 1	増築部　矩計図(1)	1/50
50	8 － 2	増築部　矩計図(2)	1/50

通し番号	図面番号	名　　称	縮尺
51	8 － 3	増築部　矩計図(3)	1/50
52	8 － 4	増築部　矩計図(4)	1/50
53	8 － 5	既存改修部　断面詳細図(1)	1/50
54	8 － 6	既存改修部　断面詳細図(2)	1/50
55	8 － 7	既存改修部　断面詳細図(3)	1/50
56	8 － 8	既存改修部　断面詳細図(4)	1/50
57	8 － 9	既存改修部　断面詳細図(5)	1/50
58	8 － 10	既存改修部　断面詳細図(6)	1/20
59	9 － 1	改修前　1階平面詳細図(1)	1/100
60	9 － 2	改修前　1階平面詳細図(2)	1/100
61	9 － 3	改修前　2階平面詳細図(1)	1/100
62	9 － 4	改修前　2階平面詳細図(2)	1/100
63	9 － 5	改修後　1階平面詳細図(1)	1/100
64	9 － 6	改修後　1階平面詳細図(2)	1/100
65	9 － 7	改修後　2階平面詳細図(1)	1/100
66	9 － 8	改修後　2階平面詳細図(2)	1/100
67	9 － 9	改修後　塔屋階平面詳細図(1)	1/100
68	9 － 10	改修後　塔屋階平面詳細図(2)	1/100
69	9 － 11	普通教室詳細図(低学年)	1/50
70	9 － 12	普通教室詳細図(中学年)	1/50
71	9 － 13	普通教室詳細図(高学年)	1/50
72	9 － 14	階段詳細図	1/50
73	9 － 15	給食厨房詳細図	1/50
74	9 － 16	図書室3(畳コーナー)詳細図	1/50
75	9 － 17	便所詳細図	1/50
76	10 － 1	改修後　展開図(1)	1/100
77	10 － 2	改修後　展開図(2)	1/100
78	10 － 3	改修後　展開図(3)	1/100
79	10 － 4	改修後　展開図(4)	1/100
80	10 － 5	改修後　展開図(5)	1/100
81	10 － 6	改修後　展開図(6)	1/100
82	10 － 7	改修後　展開図(7)	1/100
83	10 － 8	改修後　展開図(8)	1/100
84	10 － 9	改修後　展開図(9)	1/100
85	11 － 1	撤去什器図(1)	1/30
86	11 － 2	撤去什器図(2)	1/30
87	11 － 3	撤去什器図(3)	1/30
88	11 － 4	部分詳細図(1)	－
89	11 － 5	部分詳細図(2)	－
90	11 － 6	部分詳細図(3)	－
91	11 － 7	部分詳細図(4)	－
92	11 － 8	部分詳細図(5)	－
93	11 － 9	部分詳細図(6)	－
94	11 － 10	家具詳細図(1)	1/30
95	11 － 11	家具詳細図(2)	1/30
96	11 － 12	家具詳細図(3)	1/30
97	11 － 13	家具詳細図(4)	1/30
98	11 － 14	家具詳細図(5)	1/30
99	11 － 15	家具詳細図(6)	1/30
100	11 － 16	家具詳細図(7)	1/30

通し番号	図面番号	名　　称	縮尺
101	11 － 17	家具詳細図(8)	1/30
102	11 － 18	家具詳細図(9)	1/30
103	11 － 19	家具詳細図(10)	1/30
104	11 － 20	家具詳細図(11)	1/30
105	11 － 21	家具詳細図(12)	1/30
106	11 － 22	家具詳細図(13)	1/30
107	11 － 23	家具リスト	－
108	12 － 1	EXP.ジョイント詳細図(1)	1/300
109	12 － 2	EXP.ジョイント詳細図(2)	1/300
110	12 － 3	昇降機設備図	1/50
111	13 － 1	サイン案内図	1/200
112	13 － 2	サイン詳細図	1/20
113	14 － 1	外構平面図	1/300
114	14 － 2	外構部分詳細図(1)	－
115	14 － 3	外構部分詳細図(2)	－
116	15 － 1	仮設計画図(参考図)	1/1000
117	16 － 1	Ⅰ期工事　1階平面図	1/200
118	16 － 2	Ⅰ期工事　2階平面図	1/200
119	16 － 3	Ⅰ期工事 改修前1,2階　平面詳細図	1/100
120	16 － 4	Ⅰ期工事 改修後1,2階　平面詳細図	1/100
121	16 － 5	Ⅰ期工事 断面詳細図、撤去什器図	1/50 1/30
122	17 － 1	防火区画図　1階	1/200
123	17 － 2	防火区画図　2階	1/200
124	17 － 3	防火区画図　塔屋階	1/200
125	17 － 4	法規チェック表	
	参考図	既存校舎設計図　一式	
		既存屋内体育館設計図　一式	

構　造　図

通し番号	図面番号	名　　称	縮尺
1	1 － 1	特記仕様書　構造編(1)	－
2	1 － 2	特記仕様書　構造編(2)	－
3	1 － 3	特記仕様書　構造編(3)	－
4	1 － 4	特記仕様書　構造編(4)	－
5	1 － 5	木質工事特記仕様書(1)	－
6	1 － 6	木質工事特記仕様書(2)	－
7	1 － 7	木質工事特記仕様書(3)	－
8	1 － 8	木質工事特記仕様書(4)	－
9	1 － 9	地盤改良工事特記仕様書	－
10	2 － 1	土質調査位置図、断面図	－
11	2 － 2	土質柱状図	－
12	3 － 1	棟1　基礎・ピット伏図	1/100
13	3 － 2	棟1　1階床梁伏図	1/100
14	3 － 3	棟1　2階床梁伏図	1/100
15	3 － 4	棟1　R階床梁伏図	1/100
16	3 － 5	棟1　R階＋1150床梁伏図	1/100
17	3 － 6	棟1　軸組図(1)	1/200
18	3 － 7	棟1　軸組図(2)	1/200
19	3 － 8	棟1　軸組図(3)	1/200
20	3 － 9	棟1　軸組図(4)	1/200
21	3 － 10	棟1　基礎断面表	1/50
22	3 － 11	棟1　基礎梁断面表	1/50
23	3 － 12	棟1　柱位置図	1/100
24	3 － 13	棟1　柱断面表	1/50
25	3 － 14	棟1　大梁断面表	1/50
26	3 － 15	棟1　小梁断面表	1/50
27	3 － 16	棟1　木部材断面表	－
28	4 － 1	棟2-1　伏図	1/100
29	4 － 2	棟2-1　軸組図	1/200
30	4 － 3	棟2-1　基礎・基礎梁断面表	1/50
31	4 － 4	棟2-1　柱位置図・柱,大梁,小梁断面表	1/100 1/50
32	5 － 1	棟2-2　伏図・軸組図	1/100 1/200
33	5 － 2	棟2-2　部材断面表	1/100 1/50
34	6 － 1	棟3　基礎・ピット伏図、1階床梁伏図	1/100
35	6 － 2	棟3　1階床梁伏図、R階床梁伏図	1/100
36	6 － 3	棟3　軸組図(1)	1/100
37	6 － 4	棟3　軸組図(2)	1/100
38	6 － 5	棟3　基礎・基礎梁断面表	1/50
39	6 － 6	棟3　柱位置図・柱断面表	1/100 1/50
40	6 － 7	棟3　大梁・小梁断面表	1/50
41	6 － 8	棟3　木部材,鉄骨部材断面表	－
42	7 － 1	壁・床スラブ断面表	－
43	8 － 1	標準配筋要領図(1)	－
44	8 － 2	標準配筋要領図(2)	－
45	8 － 3	標準配筋要領図(3)	－
46	8 － 4	標準配筋要領図(4)	－
47	8 － 5	標準配筋要領図(5)	－
48	8 － 6	標準配筋要領図(6)	－
49	8 － 7	標準配筋要領図(7)	－
50	8 － 8	標準配筋要領図(8)、ひび割れ対策要領図	－

通し番号	図面番号	名　　称	縮尺
51	8 － 9	配筋詳細図(1)	1/50
52	8 － 10	配筋詳細図(2)	1/30 1/20
53	8 － 11	配筋詳細図(3)	1/100 1/50
54	9 － 1	溶接開先基準図(1)	－
55	9 － 2	溶接開先基準図(2)	－
56	9 － 3	溶接開先基準図(3)	－
57	9 － 4	棟3　鉄骨詳細図	1/30
58	10 － 1	木詳細図(1)	1/20 1/10
59	10 － 2	木詳細図(2)	1/20 1/10
60	10 － 3	木詳細図(3)	1/20 1/10
61	11 － 1	改修工事特記仕様書(1)	－
62	11 － 2	改修工事特記仕様書(2)	－
63	11 － 3	改修工事特記仕様書(3)	－
64	12 － 1	棟2　改修前後図(1)	1/50
65	12 － 2	棟2　改修前後図(2)	1/50
66	12 － 3	棟2　改修前後図(3)	1/50
67	12 － 4	棟2　耐震壁改修リスト	1/100
68	12 － 5	棟2　配筋詳細図等	1/100

工事概要書(増築＋改修工事)

(J-221730-C)

1.工事概要

0-0 工事目的	既存建物を活用した町の学びの場としての義務教育学校を整備する。
1-1 工事名称	(仮称)人生100年の学びの拠点 中頓別学園整備工事
1-2 発注者	中頓別町　(⊙建築物所有者　)
1-3 設計者	改修工事　：株式会社 日建設計 既存建築物　：株式会社 岡田設計
1-4 監理者	改修工事　：未定 既存建築物　：株式会社 岡田設計
1-5 工事種別	・新築　⊙増築　・改築　⊙その他(　改修、解体　)
1-6 工事範囲 (工事項目)	⊙設計図に示す範囲 敷地内の既存建築物(給食センター等)は除く
1-7 改修工事の概要及び位置・範囲	増築校舎(棟1、棟2-1、棟2-2、棟3)：既存校舎に対する別棟増築 既存校舎(棟2)：屋根新設による増床、内装、外装、防水、断熱、建具、設備の改修 既存屋内体育館：内装、建具の改修、現行法適合のための設備改修
1-8 改修工事種目	a.建築改修工事 ⊙防水　⊙外壁　⊙建具　⊙内装　⊙塗装　・耐震　⊙環境配慮 ・カーテンウォール　⊙解体　⊙シックハウス対応　・その他(　　) b.設備改修工事
1-9 工事期間	工事着手　2024年 12月 10日　完成引渡し　2027年 3月 31日 (延べ　28カ月) 指定工期 ⊙Ⅰ期工事(既存校舎改修のうち図示の範囲)：2024年12月10日～2025年3月31日 ⊙Ⅱ期工事のうち増築工事　：2025年 7月 1日～2027年3月31日
1-10 部分使用・部分引渡し	・あり　⊙なし 範囲： 期日：　年　月　日
1-11 敷地及び法的規制等	a.工事場所(地名地番)：　北海道枝幸郡中頓別町字中頓別998-1 b.地域・地区 1)都市計画区域等　・都市計画区域 (・市街化区域　・市街化調整区域　・区域区分非設定) ・準都市計画区域 ⊙都市計画区域及び準都市計画区域外 2)防火地域　・防火地域　・準防火地域　⊙指定なし 3)用途地域　(　指定なし　) 4)その他　(　法22条区域　) c.道路 1)前面道路の種類　(　a.4条通り線　b.6条通り線　) 2)前面道路の幅員　(　a.　8.4m　b.　6m　) 3)接道長さ　(　a.　72.6m　b.　95.4m　) d.容積率制限　(　200　)% e.建蔽率制限　(　60　)% f.本工事に伴う確認申請 1)要否　⊙行う　・行わない 2)根拠　・既存建物に対する増築工事 ・既存建物に対する大規模改修工事 3)既存不適格への対応　⊙行う　(バリアフリー法、シックハウス、積雪荷重　) ・行わない g.建築基準法の主要用途　(　義務教育学校　) h.主要構造部の耐火種別　棟1　⊙準耐火建築物(ロ-1) 棟2　⊙耐火建築物 棟2-1 ⊙耐火建築物 棟2-2 ⊙耐火建築物 棟3　⊙準耐火建築物(ロ-1) 屋内体育館 ⊙耐火建築物 i.消防法の防火対象物　(　7　)項 j.その他 1)検証法適用の有無　・避難安全検証法　・耐火性能検証法　⊙なし 2)CASBEE目標ランク　・S　・A　⊙B+　・なし (増築範囲に限る)
1-12 既存建築物の経歴	<校舎> a.完成年月日　平成 2年 2月 25日 b.建築基準法の主要用途　(　小学校　) c.耐火建築物　⊙耐火建築物 d.消防法の防火対象物　(　7　)項 e.確認済証番号年月日 1)建築物　第1-202号　平成 1年 6月 30日 2)工作物　該当なし 3)昇降機　該当なし f.適合判定通知番号年月日 1)建築物　該当なし g.検査済証番号年月日 1)建築物　第129号　平成 2年 3月 6日 2)工作物　該当なし 3)昇降機　該当なし h.その他 1)検証法適用の有無　・避難安全検証法　・耐火性能検証法　⊙なし 2)CASBEEランク　・S　・A　・B+　⊙なし i.改修工事の経歴　2021 年 3 月　改修項目：外壁修繕工事 2021 年 3 月　改修項目：トイレ洋式化工事 <屋内体育館> a.完成年月日　平成 2年 11月 30日 b.建築基準法の主要用途　(　小学校　) c.耐火建築物　⊙耐火建築物 d.消防法の防火対象物　(　7　)項 e.確認済証番号年月日 1)建築物　第3-148号　平成 2年 6月 25日 2)工作物　該当なし 3)昇降機　該当なし f.適合判定通知番号年月日 1)建築物　該当なし g.検査済証番号年月日 1)建築物　第R05確済建築北海道庁01586号　令和 5年 11月 27日 2)工作物　該当なし 3)昇降機　該当なし h.その他 1)検証法適用の有無　・避難安全検証法　・耐火性能検証法　⊙なし 2)CASBEEランク　・S　・A　・B+　⊙なし

i.改修工事の経歴　2021 年 3 月　改修項目：トイレ洋式化工事

1-13 既存建築物の面積	a.敷地面積　(　21,790.10　)㎡ b.建築面積　(　2,701.23　)㎡　建蔽率　(　12.40　)% c.建築物全体の面積　(　3,850.73　)㎡ d.容積対象外面積　(　0　)㎡ e.延べ面積(容積対象面積)　(　3,850.73　)㎡　容積率　(　17.67　)% f.各階床面積の内訳

階	c.建築物全体の面積(㎡) (c＝d+e)	d.容積対象外面積(㎡)	e.延べ面積(㎡) (容積対象面積)
校舎RF	20.0480	－	20.0480
校舎2F	1,274.5260	－	1,274.5260
校舎1F	1,514.6527	－	1,514.6527
屋内体育館1F	1,041.50	－	1,041.50
合計	3,850.7267	－	3,850.7267

g.改修部分の床面積計　約　(　3,612.53　)㎡
h.解体部分の床面積計　約　(　238.20　)㎡

1-14 改修後の面積	a.敷地面積　(　21,790.10　)㎡ b.建築面積　(　5,107.74　)㎡　建蔽率　(　23.44　)% c.建築物全体の面積　(　7,567.49　)㎡ d.容積対象外面積　(　92.64　)㎡ 1)エレベーターの昇降路の部分　(　11.50　)㎡ 2)共同住宅又は老人ホーム等の共用の廊下等の部分　(　－　)㎡ 3)自動車車庫等の部分　(　－　)㎡ 4)備蓄倉庫の部分　(　30.37　)㎡ 5)蓄電池の設置部分　(　－　)㎡ 6)自家発電設備の設置部分　(　50.77　)㎡ 7)貯水槽の設置部分　(　－　)㎡ 8)宅配ボックスの設置部分　(　－　)㎡ 9)その他　(　－　)㎡ ⊙バリアフリー法での容積対象外面積　・あり(　㎡)　⊙なし ・ e.延べ面積(容積対象面積)　(　7,474.85　)㎡　容積率　(　34　)% f.各階床面積の内訳

棟	階	c.建築物全体の面積(㎡) (c＝d+e)	d.容積対象外面積(㎡)	e.延べ面積(㎡) (容積対象面積)
1 (増築)	2	723.59	5.75	717.84
	1	1,182.05	5.75	1,176.30
	小計	1,905.64	11.50	1,894.14
2 (既存)	塔屋	20.25	－	20.25
	2	1,340.34	30.37	1,309.97
	1	1,392.31	－	1392.31
	小計	2,752.90	30.37	2,722.53
2-1 (増築)	2	300.79	－	300.79
	1	363.11	－	363.11
	小計	663.90	－	663.90
2-2 (増築)	2	－	－	－
	1	396.90	－	396.90
	小計	396.90	－	396.90
3 (増築)	2	226.76	50.77	175.99
	1	579.89	－	579.89
	小計	806.65	50.77	755.88
屋内 体育館 (既存)	2	－		
	1	1,041.50	－	1,041.50
	小計	1,041.50	－	1,041.50
合計		7,567.49	92.64	7,474.85

1-15 建築物の高さ等	a.既存建築物 1)基準地盤面 SGL　TP ＋(　25.127　)m 2)平均地盤高さ　TP ＋(　　)m 3)1階床高　SGL＋(　0.6　)m 4)最高の軒の高さ　SGL＋(　12.4　)m 5)最高の高さ　SGL＋(　12.8　)m 6)基礎底深さ　SGL－(　1.2　)m b.改修後の建築物 1)基準地盤面 SGL　TP ＋(　25.127　)m 2)平均地盤高さ　TP ＋(　25.115　)m 3)1階床高　SGL＋(　0.6　)m 4)最高の軒の高さ　SGL＋(　12.550　)m 5)最高の高さ　SGL＋(　12.875　)m 6)基礎底深さ　SGL－(　3.580　)m
1-16 建築物の構造・規模	a.既存建築物 1)地業:　杭基礎 2)構造:　・SRC造　⊙RC造　⊙S造　・ 3)階数:　地上　2 階　塔屋　1 階 4)棟数:　2 棟 b.改修後の建築物 棟1　1)地業:　杭基礎 2)構造:　・SRC造　⊙RC造　・S造　⊙W造 3)階数:　地上　2 階　塔屋　1 階 棟2　1)地業:　杭基礎 2)構造:　・SRC造　⊙RC造　⊙S造　・W造 3)階数:　地上　2 階　塔屋　1 階 棟2-1　1)地業:　杭基礎 2)構造:　・SRC造　⊙RC造　・S造　・W造 3)階数:　地上　2 階　塔屋　階 棟2-2　1)地業:　杭基礎 2)構造:　・SRC造　⊙RC造　・S造　・W造 3)階数:　地上　1 階 棟3　1)地業:　杭基礎 2)構造:　・SRC造　⊙RC造　⊙S造　⊙W造 3)階数:　地上　2 階　塔屋　1 階
1-17 その他の工事概要	-
1-18 建築物の主要設備の概要	a.既存建築物　○ 1)電気設備:受変電、電灯、動力、接地、構内情報通信網、構内交換、拡声、情報表示、映像・音響、誘導支援、防犯、火災報知、構内配電線路、構内通信網 2)機械設備 (空気調和設備):温水ヒーター、パネルヒーター、床暖房、換気扇 (衛生設備):高架水槽、排水(下水放流) 3)その他設備: b.改修後の建築物 1)電気設備:受変電、自家発電、電灯、動力、接地、構内情報通信網、構内交換、拡声、情報表示、映像・音響、誘導支援、入退室管理、監視カメラ、防犯、火災報知、太陽光発電、構内配電線路、構内通信網 2)機械設備 (空気調和設備):温水ヒーター、パネルヒーター、床暖房、パッケージエアコン、外調機 (衛生設備):受水槽、雑用水槽、排水(下水放流) 3)その他設備:
1-19 特殊設備の概要	⊙なし
1-20 関連工事(別途工事)	⊙既存給食センター解体 ⊙既存給食センター跡地外構工事

2.改修工事の設計条件等

2-1 立地条件等	a.設計降雨量 1)降雨条件(降雨強度) イ.一般降雨条件　(　50　)mm/時間 ロ.瞬間降雨条件　(　50　)mm/時間　設定規模：(　20　)mm/10分 (出典：気象庁　中頓別町観測　史上最大値[2024年5月時点] ハ.敷地排水設計条件　(　　)mm/時間 ニ.接続する公共下水道の排水能力　(　　)mm/時間 2)とよい設計条件 イ.一般降雨条件によるとよい設計箇所：下記ロ.以外の箇所 ロ.瞬間降雨条件によるとよい設計箇所：(　　なし　) (出典：気象庁　中頓別町観測　史上最大値 [2024年5月時点] 3)雨水流出抑制の設定　・要　⊙不要 b.設計用地下水位　SGL－(2.8)m c.浸水対策　・要　⊙不要 1)設定浸水深　SGL＋(1.34)m イ.想定浸水の種類　(⊙河川氾濫　・内水氾濫　・高潮　・津波　・　　) ロ.想定降雨　(⊙想定最大規模降雨　・計画規模降雨　・　　) ハ.引用資料　(中頓別町2021年保存版災害ハザードマップ　) 2)浸水防止レベル　SGL＋(0.6)m　(＊防水扉高さ　⊙1階床高さ　・　) ＊浸水防止レベルは、開口部のほか外壁部を含めた建築物全周を対象とする。 d.寒冷地対策　⊙要　・不要 1)凍結深度　地表仕上面－(0.9)m 2)その他の凍害対策と範囲は、設計図による。 e.塩害対策　・要　⊙不要 f.卓越風風向　(方角：(夏)南西・北北西　(冬)西南西 出典：拡張アメダス標準年気象データ　) g.その他
2-2 構造設計条件	a-1.改修範囲の設計荷重 1)主要部分積載荷重 改修範囲の設計荷重と既存建物の設計荷重との差異 ・有り　⊙無し　・不明

棟	階	室名	積載荷重(N/㎡)			備考
			床用	架構用	地盤力用	
2	1～2	教室等	2300	2100	1100	
2	1～2	職員室等	2900	1800	800	
2	1～2	廊下	3500	3200	2100	

2)積雪荷重
改修範囲の設計荷重と既存建物の設計荷重との差異
⊙有り　・無し　・不明
イ.垂直積雪量　(1.8)m
ロ.積雪荷重(水平面に対して)(3870)N/m²
ハ.積雪の単位重量　(3000)N/m²
ニ.多雪地域指定の有無　⊙あり　・なし
ホ.勾配面における積雪荷重並びに他の外力との組合せによる応力計算の扱い方は、建築基準法施行令第3章第8節による。
a-2.増築範囲の設計荷重
1)主要部分積載荷重

棟	階	室名	積載荷重(N/㎡)			備考
			床用	架構用	地盤力用	
1,2-1,2-2,3	1～2	教室等	2300	2100	1100	
1,2-1,2-2,3	1～2	職員室等	2900	1800	800	
1,2-1,2-2,3	1～2	共用空間,ﾌﾟﾗｰﾄ等	3500	3200	2100	
1,2-1,2-2,3	1～2	機械室	6000	5000	3000	
1,2-1,2-2,3	1～2	電気室	8000	6000	4000	

2)積雪荷重
イ.垂直積雪量　(1.8)m
ロ.積雪荷重(水平面に対して)(3870)N/m²
ハ.積雪の単位重量　(3000)N/m²
ニ.多雪地域指定の有無　⊙あり　・なし
ホ.勾配面における積雪荷重並びに他の外力との組合せによる応力計算の扱い方は、建築基準法施行令第3章第8節及び同告示(平19建告第594号)による。
3)風圧力(特記仕様書各章に別の記載があるものを除く)
設計用風圧力算定基準は、建築基準法・同施行令第82条の4及び同告示(平12建告第1454号・同第1458号)により、条件等は次による。
イ.算定条件
① V_0　(　32　)m/s　(告示第1454号)
② 非構造部材、設備機器設計用風圧力の割増し(次によりV_0を割増して算定する)
<割増し>
⊙ なし(V_0 × 1.0、再現期間50年相当)
＊ V_0 × 1.07 (再現期間100年相当)
・ V_0 × 1.15 (再現期間200年相当)
・ V_0 ×(　)
<割増し適用範囲>
・ 指定以外は割増しなし(V_0 × 1.0)
＊ 建築物(昇降機、煙突以外の建築設備を除く)
＊ 全ての屋外工作物(フェンス、看、サイン等)
・ 建築設備(昇降機、煙突を除く)
・
③ 地表面粗度区分　・Ⅰ　・Ⅱ　⊙Ⅲ　・Ⅳ(*)　(告示第1454号)
注)(*) 非構造部材及び設備機器設計用は、Ⅲとする。
④ 風力係数　＊告示による　・風洞実験による　・
ロ.設計用風圧力の最小値
＊±1,200Pa　・
ハ.1階又は高さ13m以下の部分の設計用風圧力
＊上記イ・ロを適用する。
・設計図により、最小値はロを適用する。
ニ.屋内における風圧力の適用
適用箇所　(　　)
設計用風圧力　・上記イ～ハにより算定　・(　　)N/㎡
ホ.他の外力との組合せによる応力計算の扱い方は、建築基準法施行令第3章第8節による。
4)地震荷重
改修範囲の設計荷重と既存建物の設計荷重との差異
⊙有り　・無し　・不明
イ.地域係数 Z　・1.0　・0.9　⊙0.8　・0.7
ロ.地盤種別　・第1種　⊙第2種　・第3種
ハ.地盤力の割増し係数 I　・1.0　⊙1.25　・1.5　・
ニ.他の外力との組合せによる応力計算の扱い方は、建築基準法施行令第3章第8節による。
b-1.改修範囲の構造耐震性能
1)確認の方法は、次による。
・現行建築基準法に準拠
・耐震診断により構造耐震性能を確認し、建築確認を取得
・耐震診断により構造耐震性能を確認し、耐震改修促進法による改修認定取得
・耐震診断により構造耐震性能を確認したが、法的手続は行っていない
・構造耐震性能は確認していない
⊙既存建築物の令力の範囲内になることを確認
2)改修後の建築物の構造耐震判定指標と検証結果

棟		検証方法	構造耐震判定指標	検証結果
2	X	既存建築物の令力の範囲内にあることを確認		令力の範囲内にあることを確認
	Y	内にあることを確認		令力の範囲内にあることを確認
	X			
	Y			

b-2.増築範囲の構造耐震性能
1)確認の方法は、次による。
⊙許容応力度計算又は保有水平耐力計算
・限界耐力計算
・時刻歴応答解析
2)許容応力度等計算又は保有水平耐力計算による場合の耐震計算ルート等

棟		耐震計算ルート	一次設計ベースシェア係数	備考
2-1,2-2	X	ルート1	0.16	
	Y	ルート1	0.16	
1,3	X	混構造ルート2	0.16	
	Y	混構造ルート2	0.16	
	X			
	Y			

作工	・・	・・	
検工	・・	・・	
		・・	
監理		・・	
		・・	
施工		・・	

勝矢　武之　一級建築士
岩村　友惠　一級建築士
宮城　正弘　一級建築士・構造設計一級建築士(法適合確認)
丹保　洋人　一級建築士・設備設計一級建築士(法適合確認)
永井　悟史　意見を聴いた建築設備士

日建設計

2024.08.30　検図者：竹内　鈴

(仮称)人生100年の学びの拠点
中頓別学園整備工事

工事概要書(1)

意　(通し番号　1　)
1 － 1

No.　J－221730－C

'23.07.31 仕様書委員会 改訂その1 Ver2.00

780×570

3)長期地震動対策
・あり（　　）
⊙なし

2-3 免震構造
クライテリア

a.改修範囲の耐震性能
⊙耐震性能の変更を伴わない

b.増築範囲の構造体の耐震安全性の分類は、次による。

⊙耐震安全性の分類法1	・Ⅰ類　⊙Ⅱ類　・Ⅲ類　・ 「Ⅰ類～Ⅲ類の定義は「官庁施設の総合耐震・対津波計画基準（平成25年制定）」の考え方に基づく。
・耐震安全性の分類法2a ・耐震安全性の分類法2b	・特級　・上級　・基準級　・その他（　　） 特級～基準級の定義は「JSCA性能設計説明書2017年版【耐震性能編】」の考え方に基づく。 ・免震特級　・免震上級　・免震基準級 ・その他（　　） 免震特級～免震基準級の定義は「JSCA性能設計説明書2017年版【耐震性能編】」の考え方に基づく。
・耐震安全性の分類を行わない	建築基準法に準拠 （　　）

c.増築範囲の建築非構造部材及び設備機器にかかわる設計用層間変位、設計用地震力等の設計条件は、次による。

1)設計用層間変位

設定レベル	ケース1	ケース2
設計用層間変位（H:階高）	⊙H/200　・H/150 ・H/（　　）	⊙H/100　・H/75 ・H/（　　）
備考		

2)設計用地震力

ア.設計用地震力

設計用地震力 = 部材又は機器の自重（W）× 設計用震度

部材又は機器の自重：各部材又は機器そのものの自重及び付属する部品等を含む。

設計用震度　：下記イにより、特定天井を除く非構造部材及び設備機器等の設計用震度は、ケース2への適用とする。ケース1の場合は、当該数値の（✱1/5　⊙1/2　・　　）を目安とする。

イ.設計用震度

①建築非構造部材及び各固定部の設計用震度（告示第771号による特定天井を除く）

水平震度　：　下表の　K_H

鉛直震度　：　下表の　K_V

水平＋鉛直同時作用　✱考慮する　K_H +（⊙1/2　・　）×K_V

（適用部位：　　）

・考慮しない

ただし改修特仕3章以降において指定がある場合には、各章での記載による。

②設備機器固定の設計用震度

水平震度　：　下表の　Ks　（機器の耐震クラスに応じた値とする）

鉛直震度　：　下表の　1/2・K_S　又は　K_V　の大きい方

建築物各部での設計用震度（告示第771号による特定天井を除く）

階	水平震度 K_H 床面	水平震度 K_H 非構造部材		水平震度 K_H 設備機器 K_S		鉛直震度 K_V	備考
		共通	吊天井	S	A		
塔屋（ＲＦ）	0.9	0.9	1.5	2.0	1.5	1.0	
上層階（２Ｆ）	0.7	0.7	1.3	2.0	1.5	1.0	
中間階（　～　Ｆ）							
地　階（１Ｆ）	0.4	0.4	0.9	1.0	0.6	1.0	

注1)階の定義は、次による。

⊙上記表中の記載による

・次による。

塔屋：　塔屋部分

上層階：　最上階から数えて4層の階（階数：12階建超の場合）

同　　3層の階（階数：10階～12階建の場合）

同　　2層の階（階数：7階～9階建の場合）

最上階（1層）のみ　　（階数：6階建以下の場合）

中間階：　地階、上層階及び塔屋階を除く階

地　階：　1階及び地下階

注2)用天井は、軽量鉄骨天井下地を用いた天井に適用し、天井面での震度とする。それ以外の構造躯体に直接取付けた天井材、天井吊り設備等は、「共通」の震度を適用する。

注3)設計用震度は、設置階にかかわらず、当該部材が取付けられた、あるいは吊られた床面の階の値を適用する。複数階にまたがる非構造部材の震度は数値の大きい方の階による。

注4)設備機器の区分は、日本建築センター「建築設備耐震設計・施工指針」2014年版における耐震クラスに準拠するものとし、下記の耐震要求性能における耐震クラスの区分に応じて適用する。

注5)建築非構造部材及び設備機器における設計用震度の割増し等の適用

・する　（✱2-2構造設計条件a.4)ハ.による係数　・　　）

✱しない

③告示第771号による特定天井の設計用震度

告示第771号に基づく特定天井の設計用震度

特定天井を有する室名	階（階区分）	検証ルート	水平震度 K_H	鉛直震度 K_V	クリアランス	備考
	階（上層階）				mm	
	階（中層階）				mm	
	階（下層階）				mm	

注1）天井の設計用震度は床面ではなく、天井面での数値を示す。階は天井が存在する階を示す。

注2）階の区分は、告示第771号による。

注3）備考欄に「告示外」とある部分は、告示第771号には該当しないが告示に基づく構造方法とする天井をいう。

d.増築範囲の敷地及び建築物各部の耐震要求性能は、次の各項目による。

1)地盤及び構造躯体の耐震要求性能は、極めて稀に発生する地震動の場合であっても人命を守ることを前提とし、地震規模の想定における損傷の度合いを次に定める。

地震規模の想定	稀に発生する地震動	極めて稀に発生する地震動
地盤の液状化	液状化危険度はかなり低い。	液状化危険度は低い。
構造躯体	主要構造体は、短期設計荷重に対してほとどまり、コンクリート非構造部材にも仕上げ材がはく落するような大きなひび割れが発生しない。構造骨組に有害な残留変形や補修が必要のものはみられない。正常ならないと見えにくい程度のひび割れの発生にとどまる。	柱・その他主要構造部材の耐力は、短期設計荷重の1.5倍程度は保持するとされ、変形能力は、層間変形角1/100程度は保持されるが、塑性変形が一部に生じ残留変形や補修が必要となる。また、主要構造部材、一部非構造部材の損傷は、ある程度は生じるが、崩壊に至るまでは、十分な耐力を保持しており、人命の安全は確保される。ただし、補修費用は、建物の使用目的、その用途等を考慮し、建物の使用目的を考慮する。

2)建築非構造部材及び設備機器の耐震要求性能は、ケース2の場合であっても人命を守ることを前提とし、設定レベルにおける建築物各部位各設備ごとの損傷の度合いと機能継続の状況を、次に定める。各章に耐震要求性能の記述がある場合は、より高い方の要求性能を採用する。非構造用部材及び設備機器における設計用地震力に対し、各部は短期許容応力度以下となることを原則とする。

設定レベル		ケース1	ケース2
建築	外装ＣＷ	⊙何ら損傷がない。	⊙軽微な破損にとどまる。
	断熱複合パネル	⊙軽微な破損にとどまる。	⊙一定の破損・変形にとどまり、脱落がない。
	シーリング	⊙シーリング切れなし。	⊙打換えが困難な部分でのシーリング切れなし。
非構造部材	ガラス	⊙何ら損傷がない。	⊙何ら損傷がない。
	乾式間仕切壁（一般）	⊙何ら損傷がない。	⊙軽微なひび割れ以下にとどまる。
	一般用建具	⊙何ら損傷がない。	⊙軽微な破損にとどまる。
	防災用建具	⊙何ら損傷がない。	⊙軽微な破損にとどまり、必要な開閉機能等を保持する。
	一般天井	⊙何ら損傷がない。	⊙軽微な破損にとどまる。
	避難経路の内装（壁・天井）	⊙何ら損傷がない。	⊙軽微な破損にとどまり、避難上支障のある損傷や変形、脱落なし。
	エキスパンションジョイント（内外装）	⊙何ら損傷がない。	⊙軽微な破損や変形にとどまる。止水性能や耐火性能はその機能を維持する。
	OAフロア	⊙何ら損傷がない。	⊙軽微な破損にとどまる。
	その他の一般内装	⊙何ら損傷がない。	⊙軽微な損傷に納まる。
	昇降機設備エレベーター	⊙何ら損傷がない。	⊙軽微な破損にとどまるが使用可能。設計図による数値（0a1）以上は、保守員の点検が必要。
	屋外看板サイン等	⊙何ら損傷がない。	⊙軽微な損傷に納まる。
	避難梯子	⊙何ら損傷がない。	⊙軽微な損傷に納まる。

注1）軽微な破損とは、簡単な補修で復旧可能な程度であり、建築物の継続的な使用に支障をきたさない程度の破損をいう。

注2）一定の破損とは、応急的な処理で建築物の一定期間の使用が可能な程度の破損をいう。

設定レベル	耐震（クラス）	ケース1	ケース2
電気設備	受変電設備 A	⊙転倒なし。軽微な破損にとどまる。	⊙転倒なし。補修を要するが、再使用可能。
	発電機設備（防災用） A	⊙補機類を含め転倒、脱落なし。軽微な破損にとどまる。	⊙補機類を含め転倒、脱落なし。補修を要するが、再使用可能。
	照明設備（一般分電盤等） B	⊙転倒、脱落なし。軽微な破損にとどまる。	⊙転倒、脱落なし。
	電話設備（交換機） B	⊙転倒、脱落なし。軽微な破損にとどまる。	⊙転倒、脱落なし。
	自火報・非常放送（受信機、蓄電池） A	⊙転倒、脱落なし。軽微な破損にとどまる。	⊙転倒、脱落なし。
機械設備	設定レベル / 耐震（クラス）	ケース1	ケース2
	熱源設備 A	⊙軽微な破損にとどまり、一定期間使用可能。	⊙転倒なし、脱落なし。
	空調設備 B	⊙軽微な破損にとどまり、一定期間使用可能。	⊙転倒なし、脱落なし。補修を要するが、一定期間使用可能。
	監視制御設備 B	⊙軽微な破損にとどまり、一定期間使用可能。	⊙転倒なし、脱落なし。補修を要するが、一定期間使用可能。
	給水設備 B	⊙軽微な破損にとどまり、一定期間使用可能。	⊙転倒なし、脱落なし。補修を要するが、一定期間使用可能。
	排水設備 A	⊙軽微な破損にとどまり、一定期間使用可能。	⊙転倒なし、脱落なし。補修を要するが、一定期間使用可能。
	消火設備（その他）	⊙軽微な破損にとどまり、必要な機能は避難等に必要な一定期間維持する。	⊙部分的に破損しても、必要機能は避難等に必要な一定期間維持する。

注1)設備機器における設備耐震クラスとその耐震措置は、原則として日本建築センター「建築設備耐震設計・施工指針」2014年版における設備耐震クラスS,A,Bに準拠する。

注2)防振装置を設置した設備機器はランク増しとする。ただし設計用震度は2.0を上限とする。

注3)設備機器に接続される電気配線、配管、ダクト類については、機器の設備耐震クラスに応じて「建築設備耐震設計・施工指針」2014年版に記載された耐震措置を行う。

2-4 その他の建築設計条件

a.駐車場等

1)計画駐車台数

四輪車　合計		（　40　）台	
普通車対応	✱別途工事	（　37　）台	
車いす使用者対応		（　2　）台	
荷さばき対応		（　1　）台	
自転車		（　20　）台	

2)駐車場収容空間の制限　普通車　：長さ6.0m×幅2.5m×高さ2.1m

3)路外駐車場適用の有無　⊙なし　・あり(収容台数　　台)

4)搬入ルートの最大開口　幅（ 1600 ）m×高さ（ 2000 ）m（屋内体育館風除室）

b.テナント関連官方基準書　⊙なし　・あり(　　)

c.主要室の許容騒音値　⊙あり（位置：　教室　で　50　dB以下）

d.BCP対策　⊙要　・不要

1)非常用発電機電源の連続供給時間　（・2時間　・24時間　⊙72時間　・　　）

2)受水槽容量　（・日使用量の1/2　・　　）

3)汚水排水槽容量　（・日使用量の1/2　・　　）

4)帰宅困難者対応　⊙あり（ 345 ）人　・なし

e.関係法令、指導官庁（設計条件として特別なもの）　・（ 学校教育法 ）　・（ 文部科学省小中学校設置基準 ）

f.その他の設計条件　⊙なし

3.設計者・監理者等及び確認申請関連事項

3-1 設計者

a.代表となる設計者
（ 勝矢武之 ）一級建築士　第（ 337218 ）号

b.その他の設計者
岩村友恵　一級建築士　第（ 357200 ）号
久次米薫　一級建築士　第（ 316547 ）号
構造設計一級建築士　第（ 8687 ）号
宮城正弘　一級建築士　第（ 302342 ）号、
構造設計一級建築士　第（ 3220 ）号
塚見史郎　一級建築士　第（ 331423 ）号
設備設計一級建築士　第（ 2905 ）号
丹保洋人　一級建築士　第（ 337282 ）号
設備設計一級建築士　第（ 3891 ）号

c.構造設計図書の法適合確認
久次米薫　一級建築士　第（ 316547 ）号、
構造設計一級建築士　第（ 8687 ）号

d.設備設計図書の法適合確認
丹保洋人　一級建築士　第（ 337282 ）号、
設備設計一級建築士　第（ 3891 ）号

3-2 建築設備の設計に関し意見を聴いた者

a.代表となる建築設備の設計に関し意見を聴いた者
（ 水井悟史 ）建築設備士　第（18A1-0066LI）号

3-3 監理者

a.代表となる工事監理者
未定

b.その他の工事監理者
未定

3-4 確認申請書等

a.確認済証番号年月日
1)建築物　番号 ＿＿＿＿＿＿　・　年　月　日
2)工作物　番号 ＿＿＿＿＿＿　・　年　月　日
3)昇降機　番号 ＿＿＿＿＿＿　・　年　月　日

b.適合判定通知書(構造計算適合性判定) 番号年月日
番号（　　）・　年　月　日

c.適合判定通知書(建築物エネルギー消費性能適合性判定)　番号年月日
番号（　　）・　年　月　日

d.検査済証番号年月日
1)建築物　番号 ＿＿＿＿＿＿　・　年　月　日
2)工作物　番号 ＿＿＿＿＿＿　・　年　月　日
3)昇降機　番号 ＿＿＿＿＿＿　・　年　月　日

4.改修範囲の非構造部材・建築設備機器及び同架台等の共通特記仕様

4-1 非構造部材

a.屋根葺材（長尺金属板葺、折板葺、粘土瓦葺）、特定天井、外装材、屋外に面する帳壁及び屋内外のすべての非構造部材の支持構造部及び建築物の構造耐力上主要な部分に緊結する部位は、施行令第83～88条の規定による固定荷重、積載荷重、積雪荷重、風圧力、地震力、層間変位を考慮し、施行令第82条による組合せ応力に対して、構造耐力上安全であることとする。また、避難の支障となる損傷がないものとする。

b.外力は、次による。

1)積載荷重は、2-2 a-1。1）による。

2)積雪荷重は、2-2 a-1。2）による。

3)風圧力は、2-2 a-1。3）による。

4)地震力は、改修による影響が余力の範囲に納まることを確認する。

5)層間変位は、2-3 b。におけるケース2の設計用層間変位による。

c.支持金物(取付けボルトやナット含む)は、該当各章の規定により、ステンレス、亜鉛めっき、錆止め塗装等の防錆処置を施したものとする。

4-2 設備機器及び同架台等

a.建築設備（昇降機設備を除く）の支持構造部及び構造本体との緊結金物は、次による。

1)施行令第83～88条の規定による固定荷重、積載荷重、積雪荷重、風圧力、地震力を考慮し、施行令第82条の組合せ応力に対して、構造耐力上安全なものとする。

2)耐震の措置は、原則として日本建築センター「建築設備耐震設計・施工指針」2014年版に準拠して行う。また、機器本体の耐震性能は、製造者により確認されているものとする。

3)地震荷重は、2-3 b。による。

4)風圧力及びその他の荷重は、2-2 a-1。による。

5)建築設備の支持構造部及び構造本体との緊結金物等は、所定の防錆処置を行う。

b.屋上から突出する水槽、塵突、冷却塔その他これらに類するものの支持構造部及び建築物の構造耐力上主要な部分に緊結する部位は、次による。

1)前項「建築設備の支持構造部及び構造本体との緊結金物」に規定した荷重による応力に対し、構造耐力上安全なものとする。ただし、採用する荷重は、平12建告第1389号に定める規定値を下回ってはならない。

2)支持構造部及び緊結金物の防錆仕様は、前項「建築設備の支持構造部及び構造本体との緊結金物」と同一とする。

c.屋上から突出する塵突の高さは、鉄製の補強がない場合は900mm以下とする。また、室内の塵突部分の鉄筋のかぶり厚さは50mm以上とする。

d.建築物に設ける給水、排水その他の配管設備（給湯設備を除く）その他これらに類するものの支持構造部及び建築物の構造耐力上主要な部分に緊結する部位は、次による。なお、給湯設備とは、建築物に設ける電気給湯器その他の給湯設備で、屋上水槽等のうち給湯設備に該当しているものを除いたものとする。

1)風圧、土圧、水圧、地震その他の震動及び衝撃に対して、安全上支障のない構造とする。

2)風圧力及び地震力により建築物に生ずる層間変形に対しても追従でき、安全上支障のない構造とする。

3)建築物の部分を貫通して配管する場合においては、当該貫通部分に配管スリーブを設けるなど、有効な管の損傷防止のための措置を講ずる。

4)管の伸縮その他の変形により当該管に損傷が生ずるおそれがある場合において、伸縮継手又は可とう継手を設けるなど、有効な損傷防止のための措置を講ずる。

5)管を支持又は固定する場合においては、つり金物又は防振ゴムを用いるなど、有効な地震その他の震動及び衝撃の緩和のための措置を講ずる。

e.法第20条第一号から第三号までの建築物に設ける屋上水槽等にあっては、平成12年建設省告示第1389号により、風圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して構造耐力上安全なものとする。

f.給湯設備は、風圧、土圧、水圧、地震その他の震動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とする。満水時の質量が15kgを超える給湯設備については、地震に対して安全上支障のない構造として、平成12年建設省告示第1388号第5（平成25年4月1日一部改正施行）に規定する構造方法による。

5.増築範囲の非構造部材・建築設備機器及び同架台等の共通特記仕様

5-1 非構造部材

a.屋根葺材（長尺金属板葺、折板葺、粘土瓦葺）、特定天井、外装材、屋外に面する帳壁及び屋内外のすべての非構造部材の支持構造部及び建築物の構造耐力上主要な部分に緊結する部位は、施行令第83～88条の規定による固定荷重、積載荷重、積雪荷重、風圧力、地震力、層間変位を考慮し、施行令第82条による組合せ応力に対して、構造耐力上安全であることとする。また、避難の支障となる損傷がないものとする。

b.外力は、次による。

1)積載荷重は、2-2 a-2。1）による。

2)積雪荷重は、2-2 a-2。2）による。

3)風圧力は、2-2 a-2。3）による。

4)地震力は、2-3 b。による。

5)層間変位は、2-3 b。におけるケース2の設計用層間変位による。

c.支持金物(取付けボルトやナット含む)は、該当各章の規定により、ステンレス、亜鉛めっき、錆止め塗装等の防錆処置を施したものとする。

5-2 設備機器及び同架台等

a.建築設備（昇降機設備を除く）の支持構造部及び構造本体との緊結金物は、次による。

1)施行令第83～88条の規定による固定荷重、積載荷重、積雪荷重、風圧力、地震力を考慮し、施行令第82条の組合せ応力に対して、構造耐力上安全なものとする。

2)耐震の措置は、原則として日本建築センター「建築設備耐震設計・施工指針」2014年版に準拠して行う。また、機器本体の耐震性能は、製造者により確認されているものとする。

3)地震荷重は、2-3 b。による。

4)風圧力及びその他の荷重は、2-2 a-2。による。

5)建築設備の支持構造部及び構造本体との緊結金物等は、所定の防錆処置を行う。

b.屋上から突出する水槽、塵突、冷却塔その他これらに類するものの支持構造部及び建築物の構造耐力上主要な部分に緊結する部位は、次による。

1)前項「建築設備の支持構造部及び構造本体との緊結金物」に規定した荷重による応力に対し、構造耐力上安全なものとする。ただし、採用する荷重は、平12建告第1389号に定める規定値を下回ってはならない。

2)支持構造部及び緊結金物の防錆仕様は、前項「建築設備の支持構造部及び構造本体との緊結金物」と同一とする。

c.屋上から突出する塵突の高さは、鉄製の補強がない場合は900mm以下とする。また、室内の塵突部分の鉄筋のかぶり厚さは50mm以上とする。

d.建築物に設ける給水、排水その他の配管設備（給湯設備を除く）その他これらに類するものの支持構造部及び建築物の構造耐力上主要な部分に緊結する部位は、次による。なお、給湯設備とは、建築物に設ける電気給湯器その他の給湯設備で、屋上水槽等のうち給湯設備に該当するものの以外とする。

1)風圧、土圧、水圧、地震その他の震動及び衝撃に対して、安全上支障のない構造とする。

2)風圧力及び地震力により建築物に生ずる層間変形に対しても追従でき、安全上支障のない構造とする。

3)建築物の部分を貫通して配管する場合においては、当該貫通部分に配管スリーブを設けるなど、有効な管の損傷防止のための措置を講ずる。

4)管の伸縮その他の変形により当該管に損傷が生ずるおそれがある場合において、伸縮継手又は可とう継手を設けるなど、有効な損傷防止のための措置を講ずる。

5)管を支持又は固定する場合においては、つり金物又は防振ゴムを用いるなど、有効な地震その他の震動及び衝撃の緩和のための措置を講ずる。

e.法第20条第一号から第三号までの建築物に設ける屋上水槽等にあっては、平成12年建設省告示第1389号により、風圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して構造耐力上安全なものとする。

f.給湯設備は、風圧、土圧、水圧、地震その他の震動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とする。満水時の質量が15kgを超える給湯設備については、地震に対して安全上支障のない構造として、平成12年建設省告示第1388号第5（平成25年4月1日一部改正施行）に規定する構造方法による。

審査	・　・	・　・	
検査	・　・	・　・	
監理		・　・	
施工		・　・	

勝矢　武之　一級建築士
岩村　友恵　一級建築士
宮城　正弘　一級建築士・構造設計一級建築士（法適合確認）
丹保　洋人　一級建築士・設備設計一級建築士（法適合確認）
水井　悟史　意見を聴いた建築設備士

日建設計

2024.08.30　検図者：竹内　錦

（仮称）人生100年の学びの拠点
中頃別学園整備工事

工事概要書（2）

（通し番号　２）
１－２

No. J－221730－C

*23.07.31 仕様書委員会 改訂その1 Ver2.00

78×570

見積区分表

	工事項目	建築	電気	機械			別途	備考
引込	電力本設引込工事		○					
	電話本設引込工事（配管のみ）		○					
	上水道管引込工事			○				
	下水道管接続工事			○				関連工事別。 引込負担金は別途。
	既存雨水管接続工事	○						
	電力本設引込負担金						○	
	電話本設引込負担金						○	
	上水道管引込負担金						○	
	工事用電力・上下水道・ガス引込工事	○	○	○				関連工事別
	工事用電力・上下水道・ガス料金	○	○	○				関連工事別
電波障害	建物による近隣への電波障害調査						○	
	建物による近隣への電波障害対策						○	
本設後	本設受電後引渡しまでの電力基本料金						○	
	本設後引渡しまでの上水基本料金						○	
	本設後引渡しまでの下水基本料金						○	
	本設後引渡しまでの電力使用料金	○	○	○				関連工事別。試運転用を含む
	本設後引渡しまでの上水使用料金	○	○	○				関連工事別。試運転用を含む
	本設後引渡しまでの下水使用料金	○	○	○				関連工事別。試運転用を含む
撤去	地中障害物（予定外の物）	○	○	○				監督員との協議による
現場	鉄骨部の貫通、スリーブ・開口及び補強	○						
	鉄筋コンクリート部（梁・床・壁）スリーブ・開口・箱入れの盲出し	○	○	○				関連工事別
	鉄筋コンクリート部（梁・床・壁）スリーブ・開口・箱入れ	○	○	○				関連工事別
	鉄筋コンクリート部（梁・床・壁）スリーブ・開口の鉄筋補強	○						
	地中梁の連通管・通気管・人通孔	○						
	配管ダクト類の防水貫通部の補修	○	○	○				関連工事別
	木造梁貫通穴あけ	○						
	同上穴あけ箇所の穴埋め、補修	○	○	○				関連工事別
天井・壁・床・開口	一般側仕切壁開口の盲出し	○	○	○				関連工事別
	一般側仕切壁開口の穴あけ、開口補強	○						
	特殊仕上材の天井、壁、床に取付ける器具等の穴あけ加工	○						
	天井開口の盲出し	○	○	○				関連工事別
	天井開口の穴あけ、開口補強	○						
	既存躯体の開口の盲出し	○	○	○				100㎡以上、関連工事別
	既存躯体の開口の穴あけ開口補強	○						
点検口・マンホール	床・壁・天井の点検口	○						
	一般屋内マンホール（躯体・蓋共）	○						
	一般屋外マンホール躯体	○	○	○				関連工事別
	一般屋外マンホール鋳鉄蓋	○	○	○				関連工事別
ピット	設備配管用ピット	○						
各種水槽	ＲＣ造各種水槽等の躯体・防水・タラップ・マンホール	○						
	同上オーバーフロー、通気管取付			○				
	各種水槽用電極（保持器共）、一般水槽用フロートスイッチ			○				
	同上用制御装置			○				関連工事別
	同上用配管・配線接続			○				関連工事別
	水中ポンプ（水位制御装置共）より制御盤までのケーブル供給			○				
	同上用配線接続（接地共）		○					
設備基礎	屋内機器の基礎	○						
	屋外機器の基礎	○						
	屋内外盤の基礎	○						
給排気	外壁の給排気ガラリ（ダクト接合枠含む）	○						
	同上用接続ダクト			○				
	同上チャンバー、水抜き穴	○						
	同上用接続用アングル、防虫ネット	○						
	ドアガラリ	○						
	防雪フード	○						
	ベントキャップ			○				
防災設備	煙感知器連動防火戸の自動開鎖装置		○					
	同　感知器、配管配線および制御盤		○					
	煙感知器連動の防煙ダンパー（ＳＦＤ、リミットスイッチ共）			○				
	同上用煙感知器		○					
	同上用配線・配管・接続		○					
	同上用遠方監視盤		○					
	消火器						○	
	消火器ＢＯＸ、消火器スタンド	○						
特定防火設備など	防火戸・防火シャッター・防火防煙シャッター・建具・付属金物・自動閉鎖（開放）装置・作動確認スイッチ操作スイッチ	○						
	同上連動制御盤・電源・予備電源・煙感知器・上記機器類防災盤までの電気配管配線		○					
	シャッター操作ボタン・マグネットスイッチ間の二次側配管配線結線	○						

	工事項目	建築	電気	機械			別途	備考
便所・洗面	化粧鏡	○						
教室内手洗い	電気温水器			○				
特別教室	小便器用節水装置			○				
シンク	同上用制御箱までの配管・配線・接続		○					
	自動水栓電源送り		○					
	陶器製衛生器具（手洗い器）			○				
	同　接続配管工事			○				
	衛生器具用ライニング	○						
	洗面カウンター	○						
	同　洗面陶器（水栓、排水金物共）			○				
	ゴミ箱						○	
	便所ブース、カーテンレール	○						
	便所用手摺	○						
	便所内　フック、ベビーキープ、ベビーシート	○						
	便所内　紙巻機			○				
	ユニットシャワー	○						
	同配管接続工事			○				
	シンク・手洗い	○						
	同配管接続工事			○				
湯沸室等	流し台、吊戸棚	○						
水飲み場	同上配管接続			○				
教室	電気湯沸器乞の電源・配管・配線・接続		○					
厨房	厨房機器	○						
	同上周囲シーリング	○						
	同上三方枠・周囲シーリング	○						
	同上一次側給排水ガス接続			○				
	同上ダクト接続			○				
	同上一次側電源接地		○					
	同上水栓（二次側）			○				
	同上コンセント		○					
	同上フード			○				
	保健所対応手洗い			○				
ホール	ライン引・バスケットゴール	○						
	運動器具							
	ネット	○						
各種設備	動力制御盤及び２次側配線・配管・接続		○					
	動力制御盤、空調用機器間のインターロック配線・配管・接続		○					
	同上の名表示計測		○					
	同上装置の交換器		○					
	設備機器類風の制御盤以降２次側の配線・配管・接続（接地共）			○				
	設備機器付属の制御盤への１次電源供給配線・配管・接続		○					
	天井吊パッケージ空調器、操作スイッチ間渡り配線・配管・接続			○				
	全熱交換形換気扇、操作スイッチ間渡り配線・配管・接続			○				
	時計		○					
電話関連	電話交換機設備用配管		○					
	電話交換機盤の通信用、保安用接地		○					
	端子盤の供給取付		○					
	端子盤の電話用端子取付		○					
	構内交換設備						○	
	同上の配線（幹線・分岐）		○					
	電話用配管、ケーブルラック		○					
	電話配線の端子盤一次側		○					
	インターホン		○					
雨水排水	ルーフドレイン	○						
	庇及びバルコニーのルーフドレイン、竪樋	○						
	同上竪樋受桝	○						
	同上以降敷地内雨水排水管及び桝、蓋	○						
	敷地内雨水本管	○						
	敷地外既設本管への接続	○						
外構	外灯		○					
	敷地内排水設備	○						
	敷地内雨水設備	○						
	下水本管接続（敷地内排水）			○				
	下水本管接続（建物排水）			○				
	グラウンド整備（新設舗装エリアと取り合う部分）	○						
	校門、遊具						○	既存のまま
映像設備	映像設備　天井用下地	○						
	映像設備（プロジェクター）（ホール）							
	音響設備　　（ホール）							防錆設備を除く
	電子							
	ディスプレイ　　（教室、一般室）						○	

	工事項目	建築	電気	機械			別途	備考
サイン	施設サイン	○						
	外部サイン	○						
	館名サイン	○						
雑工事	カーテンレール	○						
	カーテンボックス	○						
	遮光カーテン、暗幕	○						
	同上への電源供給・配管・配線・接続		○					
	一般カーテン、ロールスクリーン、ブラインド						○	
	暗幕ボックス	○						
	スクリーンボックス	○						
	映写スクリーン						○	
	ＡＶ卓内の機器		○					
	同　内部機器類配管配線	○						配管接続用ソケットまで建築工事
	ＡＥＤボックス	○						ＡＥＤ本体は別途
家具	整理棚、吊戸棚	○						
	収納棚、掃除用具入れ	○						
	可動コート掛け、可動ランドセル棚	○						
	受付カウンター、造り付けカウンター	○						
	同上 LAN、コンセント、電源		○					
	調理実習コーナーの調理台、シンク	○						
	同　配管配線接続		○	○				関連工事別
	製作流し台	○						
	同　接続配管工事			○				
	可動家具（既製品）						○	
	教室事務室　一般机、椅子						○	
	特別教室　特殊テーブル	○						
	特別教室　椅子	○						
	本棚	○						
	掲示板	○						
	黒板、白板	○						
	傘立て	○						
	コート掛け、生徒用荷物棚	○						
	靴棚	○						
昇降装置	乗場敷居取付用ブラケット	○						
（エレベーター関連）	保守用コンセント（エレベーターピット、機械室）		○					
	インターホン	○						
	昇降路外遠方監視盤乞のインターホン配線・配管	○	○					配線サイズ、本数は電気設備欄による
	昇降路外遠方監視盤乞のインターホン配線接続	○	○					配線サイズ、本数は電気設備欄による
	昇降路内インターホン配線・配管・接続	○	○					配線サイズ、本数は電気設備欄による
	かご用非常照明	○						
	動力電源引込・照明電源		○					
	接地線引込		○					
	煙感知器設置工事		○					
	遠隔監視用電話回線・昇降路外インターホン配管配線工事	○						
	三方枠補強工事	○						
	昇降路の築造と該差修正工事	○						
	各階出入口まわり壁の穴あけ工事	○						
	エレベーター籠付後の三方枠、敷居、インジケータなど以外の壁、床、天井仕上げ補修工事	○						
	三方枠、インジケータなどと壁間の隙間にロックウール充填工事	○						
	三方枠、インジケータなどと壁間の防火鋼板設置工事	○						
	ピット内防水仕上げ工事	○						ピット仕上げ面の水平度は1／200以下
	ピット点検用コンセント設置工事		○					
	機器搬重用フックの昇降路頂部への設置工事	○						
	エレベーター部品搬入経路の確保	○						
	エレベーター籠付工事用の水、砂、セメントなどの供給	○						
	エレベーター籠付工事用及び運転調整用電力、並びに本設電源に切替え後の運転調整用電力		○					
	エレベーター工事使用の場合の出入口およびかご内養生工事	○						
	エレベーター使用後の調整費用	○						
	昇降路内仮設足場の設置工事	○						
	昇降路と居室が隣接する場合の居室側防音工事	○						
屋内運動場	舞台照明						○	改修対象外
（改修）	舞台幕						○	
	バスケットゴール移設	○						
セキュリティ	インターホン及び配管		○					
	電気錠	○						
	同上配管		○					
解体								

番工	・　・	・　・	
現工	・　・	・　・	
監理		・　・	
		・　・	
施工		・　・	

勝矢　武之　一級建築士
岩村　友恵　一級建築士
頭井　秀知　一級建築士
小林　哲也
賀口　芳郎　一級建築士

日建設計

2024.08.30　検図者：竹内　渉

（仮称）人生100年の学びの拠点
中頓別学園整備工事

見積区分表

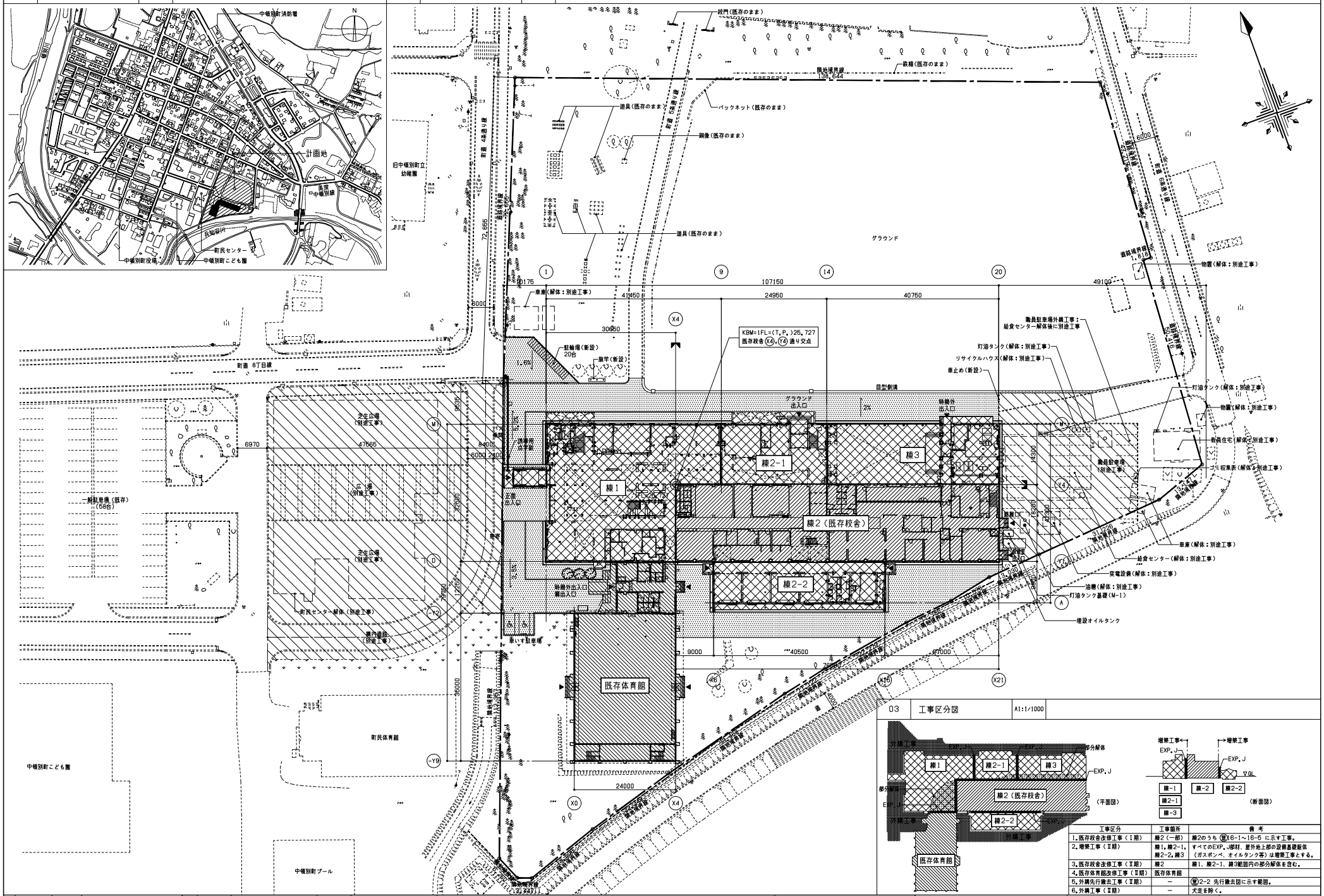
（通し番号　3）
1 － 3

No. J－221730－C

780×670

01 付近見取図 A1:1/3000

02 配置図 A1:1/400



03 工事区分図 A1:1/1000

工事区分	工事箇所	備考
1.既存校舎改修工事（Ⅰ期）	棟2（一部）	棟2のうち (重)16-1～16-5 に示す工事。
2.増築工事（Ⅱ期）	棟1、棟2-1、棟2-2、棟3	すべてのEXP.J部材、屋外地上部の設備基礎躯体（ガスボンベ、オイルタンク等）は増築工事とする。
3.既存校舎改修工事（Ⅱ期）	棟2	棟1、棟2-1、棟3範囲内の部分解体を含む。
4.既存体育館改修工事（Ⅱ期）	既存体育館	
5.外構先行撤去工事（Ⅰ期）	—	(重)2-2 先行撤去図に示す範囲。
6.外構工事（Ⅱ期）	—	犬走を除く。

施工			
現工			
監理			
施工			

凡例

本工事範囲（既存校舎改修）	本工事範囲（外構）
本工事範囲（既存体育館改修）	別途工事範囲
本工事範囲（増築）	解体建物（別途工事）

■は建物位置の基点を示し、既存校舎の(X4)、(Y4)通り交点上の既存校舎1FL高さを基準点とする。

(1)通りは(X4)通りに平行、(A)通りと、(M)通りは(Y4)通りに平行とする。

本配置図は、株式会社東京ソイルリサーチによる令和5年6月作成の敷地測量図をベースに、計画内容を重ねて図示したものである。

勝矢 武之 一級建築士
岩村 友恵 一級建築士
頭井 秀和 一級建築士
小林 哲也
賀口 芳郎 一級建築士

日建設計

2024.08.30 検図者：竹内 睦

（仮称）人生100年の学びの拠点
中頓別学園整備工事

付近見取図・配置図 A1:1/3000,1/400

（通し番号 4）
2－1

No. J－221730－C

780×670

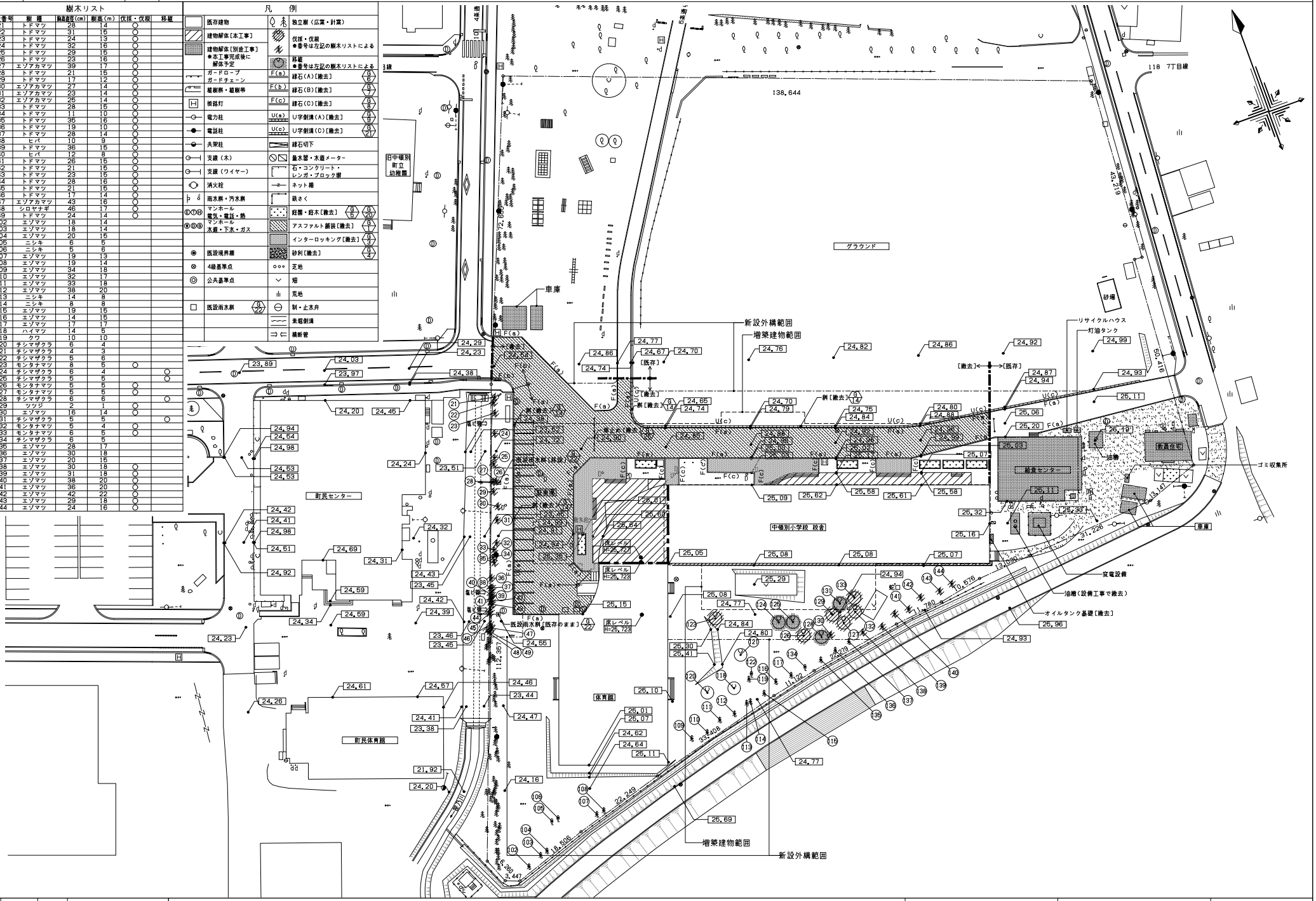
01	現況図・先行搬去図	A1:1/400

樹木リスト

調査番号	樹種	幹直径(cm)	樹高(m)	伐採・伐根	移植
21	トドマツ	28	14	○	
22	トドマツ	31	15	○	
23	トドマツ	24	13	○	
24	トドマツ	32	16	○	
25	トドマツ	29	15	○	
26	トドマツ	23	16	○	
27	エゾアカマツ	39	17	○	
28	トドマツ	21	15	○	
29	トドマツ	17	12	○	
30	エゾアカマツ	27	14	○	
31	エゾアカマツ	23	14	○	
32	エゾアカマツ	26	14	○	
33	トドマツ	28	15	○	
34	トドマツ	11	10	○	
35	トドマツ	35	16	○	
36	トドマツ	19	10	○	
37	トドマツ	28	14	○	
38	ヒバ	10	9	○	
39	トドマツ	36	15	○	
40	ヒバ	12	8	○	
41	トドマツ	26	15	○	
42	トドマツ	21	16	○	
43	トドマツ	23	15	○	
44	トドマツ	28	16	○	
45	トドマツ	21	15	○	
46	トドマツ	17	14	○	
47	エゾアカマツ	43	16	○	
48	シロヤナギ	46	17	○	
49	トドマツ	24	14	○	
102	エゾマツ	18	14		
103	エゾマツ	18	14		
104	エゾマツ	20	15		
105	ニシキ	6	5		
106	ニシキ	5	6		
107	エゾマツ	19	13		
108	エゾマツ	19	14		
109	エゾマツ	34	18		
110	エゾマツ	32	17		
111	エゾマツ	33	18		
112	エゾマツ	38	20		
113	ニシキ	14	8		
114	ニシキ	8	8		
115	エゾマツ	19	15		
116	エゾマツ	14	15		
117	エゾマツ	17	17		
118	ハイマツ	14	5		
119	クロ	10	10		
120	チシマザクラ	6	4		
121	チシマザクラ	4	3		
122	チシマザクラ	5	6		
123	モンタナマツ	8	5	○	
124	チシマザクラ	6	4		○
125	チシマザクラ	5	5		○
126	モンタナマツ	5	5	○	
127	モンタナマツ	5	5	○	
128	チシマザクラ	6	6		○
129	ツツジ	2	1	○	
130	エゾマツ	16	14	○	
131	チシマザクラ	5	5		○
132	モンタナマツ	5	4	○	
133	モンタナマツ	6	5	○	
134	チシマザクラ	6	5		
135	エゾマツ	28	17		
136	エゾマツ	30	18		
137	エゾマツ	20	16		
138	エゾマツ	30	18	○	
139	エゾマツ	31	18	○	
140	エゾマツ	38	20	○	
141	エゾマツ	36	20	○	
142	エゾマツ	42	22	○	
143	エゾマツ	29	18	○	
144	エゾマツ	24	16	○	

凡例

- 既存建物
- 建物解体[本工事]
- 建物解体[別途工事] ※本工事完成後に解体予定
- ガードロープ / ガードチェーン
- 植樹桝・植樹帯
- 街路灯
- 電力柱
- 電話柱
- 共架柱
- 支線（木）
- 支線（ワイヤー）
- 消火栓
- 雨水桝・汚水桝
- マンホール 電気・電話・熱
- マンホール 水道・下水・ガス
- 既設境界標
- 4級基準点
- 公共基準点
- 既設雨水桝
- 独立樹（広葉・針葉）
- 伐採・伐根 ※番号は左記の樹木リストによる
- 移植 ※番号は左記の樹木リストによる
- 縁石(A)[撤去]
- 縁石(B)[撤去]
- 縁石(C)[撤去]
- U字側溝(A)[撤去]
- U字側溝(C)[撤去]
- 縁石切下
- 量水器・水道メーター
- 石・コンクリート・レンガ・ブロック塀
- ネット柵
- 鉄さく
- 庭園・庭木[撤去]
- アスファルト舗装[撤去]
- インターロッキング[撤去]
- 砂利[撤去]
- 芝地
- 畑
- 荒地
- 制・止水弁
- 素掘側溝
- 横断管



電工	. .	. .	
現工	. .	. .	
監理		. .	
施工		. .	

現況図は、株式会社東京ソイルリサーチ（令和5年6月作成）による敷地測量図をベースにしている。

勝矢 武之 一級建築士
岩村 友恵 一級建築士
頭井 秀和 一級建築士
小林 哲也
賀口 芳郎 一級建築士

日建設計

2024.08.30 検図者：竹内 睦

（仮称）人生100年の学びの拠点
中頓別学園整備工事

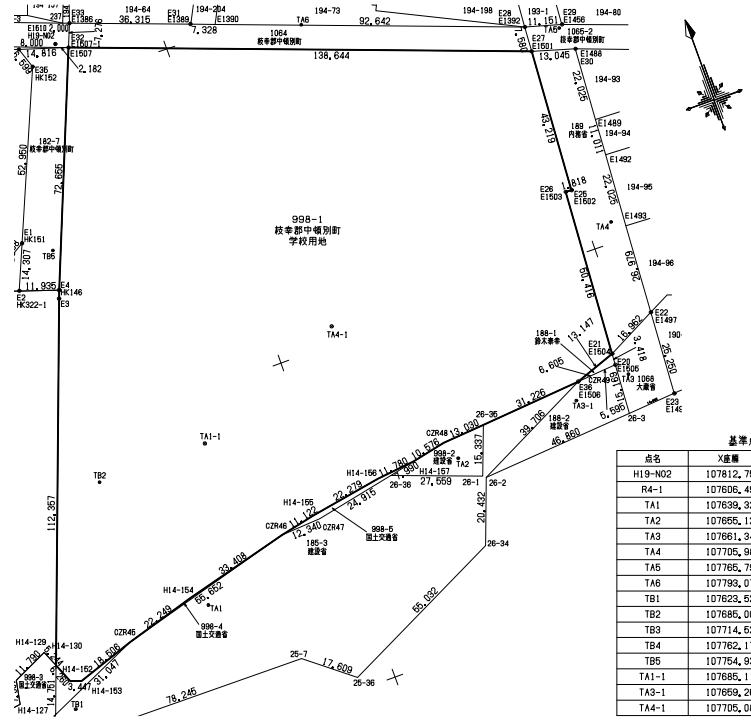
現況図・先行搬去図 A1:1/400

（通し番号 5）
2 － 2

No. J－221730－C

780×670

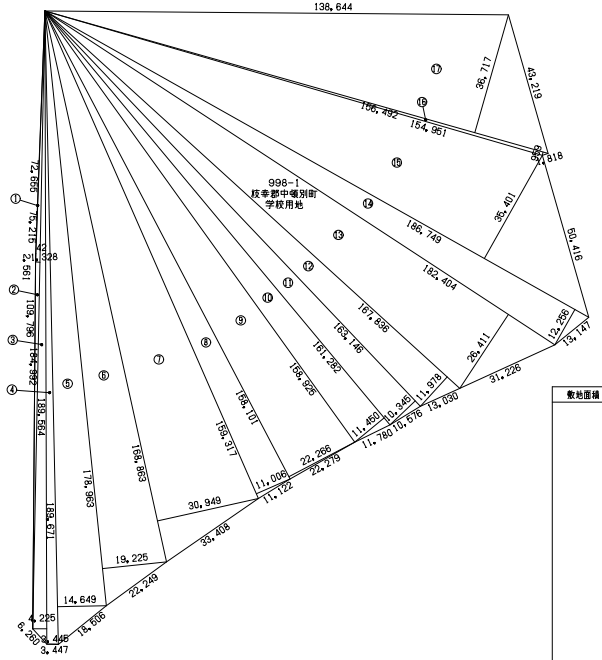
01 現況測量図 1/800



基準点座標一覧表

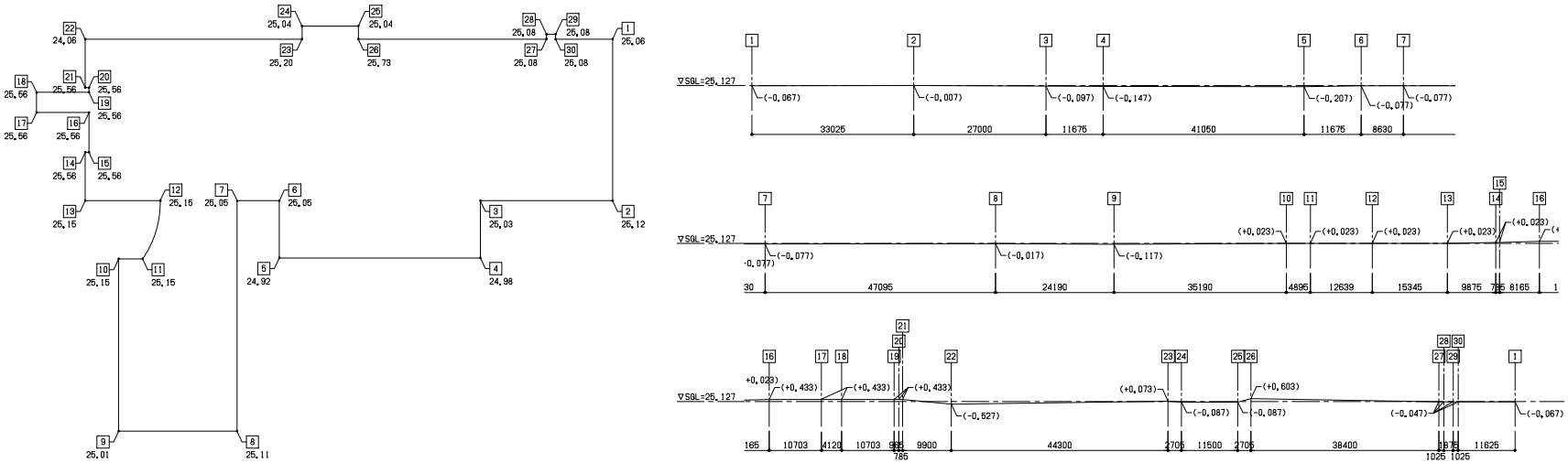
点名	X座標	Y座標	備考
H19-N02	107812.754	3269.127	3級基準点
R4-1	107606.496	3153.454	〃
TA1	107639.327	3264.858	4級基準点
TA2	107655.126	3340.137	〃
TA3	107661.346	3396.581	〃
TA4	107705.988	3407.247	〃
TA5	107765.799	3412.485	〃
TA6	107793.071	3340.270	〃
TB1	107623.520	3206.883	〃
TB2	107685.000	3236.801	〃
TB3	107714.529	3169.323	〃
TB4	107762.178	3184.808	〃
TB5	107754.932	3247.381	〃
TA1-1	107685.118	3270.393	補助基準点
TA3-1	107659.266	3379.263	〃
TA4-1	107705.088	3317.996	〃

02 敷地求積図 1/800



敷地面積	番号						
	①	42	x	75.215	x	0.5	= 1.58
	②	1.328	x	184.992	x	0.5	= 122.83
	③	4.225	x	189.564	x	0.5	= 400.45
	④	3.445	x	189.671	x	0.5	= 326.71
	⑤	14.649	x	189.671	x	0.5	= 1,389.25
	⑥	19.225	x	178.963	x	0.5	= 1,720.28
	⑦	30.949	x	168.863	x	0.5	= 2,613.07
	⑧	11.006	x	159.317	x	0.5	= 876.72
	⑨	22.266	x	158.101	x	0.5	= 1,760.14
	⑩	11.460	x	161.282	x	0.5	= 923.34
	⑪	10.345	x	163.146	x	0.5	= 843.87
	⑫	11.978	x	167.836	x	0.5	= 1,005.17
	⑬	26.411	x	182.404	x	0.5	= 2,408.74
	⑭	12.256	x	186.749	x	0.5	= 1,144.40
	⑮	35.401	x	186.749	x	0.5	= 3,305.55
	⑯	959	x	156.492	x	0.5	= 75.04
	⑰	36.717	x	156.492	x	0.5	= 2,872.96
合計							= 21,790.10
面積							= 21,790 ㎡

03 平均地盤算定図



平均地盤算定式　(a)SGL＝25.127を±0とする

始点番号	終点番号	算定式	面積
1	2	(-0.067m + -0.007m) x 33.025m ／2 =	-1.222㎡
2	3	(-0.007m + -0.097m) x 27.000m ／2 =	-1.404㎡
3	4	(-0.097m + -0.147m) x 11.675m ／2 =	-1.424㎡
4	5	(-0.147m + -0.207m) x 41.050m ／2 =	-7.266㎡
5	6	(-0.207m + -0.077m) x 11.675m ／2 =	-1.658㎡
6	7	(-0.077m + -0.077m) x 8.630m ／2 =	-0.665㎡
7	8	(-0.077m + -0.017m) x 47.095m ／2 =	-2.213㎡
8	9	(-0.017m + -0.117m) x 24.190m ／2 =	-1.621㎡
9	10	(-0.117m + 0.023m) x 35.190m ／2 =	-1.654㎡
10	11	(0.023m + 0.023m) x 4.895m ／2 =	0.113㎡
11	12	(0.023m + 0.023m) x 12.639m ／2 =	0.291㎡
12	13	(0.023m + 0.023m) x 15.345m ／2 =	0.353㎡
13	14	(0.023m + 0.023m) x 9.875m ／2 =	0.227㎡
14	15	(0.023m + 0.023m) x 0.785m ／2 =	0.018㎡
15	16	(0.023m + 0.433m) x 8.165m ／2 =	1.862㎡
16	17	(0.433m + 0.433m) x 10.703m ／2 =	4.634㎡
17	18	(0.433m + 0.433m) x 4.120m ／2 =	1.784㎡
18	19	(0.433m + 0.433m) x 10.703m ／2 =	4.634㎡
19	20	(0.433m + 0.433m) x 0.965m ／2 =	0.418㎡
20	21	(0.433m + 0.433m) x 0.785m ／2 =	0.340㎡
21	22	(0.433m + -0.527m) x 9.900m ／2 =	-0.465㎡
22	23	(-0.527m + 0.073m) x 44.300m ／2 =	-10.056㎡
23	24	(0.073m + -0.087m) x 2.705m ／2 =	-0.019㎡
24	25	(-0.087m + -0.087m) x 11.500m ／2 =	-1.001㎡
25	26	(-0.087m + 0.603m) x 2.705m ／2 =	0.698㎡
26	27	(0.603m + -0.047m) x 38.400m ／2 =	10.675㎡
27	28	(-0.047m + -0.047m) x 1.025m ／2 =	-0.048㎡
28	29	(-0.047m + -0.047m) x 1.875m ／2 =	-0.088㎡
29	30	(-0.047m + -0.047m) x 1.025m ／2 =	-0.048㎡
30	1	(-0.047m + -0.067m) x 11.625m ／2 =	-0.663㎡
		(A) 443.570m	(B) -5.468㎡

(B)周囲線／(A)周長＝(B)-5.468㎡／(A)443.570m＝ -12mm
平均地盤面＝(a)26.127m+(-0.012)m=26.116 → 26.11m

発注	. .	. .	
現場	. .	. .	
		. .	
監理		. .	
施工		. .	

勝矢　武之　一級建築士
岩村　友恵　一級建築士
宮城　正弘　一級建築士・構造設計一級建築士
丹保　洋人　一級建築士・設備一級建築士
永井　晴史　意見を聞いた建築設備士

日建設計
2024.08.30　検図者：竹内　静

（仮称）人生100年の学びの拠点
中頓別学園整備工事

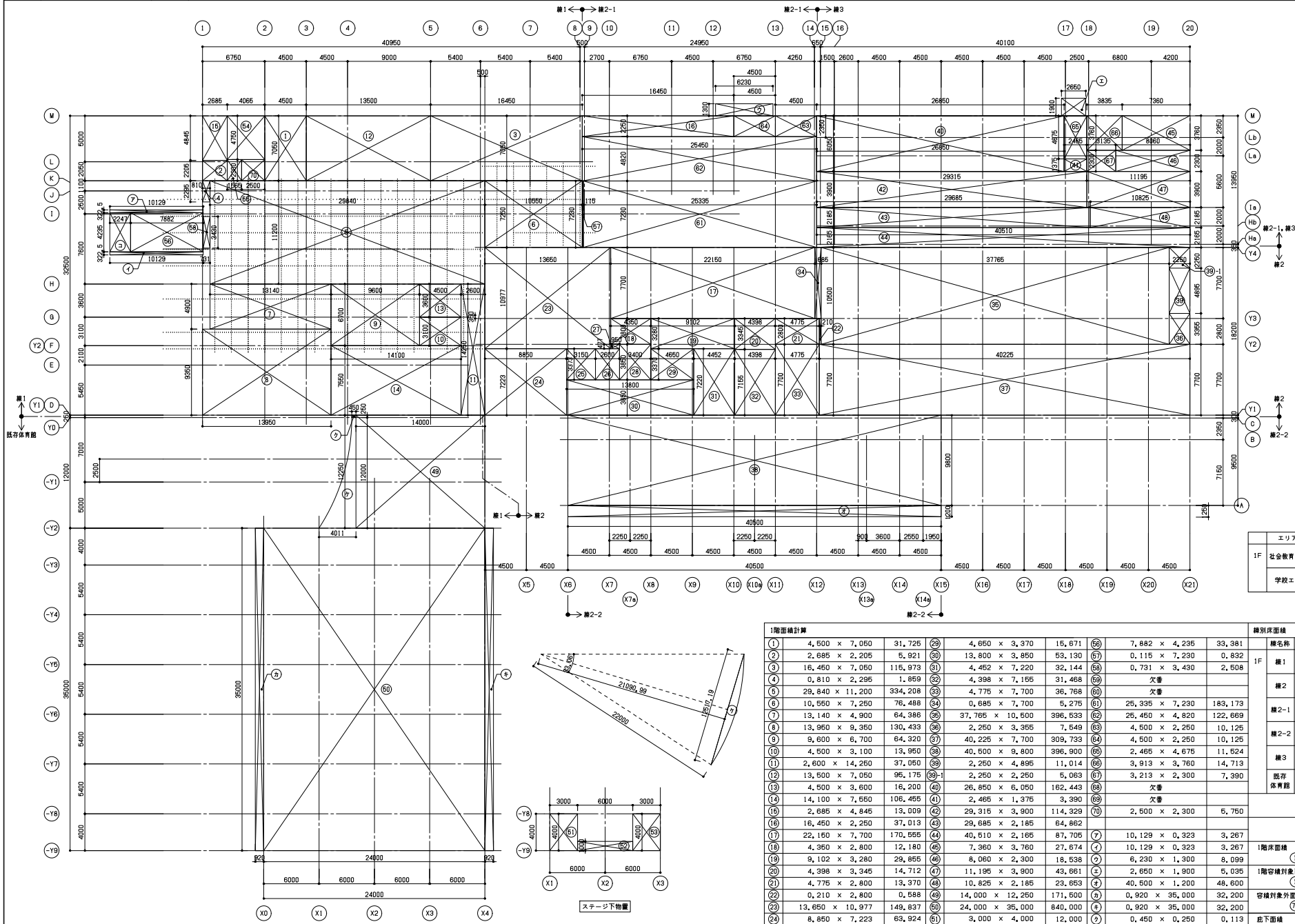
現況測量図・敷地求積図・平均地盤算定図

（通し番号 6）
2 － 3

No. J－221730－C

780×570

01	1階求積図	1/200



	エリア名	番号	面積
1F	社会教育エリア	㉖	8.77 ㎡ 8.77Q ㎡
	学校エリア	①～㉕,㉗～㊼ +㊿+㋐	4946.98 ㎡ 4946.97Q ㎡

1階面積計算

①	4.500 × 7.050	31.725	㉙	4.650 × 3.370	15.671	㊻	7.882 × 4.235	33.381
②	2.685 × 2.205	5.921	㉚	13.800 × 3.850	53.130	㊼	0.115 × 7.230	0.832
③	16.450 × 7.050	115.973	㉛	4.452 × 7.220	32.144	㊽	0.731 × 3.430	2.508
④	0.810 × 2.295	1.859	㉜	4.398 × 7.155	31.468	㊾	欠番	
⑤	29.840 × 11.200	334.208	㉝	4.775 × 7.700	36.768	㊿	欠番	
⑥	10.550 × 7.250	76.488	㉞	0.685 × 7.700	5.275	(61)	25.335 × 7.230	183.173
⑦	13.140 × 4.900	64.386	㉟	37.765 × 10.500	396.533	(62)	25.450 × 4.820	122.669
⑧	13.950 × 9.350	130.433	㊱	2.250 × 3.355	7.549	(63)	4.500 × 2.250	10.125
⑨	9.600 × 6.700	64.320	㊲	40.225 × 7.700	309.733	(64)	4.500 × 2.250	10.125
⑩	4.500 × 3.100	13.950	㊳	40.500 × 9.800	396.900	(65)	2.465 × 4.675	11.524
⑪	2.600 × 14.250	37.050	㊴	2.250 × 4.895	11.014	(66)	3.913 × 3.760	14.713
⑫	13.500 × 7.050	95.175	㊴-1	2.250 × 2.250	5.063	(67)	3.213 × 2.300	7.390
⑬	4.500 × 3.600	16.200	㊵	26.850 × 6.050	162.443	(68)	欠番	
⑭	14.100 × 7.550	106.455	㊶	2.465 × 1.375	3.390	(69)	欠番	
⑮	2.685 × 4.845	13.009	㊷	29.315 × 3.900	114.329	㊿	2.500 × 2.300	5.750
⑯	16.450 × 2.250	37.013	㊸	29.685 × 2.185	64.862			
⑰	22.150 × 7.700	170.555	㊹	40.510 × 2.165	87.705	㋐	10.129 × 0.323	3.267
⑱	4.350 × 2.800	12.180	㊺	7.360 × 3.760	27.674	㋑	10.129 × 0.323	3.267
⑲	9.102 × 3.280	29.855	㊻	8.060 × 2.300	18.538	㋒	6.230 × 1.300	8.099
⑳	4.398 × 3.345	14.712	㊼	11.195 × 3.900	43.661	㋓	2.650 × 1.900	5.035
㉑	4.775 × 2.800	13.370	㊽	10.825 × 2.185	23.653	㋔	40.500 × 1.200	48.600
㉒	0.210 × 2.800	0.588	㊾	14.000 × 12.250	171.500	㋕	0.920 × 35.000	32.200
㉓	13.650 × 10.977	149.837	㊿	24.000 × 35.000	840.000	㋖	0.920 × 35.000	32.200
㉔	8.850 × 7.223	63.924	(51)	3.000 × 4.000	12.000	㋗	0.450 × 0.250	0.113
㉕	3.150 × 3.373	10.625	(52)	6.000 × 1.000	6.000	㋘	(4.011 + 0.450) × 12.000 × 1/2 − (22.000 × 22.000 × 3.14 × 33.06/360)	19.201
㉖	2.600 × 3.373	8.770	(53)	3.000 × 4.000	12.000			
㉗	0.950 × 0.477	0.454	(54)	4.065 × 4.750	19.309	㋙	2.247 × 4.235	9.517
㉘	3.400 × 3.850	13.090	(55)	1.565 × 2.300	3.600			

棟別床面積

	棟名称	番号	面積
1F	棟1	①～⑮+㊹～㊽ +㊿+㋐	1182.05 ㎡ 1182.04Q ㎡
	棟2	⑰～㊲+㊴+㊴-1	1392.31 ㎡ 1392.35Q ㎡
	棟2-1	⑯+(61)～(64)	363.11 ㎡ 363.10Q ㎡
	棟2-2	㊳	396.90 ㎡ 396.90Q ㎡
	棟3	㊵～㊽+(66)～(67)	579.89 ㎡ 579.88Q ㎡
	既存体育館	㊾～(53)	1041.50 ㎡ 1041.53Q ㎡
	1階床面積	①～㊿	4955.75 ㎡ 4955.74Q ㎡
	1階容積対象面積	①～(69)	4940.48 ㎡ 4940.47Q ㎡
	容積対象外面積	㊿	5.75 ㎡ 5.75Q ㎡
	庇下面積	㋐～㋘	151.99 ㎡ 151.98Q ㎡
	建築面積	①～(69)+㋐～㋙	5107.74 ㎡ 5107.73Q ㎡

設工	. .	. .	
現工	. .	. .	
		. .	
監理		. .	
施工		. .	

勝矢 武之 一級建築士
岩村 友惠 一級建築士
宮城 正弘 一級建築士・構造設計一級建築士
丹保 洋人 一級建築士・設備一級建築士
永井 楢史 意見を聞いた建築設備士

日建設計
2024.08.30 検図者：竹内 渉

（仮称）人生100年の学びの拠点
中頓別学園整備工事

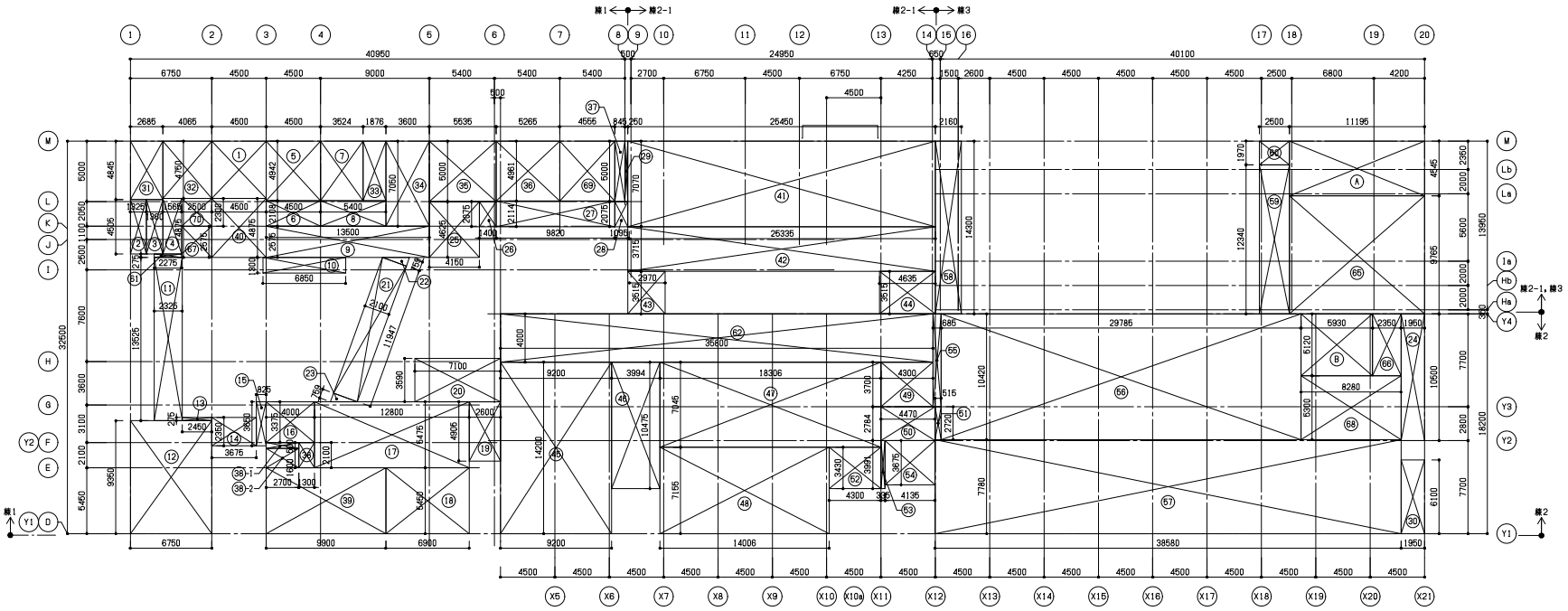
面積算定図・面積表（1）

（通し番号 7）
2 − 4

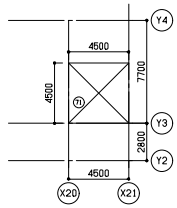
No. J − 221730 − C

780×670

01	2階求積図	1/200



02	塔屋階求積図	1/200



塔屋階面積計算		
(71)	4.500 × 4.500	20.250
塔屋階床面積		20.250 ㎡
(71)		20.250 ㎡
塔屋階容積対象面積		20.250 ㎡
(71)		20.250 ㎡

	エリア名	番 号	面 積
塔屋	社会教育エリア		
	学校エリア	(71)	20.25 ㎡ 20.250 ㎡

	エリア名	番 号	面 積
2F	社会教育エリア	(5)～(7)+(33)～(37)+(69)	164.42 ㎡ 164.414 ㎡
	学校エリア	(1)～(4)+(8)～(32)+(38)～(68)+(A)+(B)	2427.05 ㎡ 2427.042 ㎡

2階面積計算

(1)	4.500 × 4.750	21.375	(29)	0.250 × 5.000	1.250	(56)	0.685 × 7.700	5.275
(2)	1.325 × 4.505	5.970	(30)	1.950 × 6.100	11.895	(56)	29.785 × 10.420	310.360
(3)	1.360 × 4.505	6.127	(31)	2.685 × 4.845	13.009	(57)	38.580 × 7.780	300.153
(4)	1.565 × 4.875	7.630	(32)	4.065 × 4.750	19.309	(58)	2.160 × 14.300	30.888
(5)	4.500 × 4.942	22.239	(33)	1.876 × 4.942	9.272	(59)	2.500 × 12.340	30.850
(6)	4.500 × 2.108	9.486	(34)	3.600 × 7.050	25.380	(60)	2.500 × 1.970	4.925
(7)	3.524 × 4.942	17.416	(35)	5.535 × 5.000	27.675	(61)	2.275 × 0.275	0.626
(8)	5.400 × 2.108	11.384	(36)	5.265 × 4.961	26.120	(62)	4.000 × 35.800	143.200
(9)	13.500 × 2.575	34.763	(37)	0.845 × 5.000	4.225	(63)	欠番	
(10)	6.850 × 1.300	8.905	(38)	4.000 × 2.100	8.400	(64)	欠番	
(11)	2.325 × 13.525	31.446	(38)-1	2.700 × 0.500	1.350	(65)	11.195 × 9.765	109.320
(12)	6.750 × 9.350	63.113	(38)-2	2.700 × 1.600	4.320	(66)	2.350 × 5.120	12.032
(13)	2.450 × 0.275	0.674	(39)	9.900 × 5.450	53.955	(67)	2.500 × 2.575	6.438
(14)	3.675 × 2.350	8.637	(40)	4.500 × 4.875	21.938	(68)	8.280 × 5.300	43.884
(15)	0.825 × 3.650	3.012	(41)	25.450 × 7.070	179.932	(69)	4.555 × 4.961	22.598
(16)	4.000 × 3.375	13.500	(42)	25.335 × 3.715	94.120	(70)	2.500 × 2.300	5.750
(17)	12.800 × 5.475	70.080	(43)	2.970 × 3.515	10.440	(A)	11.195 × 4.545	50.770
(18)	6.900 × 5.450	37.605	(44)	4.635 × 3.515	16.293	(B)	5.930 × 5.120	30.362
(19)	2.600 × 4.905	12.753	(45)	9.200 × 14.200	130.640			
(20)	7.100 × 3.590	25.489	(46)	3.994 × 10.475	41.838			
(21)	2.100 × 11.947	25.089	(47)	18.306 × 7.045	128.966			
(22)	2.100 × 0.759 / 2	0.797	(48)	14.006 × 7.155	100.213			
(23)	2.100 × 0.759 / 2	0.797	(49)	4.300 × 3.700	15.910			
(24)	1.950 × 10.500	20.475	(50)	4.470 × 2.784	12.445			
(25)	4.150 × 4.625	19.194	(51)	0.515 × 2.720	1.401			
(26)	1.385 × 2.075	2.874	(52)	4.300 × 3.430	14.749			
(27)	9.820 × 2.114	20.760	(53)	0.335 × 3.991	1.337			
(28)	1.095 × 2.075	2.273	(54)	4.135 × 3.675	15.197			

棟別床面積

	棟名称	番 号	面 積
2F	棟1	(1)～(23)+(25)～(29) (31)～(40)+(61)+(67)+(69)	723.59 ㎡ 723.582 ㎡
	棟2	(24)+(30)+(45)～(57) (66)+(68)+(B)	1340.34 ㎡ 1340.332 ㎡
	棟2-1	(41)～(44)	300.79 ㎡ 300.786 ㎡
	棟2-2		
	棟3	(59)+(60)+(A)	226.76 ㎡ 226.758 ㎡
	既存体育館		
2階床面積合計		(1)～(70)+(A)～(B)	2597.21 ㎡ 2597.203 ㎡
棟屋床面積合計		(71)	20.25 ㎡ 20.250 ㎡
容積対象外面積		(A)+(B)+(70)	86.89 ㎡ 86.882 ㎡
2階容積対象面積合計		(1)～(69)	2510.33 ㎡ 2510.321 ㎡

棟別防火区画面積（㎡）

棟		防火区画A	防火区画B	防火区画C	防火区画D	防火区画E	防火区画F	防火区画G	防火区画H	
棟1	2F	(1)～(23)+(25)～(29)+(37)+(38)-1+(40)+(67)+(69) 562.411	–	–	–	–	(31)～(32) 32.318	(33)～(36) 88.447	(38)+(38)-2+(39) 61.005	
	1F	(1)～(11)+(55)～(58) 916.634	(12) 95.175	(13) 16.200	(14) 106.455	(15)+(54) 32.318	–	–	–	
	計	1479.046 ㎡ 1479.05 ㎡	95.176 ㎡ 95.18 ㎡	16.200 ㎡ 16.20 ㎡	106.456 ㎡ 106.46 ㎡	32.318 ㎡ 32.32 ㎡	32.318 ㎡ 32.32 ㎡	88.447 ㎡ 88.45 ㎡	61.005 ㎡ 61.01 ㎡	1910.99 ㎡
棟2		防火区画A	防火区画B	防火区画C	防火区画D	防火区画E				
	RF	–	–	–	(71) 20.250	–				
	2F	(41)～(51) 875.398	–	(52)～(54) 31.283	(24)+(30)+(56)～(57)+(66)+(68)+(B) 734.436					
	1F	(16)～(22)+(61)～(64) 604.365	(23)～(29) 262.371	(30)～(38) 1269.500	(39) 11.014	(39)-1 5.063				
	計	1479.786 ㎡ 1479.77 ㎡	262.371 ㎡ 262.38 ㎡	1300.783 ㎡ 1300.79 ㎡	765.700 ㎡ 765.70 ㎡	5.063 ㎡ 5.07 ㎡				3808.64 ㎡
棟3		防火区画A	防火区画B	防火区画C						
	2F	(58)～(65) 176.609	–	(A) 50.770						
	1F	(40)～(44)+(55)～(57) 466.356	(45)～(48) 113.526	–						
	計	642.965 ㎡ 642.97 ㎡	113.526 ㎡ 113.53 ㎡	50.770 ㎡ 50.77 ㎡						807.27 ㎡

番工	. .	. .
現工	. .	. .
		. .
監理		. .
		. .
施工		. .

勝矢 武之　一級建築士
岩村 友恵　一級建築士
宮城 正弘　一級建築士・構造設計一級建築士
丹保 洋人　一級建築士・設備一級建築士
永井 晴史　意見を聞いた建築設備士

日建設計

2024.08.30　検図者：竹内 勝

（仮称）人生100年の学びの拠点
中頃別学園整備工事

面積算定図・面積表（2）

（通し番号 8）
2 － 5

No. J－221730－C

780×670

外装・外構仕上表(既存校舎)

部位	仕上	部位	仕上	部位	仕上	部位	仕上
外壁(1FL～RL間)	下地：コンクリート打放し補修[既存のまま] 仕上げ：AEP[撤去：塗膜剥離剤工法、下地処理RA種]	屋根(1)(2)	下地：コンクリート[既存のまま] 防水：アスファルト防水(D-1)シルバー仕上げ[撤去]	ポーチ(床)	下地：コンクリートスラブ[撤去] 仕上げ：150角磁器質タイル[撤去]	給食搬入口階段	下地：コンクリート階段[既存のまま] 仕上げ：素地[既存のまま]
外壁	下地：コンクリート打放し補修[既存のまま] 仕上げ：吹付タイル[撤去：塗膜剥離剤工法、下地処理RA種]	笠木	笠木：アルミ既製品 W225 [撤去] 水切り：アルミ既製品 W50[撤去]	ポーチ(外壁)	下地：コンクリート[現状のまま] 仕上げ：ステンレスパネル900角[撤去]	タラップ	アルミ既製品 W=400[撤去]
梁型・柱型	下地：コンクリート打放し補修[既存のまま] 仕上げ：吹付タイル[撤去]			ポーチ(軒天井)	下地：LGS下地[撤去] 仕上げ：アルミスパンドレル[撤去]		
窓・出入口	窓：アルミ製窓、ステンレス製窓[一部撤去] 出入口：アルミ製ドア、スチール製ドア、ステンレス製ドア[撤去]	2階テラス(床)	下地：コンクリートスラブ[現状のまま] 防水：アスファルト防水(B-1)防水剤入コンクリート押え[撤去]	ポーチ(屋根)	下地：鉄骨[撤去] 防水：ステンレス防水t=1.5[撤去]		
		2階テラス(外壁)	下地：コンクリート[撤去] 仕上げ：ステンレスパネル900角[一部撤去]				
		2階テラス(柱型・梁型)	下地：コンクリート打放し補修[既存のまま] 仕上げ：吹付タイル[撤去]				

内装仕上表(1)(既存校舎)

仕上材符号一覧表

	符号	名称		符号	名称
床・壁・天井	RC直	コンクリート直均し(金ごて)	床・壁・天井	DR	ロックウール化粧吸音板
	RC-A	コンクリート打放仕上げ		溝DR	溝付ロックウール化粧吸音板
	CB	コンクリートブロック		GB-R	せっこうボード
	LGS	軽量鉄骨下地		GB-P	吸音用穴あきせっこうボード
				GB-D	化粧せっこうボード
	VT	ビニル床タイル		F	フレキシブル板
	VS	複層ビニル床シート			
	TC	タイルカーペット		VC	ビニルクロス

材料表

名称(符号・呼び名)	品種・規格・寸法	名称(符号・呼び名)	品種・規格・寸法
ビニル床タイル	t=2.0	しな合板	t=6.0
複層ビニル床シート	t=2.5	しな合板(有孔)	t=6.0
タイルカーペット	t=7.0	天然木化粧合板	t=8.5
ロックウール化粧吸音板	t=9.0		
溝付ロックウール化粧吸音板	t=12.0		
せっこうボード	t=9.0		
吸音用穴あきせっこうボード	t=9.0		
化粧せっこうボード	t=9.0		
フレキシブル板	t=6.0		

共通事項

1)基本的に内装材は撤去し、コンクリート及び断熱材表しとする。
2)外壁断熱は既存のままとする。
3)天井下地は、吊ボルト、野縁、野縁受けを撤去する。
4)天井軽量鉄骨下地の埋込インサートは再利用場合、各階3か所強度試験を行い400N以上あることを確認する。
5)床材撤去後、モルタル面の平滑化等の表面処理を行う。
6)吊ボルト撤去後、断熱材欠損部はウレタンで補修する。
7)躯体切断部表しの上、鉄筋切断面は防錆処理とする。

1)既存の以下の材料は、石綿含有した材料とする。

非飛散石綿含有材(レベル3)	飛散石綿含有材
石綿セメント板	

＊)使用済み防護具は適切に処理すること。
＊)「石綿作業主任者」または、平成18年3月以前の「特定化学物質等作業主任者」の資格を有する者に管理させる。

位置	室名	床[撤去]	(下地)	幅木[撤去]	(Hmm)	壁[撤去]	(下地)[撤去]	見切縁	天井[撤去]	(下地)[撤去]	天井高(mm)	備考
1階	風除室(1)	150角磁器質タイル	モルタル [撤去]			(柱型)ｽﾃﾝﾚｽt=1.5	ｽﾁｰﾙ	－	ステンレスパネルt=1.5	ｽﾁｰﾙ	2200	
	生徒玄関	150角磁器質タイル VS	モルタル [既存のまま]	ｽﾃﾝﾚｽ t=1.5 青木	100 100	(腰)天然木化粧合板 (ﾌｶﾝ合板t=5.5捨張り)	木 木	－	溝DR(捨張りGB-R)	LGS	6900	上り框[撤去]
	保健室	VS	モルタル [既存のまま]	青木	100	しな合板	木 木	－	GB-D	LGS	2700	ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ・カーテンレール[撤去]
	(押入れ)	しな合板(有孔)	木[撤去]	－		しな合板 SOP	木 木	－	GB-R	LGS	2300	中棚[撤去]
	教育相談室	VS	モルタル [既存のまま]	青木	100	GB-R t=12 VC	木 木	－	GB-R VC	LGS	2700	ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ・カーテンレール[撤去]
	(小上がり) (押入れ) (床の間)	断熱ﾀﾀﾐ t=55一部複合板t=15 しな合板(有孔) VS	木[撤去] 木[撤去] 木[撤去]	ﾀﾀﾐ寄せ ﾀﾀﾐ寄せ ﾀﾀﾐ寄せ		GB-R t=12 VC しな合板 SOP GB-R t=12 VC	木 木 木	－	GB-R VC GB-R GB-R VC	LGS LGS LGS	2550 2200 2490	中棚[撤去]
	男子更衣室 女子更衣室	VS	モルタル [既存のまま]	青木	100	しな合板 SOP	木	－	GB-D	LGS	2600	
	男子職員便所 女子職員便所	100角磁器質タイル	モルタル [撤去]	タイル	100	100角半磁器質タイル	ﾗｽﾓﾙﾀﾙ	－	石綿セメント板 VP	LGS	2500 2730	ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ[撤去]
	校長室	TC	モルタル [既存のまま]	青木	100	GB-R t=12 VC	木	－	GB-R VC	LGS	2700	ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ・カーテンレール[撤去]
	職員室	VS	モルタル [一部撤去]	青木	100	しな合板 SOP	木 木	－	DR(捨張りGB-R)	LGS	3000	ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ・カーテンレール[撤去]
	(印刷室) (湯沸室)	VS VS	モルタル [撤去]	青木 タイル	100 100	しな合板 SOP 100角半磁器タイル (捨張り石綿セメント板 t=6)	木 木	－	GB-D GB-D	LGS	2700	ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ・カーテンレール[撤去] 流し台[撤去]
	風除室(2)	150角磁器質タイル VS	モルタル [撤去] [既存のまま]	ｽﾃﾝﾚｽ t=1.5	100	吹付タイル	ﾗｽﾓﾙﾀﾙ	－	DR(捨張りGB-R)	LGS	2500	上り框[撤去]
	職員玄関	VS	モルタル [撤去]	青木	100	(腰)天然木化粧合板 (ﾌｶﾝ合板t=5.5捨張り) しな合板 SOP	木	－	DR(捨張りGB-R)	LGS	2500	受付ｶｳﾝﾀｰ[撤去]
	男子便所 女子便所	100角磁器質タイル	モルタル [撤去]	タイル	100	100角半磁器質タイル	ﾗｽﾓﾙﾀﾙ	－	石綿セメント板 VP	LGS	2900 2730	ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ[撤去]
	手洗い・水飲場	VS	モルタル [既存のまま]	青木	100	(流し前)100角半磁器ﾀｲﾙ しな合板 SOP	ﾗｽﾓﾙﾀﾙ 木	－	DR(捨張りGB-R)	LGS	2500	流し台[撤去]
	廊下	VS (床暖房・配管埋設ｺﾝｸﾘｰﾄ [既存のまま])	モルタル [既存のまま]	青木	100	(腰)天然木化粧合板 (ﾌｶﾝ合板t=5.5捨張り) しな合板 SOP	木 木	－	DR(捨張りGB-R)	LGS	2500 2700	
	オープンスペース(1)	TC (床暖房・配管埋設ｺﾝｸﾘｰﾄ)	モルタル [撤去]	青木	100	(腰)天然木化粧合板 (ﾌｶﾝ合板t=5.5捨張り) しな合板 SOP	木 木	－	DR(捨張りGB-R)	LGS	2630	
	スキー置場	RC直 FLP	RC	青木	100	しな合板 SOP	木	－	GB-D	LGS	2700	ｽｷｰ置台[撤去]
	公務補室 (小上がり)	VS 断熱ﾀﾀﾐ t=55一部複合板t=15	モルタル [既存のまま] 木[撤去]	青木 ﾀﾀﾐ寄せ	100	しな合板 SOP	木	－	GB-D	LGS	2700 2550	流し台・ガス台・吊戸棚[撤去] 作業台・収納棚[撤去]
	物置	RC直 FLP	RC	－		RC-A CB	－	－	GB-D	LGS	2500	棚[撤去]
	機械室 ポンプ室	RC直 FLP	RC	－		(外側)木毛複合板t=53 RC-A CB表し	RC － －	－	RC-A	－	直天井	機械基礎[撤去]

位置	室名	床[撤去]	(下地)	幅木[撤去]	(Hmm)	壁[撤去]	(下地)[撤去]	見切縁	天井[撤去]	(下地)[撤去]	天井高(mm)	備考
	普通教室(1)、(2)、(3)	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸ t=15 直貼り	モルタル [一部撤去]	青木	100	しな合板 SOP	木	－	DR(捨張りGB-R)	LGS	3000	ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ・カーテンレール[一部撤去] 什器[撤去]
	図工室	VS	モルタル [一部撤去]	青木	100	しな合板 SOP	木	－	DR(捨張りGB-R)	LGS	3000	ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ・カーテンレール[撤去] 什器[撤去]
	図工準備室	VS 一部 RC直 FLP	モルタル [一部撤去]	青木	100	しな合板 SOP 石綿ｾﾒﾝﾄ板 t=6 (Ⅰ期)	木 木	－	GB-D	LGS	3000	ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ・カーテンレール[撤去] 什器[撤去]
	教材室	VS	モルタル [一部撤去]	青木	100	しな合板 SOP	木	－	GB-D	LGS	3000	棚[撤去]
	特殊学級教室(1)、(2) (小上がり)	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸ t=15 直貼り 断熱ﾀﾀﾐ t=55一部複合板t=15	モルタル [一部撤去] 木[撤去]	青木 ﾀﾀﾐ寄せ	100	しな合板 SOP	木	－	DR(捨張りGB-R)	LGS	3000 2850	ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ・カーテンレール[撤去] 什器[撤去]
	食堂	VS	モルタル [既存のまま]	青木	100	(腰)天然木化粧合板 (ﾌｶﾝ合板t=5.5捨張り) しな合板 SOP	木 木	－	DR(捨張りGB-R)	LGS	3000	ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ・カーテンレール[塗替え]
	給食搬入口	RC直 FLP	RC	青木	100	しな合板 SOP	木	－	GB-D	LGS	3000	棚[撤去]
2階	廊下	VS (床暖房・配管埋設ｺﾝｸﾘｰﾄ [既存のまま])	モルタル [既存のまま]	青木	100	(腰)天然木化粧合板 (ﾌｶﾝ合板t=5.5捨張り) しな合板 SOP	木 木	－	DR(捨張りGB-R)	LGS	2500 3000	
	オープンスペース(2)	TC (床暖房・配管埋設ｺﾝｸﾘｰﾄ [既存のまま])	モルタル [既存のまま]	青木	100	(腰)天然木化粧合板 (ﾌｶﾝ合板t=5.5捨張り) しな合板 SOP	木 木	－	DR(捨張りGB-R)	LGS	3000	
	男子便所 女子便所 掃除具入れ	100角磁器質タイル (ｱｽﾌｧﾙﾄ防水E-1,H300+保護ｺﾝｸﾘｰﾄ)	モルタル [撤去]	タイル 防水立上げ	100 300	100角半磁器質タイル	ﾗｽﾓﾙﾀﾙ	－	石綿セメント板 VP	LGS	2500 3030	ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ[撤去]
	手洗い・水飲場	VS (床暖房・配管埋設ｺﾝｸﾘｰﾄ [既存のまま])	モルタル [既存のまま]	青木	100	(流し前)100角半磁器ﾀｲﾙ しな合板 SOP	ﾗｽﾓﾙﾀﾙ 木	－	DR(捨張りGB-R)	LGS	2500	流し台[撤去]
	図書室	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸ t=15 直貼り	モルタル [既存のまま]	青木	100	しな合板 SOP	木	－	DR(捨張りGB-R)	LGS	3000	ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ・カーテンレール[撤去] 什器[撤去]
	前室	VS	モルタル [既存のまま]	青木	100	しな合板 SOP	木	－	GB-D	LGS	2500	
	放送室	TC TC(一部木床組)	モルタル [既存のまま] 木[撤去]	青木	100	有孔しな合板 t=6 SOP (内部ｸﾞﾗｽｳｰﾙt=50充填 寒冷紗裏内)	木	－	GB-P (ｸﾞﾗｽｳｰﾙt=50敷き込み)	LGS	3000	ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ・カーテンレール[撤去] 配線ﾋﾟｯﾄ[撤去]
	スタジオ	TC	モルタル [既存のまま]	青木	100	有孔しな合板 t=6 SOP (内部ｸﾞﾗｽｳｰﾙt=50充填 寒冷紗裏内)	木	－	GB-P (ｸﾞﾗｽｳｰﾙt=50敷き込み)	LGS	3000	ﾊﾟｯｸ用レール[撤去] 照明用天井ﾊﾟｲﾌﾟ[撤去]
	視聴覚室	TC (嵩上げ後打ちｺﾝｸﾘｰﾄ)	モルタル [既存のまま]	青木	100	有孔しな合板 t=6 SOP (内部ｸﾞﾗｽｳｰﾙt=50充填 寒冷紗裏内)	木	－	GB-P (ｸﾞﾗｽｳｰﾙt=50敷き込み)	LGS	3000	ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ・カーテンレール[撤去] 配線ﾋﾟｯﾄ[撤去]
	普通教室(4)、(5)、(6)、(7)	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸ t=15 直貼り	モルタル [既存のまま]	青木	100	しな合板 SOP	木	－	DR(捨張りGB-R)	LGS	3000	ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ・カーテンレール[既存のまま] 什器[撤去]
	教材室	VS	モルタル [既存のまま]	青木	100	しな合板 SOP	木	－	GB-D	LGS	3000	棚[撤去]
	家庭科室	VS	モルタル [既存のまま]	青木	100	しな合板 SOP	木	－	DR(捨張りGB-R)	LGS	3000	ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ・カーテンレール[既存のまま] 什器[撤去]
	家庭科準備室	VS	モルタル [既存のまま]	青木	100	しな合板 SOP	木	－	GB-D	LGS	3000	流し台[撤去] 什器[撤去]

審査			
検査			
監理			
施工			

勝矢 武之 一級建築士
岩村 友惠 一級建築士
頭井 秀和 一級建築士
小林 哲也
宮口 芳郎 一級建築士

日建設計

2024.08.30 検図者：竹内 錦

(仮称)人生100年の学びの拠点
中頃別学園整備工事

改修前 仕上共通事項・仕上表(1)

(通し番号 9)
3 － 1

No. J－221730－C

*17.01.01発行 仕様書委員会 作成

780×670

内装仕上表(2)(既存校舎)

位置	室名	床[撤去]	(下地)	幅木[撤去]	(Hmm)	壁[撤去]	(下地)[撤去]	見切縁	天井[撤去]	(下地)[撤去]	天井高(mm)	備考
2階	理科準備室	VS	モルタル[既存のまま]	青木	100	しな合板 SOP	木	-	GB-D	LGS	3000	流し台[撤去] 什器[撤去]
	理科室	VS	モルタル[既存のまま]	青木	100	しな合板 SOP	木	-	DR(捨張りGB-R)	LGS	3000	ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ･ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ撤[既存のまま] 什器[撤去]
	音楽室	TC ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸ t=15 直貼り	モルタル[既存のまま]	青木	100	有孔しな合板 t=6 SOP (内部ｸﾞﾗｽｳｰﾙ t=50充填 寒冷紗裏内)	木	-	GB-P (ｸﾞﾗｽｳｰﾙt=50敷き込み)	LGS	3000	ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ･ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ撤[既存のまま] 什器[撤去]
PI階	高架水槽室	RC直ウレタン塗床	RC	ｳﾚﾀﾝ塗床立上げ	100	XPS板 t=50打込み	RC[既存のまま]	-	XPS板 t=50打込み	RC	直天井	床ハッチ[撤去]
共通	階段室	VS	モルタル[既存のまま]	青木	100	しな合板 SOP RC-A EP	木 RC[既存のまま]	-	DR(捨張りGB-R)	LGS	3000	手摺[取外し・再取付] ノンスリップ[撤去]

内装仕上表(2)(既存屋内体育館)

位置	室名	床	(下地)	幅木[既存のまま]	(Hmm)	壁[既存のまま]	(下地)[既存のまま]	見切縁	天井[撤去]	(下地)[撤去]	天井高(mm)	備考
1階	風除室	150角磁器質タイル VS[撤去]	モルタル モルタル[既存のまま]	ｽﾃﾝﾚｽ t=1.0 青木	100 100	天然木化粧合板 (ﾗﾜﾝ合板t=5.5捨張り)	木	-	GB-D	LGS	2600 2500	什器[既存のまま] 上がりがまち[既存のまま]
	ミーティングルーム	VS[撤去]	モルタル[既存のまま]	青木	100	しな合板 SOP	木	-	GB-D	LGS	2500	什器[撤去]
	男子更衣室 女子更衣室	VS[撤去]	モルタル[既存のまま]	青木	100	しな合板 SOP	木	-	GB-D	LGS	2500	什器[撤去]
	器具庫	VT	モルタル[既存のまま]	青木	100	しな合板 SOP	木	-	GB-D	LGS	2500	什器[撤去]
	男子便所 女子便所	100角磁器質タイル[撤去]	モルタル[撤去]	-	-	100角半磁器質タイル	モルタル ﾗｽﾓﾙﾀﾙ (蓄熱対面)	-	F	LGS	2500	トイレブース[撤去]
	廊下 水飲場	VS[撤去]	モルタル[既存のまま]	青木	100	(壁)天然木化粧合板 (ﾗﾜﾝ合板t=5.5捨張り) しな合板 SOP	木	-	GB-D	LGS	2500	什器[撤去]

書工	. .	. .	
検工	. .	. .	
監理		. .	
施工		. .	

勝矢 武之 一級建築士
岩村 友惠 一級建築士
関井 秀和 一級建築士
小林 哲也
濱口 秀郎 一級建築士

日建設計

2024.08.30　検図者：竹内 勝

(仮称)人生100年の学びの拠点
中頓別学園整備工事

改修前　仕上表(2)

(通し番号 10)
3 － 2

No. J－221730－C

780X670

共 通 事 項

a.本表は本工事に用いる内外装仕上げを一括して表す。各一覧表・材料表に記載の符号等は、本表以外の設計図にも適用する。
b.仕上表備考欄に不とあるものは、壁・天井仕上下地共不燃材とする。準とあるものは、壁・天井仕上げを準不燃材、難とあるものは難燃材以上とする。
c.コンクリートとALCパネル及び軽鉄下地との壁取合部には化粧目地を設ける。
　目地材は＊亞化鋼　・　　、目地幅は＊10mm　・　　mmとする。
d.天井下地は軽量鉄骨下地とする。
e.床仕上げがビニルタイル・ビニルシート や塗り床等の場合の下地は、コンクリート金ごて仕上げとする。
f.RC-Aは、種仕A欄に加え、塗装型枠合板を使用した平滑なコンクリート化粧打放し仕上とする。
・シーリング色の決定は、監督員の承諾を得て施工を行うものとする。

コンクリート工事

・仕上層し打ちは特記なき限り外部25mm、内部10mmとする。
・打放し面の出隅は面取りとする。
・打放しの補修は原則行わない。
・型枠合板割付及びPコン割付については、部分ごとにPコン割付図を作成し監理者の承諾を受けること。
・Pコン割付図には設備スリーブ及び化粧Pコンの位置を記載する。またPコン割付はXY方向とも同レベルとする。
・型枠の建て込み前に、型枠面となる部分の足跡等は必ず拭取ること。
・Pコン穴埋めは無収縮モルタル面落ちテーパーなし工法とする。
・無収縮モルタルは躯体コンクリートとの色合わせを行う。
・型枠ノロ止めシートを使用すること。
・型枠下部には清掃口を設け、コンクリート打設前に内部の釘や金物等を取り除き、木屑は水で洗い流すこと。

塗装工事

・塗装色の決定は監督員に塗装見本を提出し、承諾を得て施工を行うものとする。

内装工事

・ボード類の目透し貼は、目地テープ入りとする。
・特記なき限りシナ合板仕上は目透し貼りとする。
・ビニル床シートのジョイントは溶接処理とする。
・合板面の下地は木下地タテ45×105@450、ヨコ45×45@450とする。
・天井廻り縁・目透しは塩ビ製(見付5mm、コ型、テーパー付)とする。
・化粧石こうボードはホルムアルデヒト吸収分解タイプとする。
・直貼フローリングは直貼工法とし、外周取り合い部はシーリング（変性シリコン）10×10とする。
・外部開口部周りは、発泡ウレタン充填とする。
・外部に面する建具の詰めモルタルは、防水材入りとする。
・ランバーコア合板の見え掛かり部分は、小口単板貼とする。
・ALC版のジョイントは全てシーリング、バックアップ材共とする。

ユニット工事

・床点検口には、鍵を付ける事。（床点検口の裏には、FP板t5O接着貼りのこと）
・サインは原寸大の図面を提出し、取付け位置を現場で確認して監督員の承諾を得て施工を行うこと。

塗装一覧表

符号	名称	符号	名称
SOP	合成樹脂調合ペイント塗り	F-BE	ふっ素樹脂焼付け塗り
CL	クリヤラッカー塗り	U-BE	1液形ウレタン樹脂焼付け塗り
NAD	アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り	A-BE	アクリル樹脂焼付け塗り
		FUC	ふっ素樹脂クリヤー焼付け塗り(アルミニウム面)
DP-F	ふっ素樹脂耐候性塗料塗り	DPC	耐候性クリヤー塗装塗り(ステンレス面)
DP-AS	アクリルシリコン樹脂耐候性塗料塗り		
DP-U	ウレタン樹脂耐候性塗料塗り	DPC	耐候性クリヤー塗装塗り(コンクリート面)
		CWP	コンクリート面撥水剤塗り
EP-G	つや有合成樹脂エマルションペイント塗り		
EP	合成樹脂エマルションペイント塗り	FP	耐火塗料塗り
EP-T	合成樹脂エマルション模様塗料塗り		
		DPH-F	重防食ふっ素樹脂耐候性塗料塗り
UC	ウレタン樹脂ワニス塗り	DPH-AS	重防食アクリルシリコン樹脂耐候性塗料塗り
WP	木材保護塗料塗り	DPH-U	重防食ウレタン樹脂耐候性塗料塗り
OSCL	オイルステインクリアラッカー塗り	TXE	タールエポキシ樹脂塗料塗り
OC	オイルフィニッシュ仕上げ	U-M	ウレタン樹脂塗料塗り鏡面仕上げ
LE	ラッカーエナメル塗り	ATP	水性抗菌塗料塗り
		HRP	耐熱塗料塗り
FE	フタル酸樹脂エナメル塗り		
		ZP	溶融亜鉛めっきの上、りん酸処理
		MP	マスチック塗材塗り

仕上材符号一覧表

	符号	名称		符号	名称
床・壁・天井	RC面	コンクリート直均し	床・壁・天井	GB-F	強化せっこうボード
	RC金こて	コンクリート金ごて押え		GB-L	せっこうラスボード
	RC-A(化)	コンクリート化粧打放し仕上げ		GB-NC	不燃繊層せっこうボード
	RC-A	コンクリート打放仕上げ		GB-H	普通硬質せっこうボード
		(種仕 表6.2.4 A欄)		KGB	火山性ガラス質複合板（VSボード）
		塗装型枠合板		F	フレキシブル板
	RC-B	コンクリート打放仕上げ		NF	軟質フレキシブル板
		(種仕 表6.2.4 B欄)		FK	繊維強化セメント板(けい酸カルシウム板)タイプ2
	RC-C	コンクリート打放しのまま		FK-P	穴あきけい酸カルシウム板
		(種仕 表6.2.4 C欄)		WB	木質系セメント板
	CB	コンクリートブロック		MDF	ミディアムデンシティファイバーボード
	ALC	ＡＬＣパネル		SGB	スラグせっこう板
	穴PC	穴あきＰＣパネル		C	クロス
	ECP	押出成形セメント板		VC	ビニルクロス
	PC	プレキャストコンクリート			
	LGS	軽量鉄骨下地			
	T	タイル	幅木	V	ビニル幅木
	VT	ビニル床タイル		W	木製幅木
	RT	ゴム床タイル		VS	ビニル床シート立上げ幅木
	VS	複層ビニル床シート			
	TC	タイルカーペット			
	CP	カーペット	見切	AL	アルミ見切線
	RW吹付け	吹付けロックウール		V	ビニル製見切線
	GW	グラスウールガラスクロス付ボラン押え		W	木製廻り縁
	TB	テラゾブロック		SUS	ステンレス見切線
	DR	ロックウール化粧吸音板			
	鏡DR	鏡付ロックウール化粧吸音板	防水	A防水	アスファルト防水
	GB-R	せっこうボード		改A防水	改質アスファルトシート防水
	GB-P	吸音用穴あきせっこうボード		S防水	合成高分子系ルーフィングシート防水
	GB-D	化粧せっこうボード		U防水	ウレタンゴム系塗膜防水
	GB-S	シージングせっこうボード		P防水	ポリマーセメント系塗膜防水
				K防水	ケイ酸質系塗布防水
				C防水	セメント防水

防火材料一覧表

区分	材料の名称・規格	認定番号
不燃材料	繊維強化セメント板 (スレートボード・フレキシブル板・パーライト板)	NM-8576
	繊維強化セメント板(けい酸カルシウム板)タイプ2 t5mm以上	NM-8578
	化粧繊維強化セメント板	NM-8577
	せっこうボード t12.5、16mm	NM-8619
	不燃積層せっこうボード t9.5mm	NM-8613
	化粧せっこうボード t12.5mm	NM-8614 NM-0127
	強化せっこうボード t12.5、15、18.21.25mm	NM-8615
	普通硬質せっこうボード	NM-9645 NM-1139
	ロックウール化粧吸音板	NM-8599
	吹付けロックウール t10mm以上	NM-8601
	グラスウール保温板	NM-8605
	グラスウール化粧保温板	NM-8606
	ALCパネル	NM-xxxx
	押出成形セメント板	NM-9252
	塗料塗装/不燃材料 (下地・法定不燃材)	NM-8585
	仕上塗材/不燃材料 (下地・法定不燃材)	NM-8572
	火山性ガラス質複合板（VSボード）	NM-1220 NM-1221

区分	材料の名称・規格	認定番号
不燃材料	紙製壁紙	NM-xxxx
	繊維製壁紙	NM-xxxx
	無機質製壁紙 (下地・法定不燃材料、金属・せっこうボードを除く。直張り)	NM-xxxx
準不燃材料	せっこうボード 9.5mm	QM-9828
	化粧せっこうボード 9.5mm	QM-9824
	シージングせっこうボード 9.5mm	QM-9826
	木片セメント板	QM-xxxx
	木毛セメント板 t25	QM-9701
	紙製壁紙	QM-xxxx
	繊維製壁紙	QM-xxxx
	プラスチック製(塩化ビニル)壁紙	QM-xxxx
	無機質製壁紙(不燃材料) (下地・法定不燃材料、金属・せっこうボードを除く。直張り)	QM-xxxx ＊無機質壁紙は金属下地を含む

材料表

注)製造者・品番は、同等品以上とする。

名称（符号・呼び名）	品種・規格・寸法・仕上げの形状など	備考（製造者・品番など）
＜防水＞		
A防水-1	アスファルト露出防水絶縁断熱工法(DI-1)、遮熱塗料仕上	
A防水-2	アスファルト露出防水絶縁断熱工法(DI-1)、遮熱塗料仕上 ルーフデッキ耐火30分認定工法	タジマ：AW工法程度
A防水-3	アスファルト露出防水絶縁断熱工法(W3DI-1)、遮熱塗料仕上	
A防水-4	アスファルト露出防水絶縁工法(W3D-1)、遮熱塗料仕上	
F防水-1	亀裂自閉性樹脂防水エポキシ樹脂防滑仕上　一般水着用	パラテックス B-2 程度
F防水-2	亀裂自閉性樹脂防水エポキシ樹脂防滑仕上　耐汚水仕様	パラテックス B-60 程度
U防水-1	ウレタンゴム系塗膜防水 X-2	
K防水	ケイ酸質系塗布防水	パンデックス$S+P工法程度
熱溶着金属防水	超耐久性鋼板熱溶着防水、不燃認定NM-5134	JFE；ブルーフ防水程度
歩行用保護板	アスファルトマスチック化粧板 t6	田島ルーフィング：パリキャップ程度
＜床＞		
T-1	せっ器質タイル、無釉、92×92×15	リクシル、パティーノ、PTI-100V4程度
VT-1	ビニル床タイル t2.0	東リ：マチコV程度
TC-1	タイルカーペット	
TC-2	タイルカーペット	
高耐久性樹脂繊維カーペット t9		フォルボ、コーラルグリップ程度
フローリング-1	直張り天然木フローリング、t15、表面単板 t3.0、カバ材	
フローリング-2	直張り天然木複合フローリング床暖用、t15、表面単板 t3.0、カバ材	
フローリング-3	直張りスポーツフロア用フローリング、t18、表面単板 t6.0、 カバ材、ポリウレタン塗装4回、ささくれ抑制加工品	
VS-1	長尺塩ビソンウックスシート、抗菌、t2.0	
VS-2	長尺塩ビシート、耐薬、防カビ、抗菌、t2.0	
VS-3	トイレ用防滑性ノンウックスビニル床シート、t2.0	
VS-4	硬質骨材練り込み特殊防滑シート床材、t2.5	ABC商会：アルトロセーフティフロア程度
ビニル床用下地シート	衝撃吸収・吸音仕様、t4.5	東リ：アンダーレイシート程度
FLP-1	水性ハイソリッド型コンクリート表面強化材	エスケー化研、アーキタイトエコ程度
FLP-2	床用防塵塗料塗り	
調製床下地組-1	H500用一般体育館用調製床下地＋構造合板t12（捨貼） 支持台・大引間隔@900、踏部壁取合いエキスパンゴム 14.7KN/㎡載荷時のたわみ量20mm以下 弾力性値T=0.02以上、硬さG=90以下	梁野製作所 ジムエース900-1形程度
調製床下地組-2	H200用一般体育館用調製床下地＋構造合板t12（捨貼） 支持台なし、大引間隔@900、踏部壁取合いエキスパンゴム 14.7KN/㎡載荷時のたわみ量20mm以下 弾力性値T=0.02以上、硬さG=90以下	梁野製作所 ジムエース900-1形程度
フリーフロア	ラウン合板t12、パーティクルボードt20、鋼製支持下地	万協、WP型支持脚 程度
インターロッキング平板	298×298×t60、レンガ調	
＜外壁＞		
木毛セメント板	t25	
耐火セメント板	ガラス繊維補強セメントボード t12.5　不燃NM-2083	吉野石膏：デラクリート程度
外断熱A	透湿型湿式外断熱工法 EPS（ビーズ法ポリスチレンフォーム）t150・接着モルタル 透湿性塗材（骨材入）・グラスファイバーメッシュ・ベースモルタル	アイカ工業：パッシブウォール ミーティア仕上程度
外断熱B	透湿型湿式外断熱工法（1FL以下） XPS（押出法ポリスチレンフォーム）t150・接着モルタル 透湿性塗材（骨材入）・グラスファイバーメッシュ・ベースモルタル	アイカ工業：パッシブウォール ミーティア仕上程度
塗り壁材	外装薄塗材E、透湿性塗材（骨材入）	アイカ工業：ジョリパットアルファ程度
吹付タイル	複層塗材SI、水性無機高分子系吹付タイル難燃材料 RW-9362 セメント系下地調整材2種	エスケー化研：セラミタイトタイル程度
アスファルト防水	低弾性型高耐候性水性フッ素樹脂クリヤー	エスケー化研、セラール程度
改質アスファルトシート	t40	タキロンシーアイ：ルメタックオール程度
合成高分子系ルーフィング	CWP	セントラルコンクリート、ポルトガード程度
ウレタンゴム系塗膜防水	塗装溶融亜鉛めっき鋼板、t0.4	カラーガルバリウム鋼板
ポリマーセメント系塗膜防水		
ケイ酸質系塗布防水	＜内壁・天井＞	
セメント防水	シナ合板	t5.5、OSCLふきとり仕上
	有孔シナ合板	t6.0
	化粧FK	化粧ケイ酸カルシウム板　t6.0
	木毛セメント板	木毛セメント板 t18
	GWB-1	グラスウール(32K)+ガラスクロス表面化粧板、t50
	GWB-2	高密度GW(40K)+厚手ガラスクロス化粧吸音板t25
	メラミン不燃化粧板	t3.0 メラミン樹脂含浸不燃化粧板
	下張用せっこうボード	t9.5 準不燃
	化粧せっこうボード	t9.5 準不燃
	＜屋根＞	
	耐火野地板	硬質木片セメント板t18　　大臣認定30分耐火
	耐火ルーフデッキ	t1.2、H=75　屋根30分耐火FP030RF-0326(支持スパン4550mm以下)
	＜断熱材＞	
	XPS	押出法ポリスチレンフォーム保温板2種b
	EPS	ビーズ法ポリスチレンフォーム保温板
	PUF	硬質ウレタンフォーム保温板 2種1号
	吹付HFO	吹付硬質ウレタンフォーム4種1H
＜コート材＞		
吹付CPS	湿式不燃断熱材、ノンフロン無機質系軽量骨材セメント 吹付断熱材、吹付厚さt10、吹放し仕上	エスケー化研、セラミライトエコ6程度
湿式不燃材	有機質砂壁状吹付塗り、t10	エスケー化研、ダンセポンチ250程度
不燃コート	セラミック系ウレタン不燃コート、t11、不燃認定NM-4716	エスケー化研、セラタイカ2号U程度
耐火塗料	柱1時間耐火(□-300x300x9)、認定番号FP060BM-9419	エスケー化研、SKタイカコート程度
＜その他＞		
アルミ笠木	既製品 W450、二次電解着色シルバー	
L型アルミ笠木	140×55、内ジョイント版@2000	日本興産株式会社 OK-140型程度
畳応切金物	既製品、H137.5程度、アルミ笠木W450に固定	ABC商会アルウィットラSP1程度
木製幅木	シナ合板t4.0、OSCL塗装	
掲示壁	部分詳細図による	
ホワイトボード壁付	木枠、合板t6.0、ホワイトボード用シート	住友3M、PWF-500程度
消火器ボックス	既製品埋込型、スチール無付塗装扉 箱寸法サイズ：W240×H80、文字：50mm角、白色(地：赤色)	ユニオン、UFB-1F-211程度
消火器スタンド	既製品、樹脂製	
鍵箱	鋼製、H400×W330×D70	スギタエース　CI-60程度
脱気装置	ステンレス既製品（80㎡に1ヶ所、水上に設ける）	
ピクチャーレール	壁付重量用タイプ(70kg/m)	
AEDボックス	既製品埋込型、スチール無付塗装扉	ユニオン UAB-103ZB-PWH 程度
ユニットシャワー	800×800	TOTO、JSY0080BUL 程度

材料表

名称（符号・呼び名）	品種・規格・寸法・仕上げの形状など	備考（製造者・品番など）
笠木	アルミ笠木 t2.0 既製品	
縦樋機取付金具	壁付け金具、アーム長700、スチール製収納箱	オリロー B-700 右付き金具 程度
縦樋機		オリロー、縦樋機
設備 改修用ルーフドレン	ステンレス、ゴム入り 屋型、鋼製、φ100用	ナカ工業 程度 田島ルーフィング、リードレン程度
薪ストーブ	鋼製、ガラス入り扉付き、脚付き、W660xD479xH768程度	RAIS、G-TEE2C US程度
郵便ポスト	ステンレス製既製品、W390xH590xD300、鍵仕上、ディンプル錠	ナスタ、KS-WM305
ベビーキープ	コーナー設置タイプ、既製品	TOTO、YKA185程度

外装・外構仕上表

部位	仕上
屋根1	RC直の上 U防水-1
屋根2，3，5，6，11	RC直、PUF t200の上 A防水-1
屋根4	（室外側より）熱溶着金属防水(不燃材)、改質アスファルトフェルト、 野地板t12、XPS t100+100（母屋本100x100の2段組内に充填）、 防湿シート、構造用合板t24、野縁、強化石こうボードt12.5、 【H12年建告1358号第5六号　準耐火構造の屋根】
屋根7	既存A防水撤去。PUF t200の上 A防水-3
屋根7（手摺エリア）	既存A防水撤去。PUF t200、A防水-3の上 歩行用保護板接着貼り
屋根8，10	耐火ルーフデッキ t1.2、PUF t200の上 A防水-2 【屋根耐火30分　FP030RF-0326】
屋根9	（室外側より）熱溶着金属防水(不燃材)、改質アスファルトフェルト、 野地板t12、XPS t100+100（母屋本100x100の2段組内に充填）、 防湿シート、構造用合板t24、野縁、強化石こうボードt12.5
屋根12	既存A防水撤去、A防水-4
屋根	（室外側より）熱溶着金属防水(不燃材)、改質アスファルトフェルト、 野地板t12、XPS t100+100（母屋本100x100の2段組内に充填）、 防湿シート、構造用合板t24、野縁 45×45@450内外、強化石こうボードt12.5、 【H12年建告1358号第5六号　準耐火構造の屋根】
ハイサイドライトF,G,H 屋根	（室外側より）熱溶着金属防水(不燃材)、改質アスファルトフェルト、 XPS t50+50、耐火ルーフデッキ t1.2 吹付HFO t50 【屋根耐火30分　FP030RF-0326】
設備立上りスペース1,2層根 屋根	（室外側より）熱溶着金属防水(不燃材)、 改質アスファルトフェルト、野地板 t1.2 木下地45×45@450、コンクリートスラブ
外壁（棟1，2－1，2－2）	RC壁の上外断熱A t150
外壁（棟2）	（1～2階）既存吹付タイル撤去の上、RC壁の上外断熱A t150 （塔屋）既存吹付タイル撤去の上、RC壁の上複層塗材SI
外壁（棟3RC壁）	RC壁の上外断熱A t150
外壁（棟3Ⓐ通り、Ⓑ～Ⓓ間 金属下地壁）	（室外側より）外断熱A t150、耐火セメントボードt12.5、ケイ酸カルシウム板t6.0、 鋼胴縁 C-100×50×3.2、吹付ロックウールt30、鳥居柱 □-300×300 耐火塗料、 内壁用下地 LGS100型 LGS 100型、木毛セメント板t18 EP 【壁耐火1時間大臣認定　FP060NE-9305】
外壁（風除室1）	RC-A、CWP
外壁 （ハイサイドライトA～E）	（室外側より）ガルバリウム鋼板t0.4 縦はぜ葺き、横胴縁、透湿防水シート、 EPS t60（縦胴縁60×60@450内に充填）、強化石こうボードt21+t21、 木軸組100×100@900(EPS t100充填)、防湿シート、強化石こうボードt21+t21 EP 【H12年建告1399号第1四号ト(1)】
外壁 （ハイサイドライトF,G,H）	（室外側より）着色鋼板t0.35 縦はぜ葺き、透湿防水シート、 強化石こうボードt15、木毛セメント板t25 金属横胴縁 C-100×50×20×2.3@455、XPS t100（横胴縁内に充填）、吹付HFO t50 【壁耐火1時間大臣認定　FP060NE-9233】
棟1，棟3設備立上りスペース	RC壁の上塗り壁材
棟2－1，棟3　庇	屋根：RC金ごての上、U防水-1 軒天：RC-A、WP、小口：RC-A、CWP
ポーチ	インターロッキング平板、下地モルタル

審工	・・	・・	
検工	・・	・・	
監理		・・	
施工		・・	

勝矢　武之　一級建築士
岩村　友恵　一級建築士
頭井　秀和　一級建築士
小林　哲也
宮口　芳郎　一級建築士

日建設計

2024.08.30　　検図者：竹内　錦

（仮称）人生100年の学びの拠点
中頃別学園整備工事

改修後　仕上共通事項・仕上表（1）

意　（通し番号 11）
3 － 3

No. J－221730－C

780×570

内装仕上表

位置	室名	床	基準FLからのレベル(※基準天端)	幅木	(Hmm)	壁	(塗装)	見切縁	天井	(塗装)	天井高(mm)	備考
増築1階	風除室1	防塵カーペット	-155~±0	RC目地	60	RC-A	CMP	V	直天 RC-A	CMP	2,100	傘立て、館名サイン
		U防水-1									~2,255	
		下地:モルタル										
		RC金ごて	(-115									
			~-40)									
	風除室2	防塵カーペット	-50~±0	ステンレスHL	60	外断熱A(下地 RC-C)	-	アルミ	FK	EP	2,100	
		U防水-1										
		下地:モルタル										
		RC金ごて	(-90									
			~-50)									
	風除室3	防塵カーペット	-50~±0	ステンレスHL	60	外断熱A(下地 RC-C)	-	アルミ	FK	EP	2,100	傘立て
		U防水-1										
		下地:モルタル										
		RC金ごて	(-90									
			~-50)									
	図書室1	T-1	±0	RC目地	60	既存側:既存RC-C	吹付タイル	V	RC-A	CMP	3,630	展示台、掲示板 [製]
	(床暖範囲)	下地:モルタル、				増築側:RC-A	CMP		(吹抜部)構造用合板の		8,690	受付カウンター、壁面本棚
		床暖房保護コンクリート t100							上、GB-F			窓側カウンター
		PUF t30										
		RC直	(-160)									
	図書室1	T-1	±0			既存側(6通×Y3-Y4通間):			RC-A	CMP	3,630	
	(床暖範囲外)	下地:モルタル、		RC目地	60	既存RC-C	本地	V	(吹抜部)構造用合板の		8,690	
		RC直	(-50)	RC目地	60	既存側(上記以外):既存RC-C	吹付タイル		上、GB-F			
				W	60	増築側(1通):GB-R	EP					
				RC目地	60	増築側(上記以外):RC-A	CMP					
	図書室1	T-1	±0	RC目地	60			V	構造用合板の上、GB-F	EP	11,535	カフェ・配膳、調理 [製]
	(カフェコーナー)	下地:モルタル、									8,690	実習カウンター、
		床暖保護コンクリート t100										カウンター内シンク他
		PUF t30										調理器具
		RC直	(-160)									
	図書室1	T-1	-450			既存側:既存RC-C	吹付タイル	V	構造用合板の上、GB-F	EP	11,535	円形本棚、ベンチ [製]
	(小下りコーナー)	下地:モルタル、				増築側:RC-A	CMP				8,690	ソファ
		床暖保護コンクリート t100										
		PUF t30										
		RC直	(-610)									
	図書室1	TC-1 下地:小上がり床組H390	+540			既存側:既存RC-C	吹付タイル	V	構造用合板の上、GB-F	EP	11,535	円形本棚、ベンチ [製]
	(小上がりコーナー)	T-1	+150			増築側:RC-A	CMP				8,690	ソファ
		下地:モルタル										
		床暖保護コンクリート t100										
		PUF t30										
		RC直	-10									
	図書室2	T-1	±0	RC目地	60	既存側:既存RC-C	吹付タイル	-	RC-A	CMP	3,630	本棚、点字棚 [製]
		下地:モルタル、				増築側:RC-A	CMP		木毛セメント板	EP	2,980	
		床暖保護コンクリート t100										
		PUF t30							(吹抜部)			
		RC直	(-160)						木毛セメント板	EP	6,600	
	事務室3	TC-1	±0	RC目地	60	RC-A	CMP	V	DR	-	2,980	窓台、ホワイトボード
		RC金ごて	(-10)									カーテンレール、カーテンボックス
	ミュージックルーム	TC-1	±0	W	60	町産木仕上壁(GW充填)	OSCL	V	DR	-	2,980	窓台、移動台
		下地:モルタル										ピクチャーレール
		RC直	(-30)									カーテンレール、カーテンボックス
	楽器保管室	TC-1	±0	W	60	有孔シナ合板(GW充填)	OSCL	V	DR	-	2,980	楽器収納棚
		下地:モルタル										カウンター
		RC直	(-30)									カウンター下収納
	図書ラウンジ1	T-1	±0	RC目地	60	RC-A	CMP	V	DR	-	2,980	本棚、窓台 [製]
		下地:モルタル、										カーテンレール、カーテンボックス
		床暖保護コンクリート t100										
		PUF t30										
		RC直	(-160)									
	クラフトルーム	FLP-1	±0	W	60	有孔シナ合板(GW充填)	OSCL	V	DR	-	2,980	作業カウンター、流し台
		RC金ごて	(-10)									棚、ホワイトボード、作業テーブル
												カーテンレール、カーテンボックス
	クラフト準備室	FLP-1	±0	W	60	シナ合板(下地 GB-R)	OSCL	V	DR	-	2,980	作業カウンター、流し台
		RC金ごて	(-10)	RC目地		RC-A	CMP					カーテンレール、カーテンボックス
	FABスペース	FLP-1	±0	シナ合板、OSCL	60	有孔シナ合板(GW充填)	OSCL	V	DR	-	2,980	作業テーブル、作業カウンター
		RC金ごて	(-10)	RC目地	60	RC-A	CMP					棚、壁面工具掛け
												カーテンレール、カーテンボックス
	ホール	フローリング-3、構造用合板t15捨貼	±0	W	60	W通:木毛セメント板	EP	V	構造用合板の上、GWB-2	-	7,490	ステージ、窓台ベンチ
		鋼製床下地組 H=500, H=200				17通:RC-A	CMP	V	(ハイサイドライト)GB-F	EP	S塗現し	
		RC壁の上吹付 HFO t25	(-400)			17通ｽﾃｰｼﾞ背面:町産木仕上					木塗現し	
						Ha通既存外壁:RC-C	吹付タイル					
						Ha通新設壁:GB-Rの上						
						木毛セメント板	EP					
	ランチルーム	T-1	±0	RC目地	60	GB-R	EP	-	木毛セメント板	EP	2,980	薪ストーブ、ベンチ
		下地:モルタル				RC-A	CMP		(吹抜部)		6,600	窓台、ボックスシート
		RC直	(-30)									本棚、手洗い
	調理実習コーナー	T-1	±0	RC目地	60	FK(下地 GB-R)	EP-G	-	木毛セメント板	EP	2,980	シンク付き作業カウンター [製]
		下地:モルタル				RC-A	CMP					配膳カウンター
		RC直	(-10)									収納棚
	給食厨房各室	VS-4	±0	VS-4立上	300	化粧FK(下地 GB-R)	-	V	化粧FK	-	2,500	厨房機器、手洗い [不]
		下地:モルタル										排水口
		RC直	(-40)									
	音楽スタジオ	TC-1	±0	W	60	有孔シナ合板(GW充填)	OSCL	-	直天 GWB-2	-	2,280	
		下地:モルタル										
		RC直	(-30)									

内装仕上表

位置	室名	床	基準FLからのレベル(※基準天端)	幅木	(Hmm)	壁	(塗装)	見切縁	天井	(塗装)	天井高(mm)	備考
増築1階	1年生教室	フローリング-1	±0	W	60	①③通り:RC-A	CMP	-	直天 RC-A	CMP	2,100	ホワイトボード、収納棚
		下地:モルタル				上記以外:	OSCL				~3,300	コート掛け、流し台、ランドセル棚
		RC直	(-30)			有孔シナ合板(GW充填)						掃除用具箱、窓台ベンチ
	2年生教室	フローリング-1	±0	W	60	①③通り:RC-A	CMP	-	直天 RC-A	CMP	2,100	ホワイトボード、収納棚
		下地:モルタル				上記以外:	OSCL				~3,300	コート掛け、流し台、ランドセル棚
		RC直	(-30)			有孔シナ合板(GW充填)						掃除用具箱、窓台ベンチ
	3年生教室	フローリング-1	±0	W	60	①③通り:RC-A	CMP	-	直天 RC-A	CMP	2,100	ホワイトボード、収納棚
		下地:モルタル				上記以外:	OSCL				~3,300	コート掛け、流し台、ランドセル棚
		RC直	(-30)			有孔シナ合板(GW充填)						掃除用具箱、窓台ベンチ
	4年生教室	フローリング-1	±0	W	60	①③通り:RC-A	CMP	-	直天 RC-A	CMP	2,100	ホワイトボード、収納棚
		下地:モルタル				上記以外:	OSCL				~3,300	コート掛け、流し台、ランドセル棚
		RC直	(-30)			有孔シナ合板(GW充填)						掃除用具箱、窓台ベンチ
	多目的教室1	フローリング-1	±0	W	60	①③通り:RC-A	CMP	-	直天 RC-A	CMP	2,100	ホワイトボード、収納棚
		下地:モルタル				上記以外:	OSCL				~3,300	コート掛け、流し台、ランドセル棚
		RC直	(-30)			有孔シナ合板(GW充填)						掃除用具箱、窓台ベンチ
	多目的教室1	VS-1	±0	V	60	GB-R	EP	-	直天 RC-A	CMP	2,100	シャワーユニット
	(脱衣コーナー)	下地:モルタル									~3,300	
		RC直	(-30)									
	外装機置場1、2	FLP-2	-30	-	-	RC-Bの上 GWB-1	-	-	直天 RC-C	-	-	機械基礎
		RC直	(-30)									ガラリチャンバー
	階段2	VS-1	±0	RC目地	60	RC-A	CMP	-	木毛セメント板	EP	5,600	手摺
		RC金ごて	(-10)									
	階段3	VS-1	±0	RC目地	60	RC-A	CMP	-	木毛セメント板	EP	5,600	手摺
		RC金ごて	(-10)									
	消火ポンプ室	FLP-2	±0	RC目地	60	RC-C	-	-	直天 RC-C	-	-	機械基礎 [不]
		RC直	(-10)									
	WWC1	VS-2	±	V	60	手洗周り3面:	EP	V	GB-R	EP	2,500	手洗カウンター、ライニング
		RC金ごて	(-10)			FK(下地 GB-R)						トイレブース、ペーパーキープ
						GB-S	EP					
	WWC1	VS-2	±0	V	60	手洗周り3面:	EP	V	GB-R	EP	2,500	手洗カウンター、ライニング
		RC金ごて	(-10)			FK(下地 GB-R)						トイレブース、ペーパーキープ
						GB-S	EP					
	UWC1	VS-2	±0	V	60	GB-S	EP	V	GB-R	EP	2,500	手洗器、手摺、ライニング
		RC金ごて	(-10)									オストメイト、ペーパーキープ
	WWC2	VS-2	±0	V	60	手洗周り3面:	EP	V	GB-R	EP	2,100	手洗カウンター、ライニング
		RC金ごて	(-10)			FK(下地 GB-R)						トイレブース、ペーパーキープ
						GB-S	EP					
	WWC2	VS-2	±0	V	60	手洗周り3面:	EP	V	GB-R	EP	2,100	手洗カウンター、ライニング
		RC金ごて	(-10)			FK(下地 GB-R)						トイレブース、ペーパーキープ
						GB-S	EP					
	UWC2	VS-2	±0	V	60	GB-S	EP	V	GB-R	EP	2,100	手洗器、手摺、ライニング
		RC金ごて	(-10)									オストメイト、ペーパーキープ
	廊下1	T-1	±0	RC目地	60	増築側:RC-A	CMP	-	木毛セメント板	EP	2,980	
			(-30)			既存側:既存RC-C	吹付タイル		(吹き抜け部)		6,600	
	廊下5	VS-1	±0	W	60	RC-A	CMP	V	DR	EP	2,500	
		RC金ごて	(-10)									
	廊下6	フローリング-1	±0	RC目地	60	RC-A	CMP	V	直天RC-A	CMP	2,100	ベンチ、掲示板
		下地:モルタル									~2,975	
		RC直	(-30)									
	用務員室	VS-1	±0	V	60	GB-R	EP	V	GB-D	-	2,500	流し台
		RC金ごて	(-10)			RC-A	CMP					
	屋外倉庫	FLP-2	±0	RC目地	60	FK(下地 GB-R)、RC-C	-	-	直天 RC-A	-	-	
		RC金ごて	(-10)									
	機械室1	FLP-2	-10	RC目地	60	GWB-1(下地 GB-R)	-	-	直天 RC-C	-	-	機械基礎
		RC金ごて	(-10)			RC-C			GWB-1			煙突-1
	DS	FLP-2	-10	-	-	RC-C	-	-	直天 RC-C	-	-	
		RC直	(-10)			GB-R	-					
	PS	FLP-2	-10	-	-	RC-C	-	-	直天 RC-C	-	-	
		RC直	(-10)			GB-R	-					
	EVシャフト	FLP-2	-1250	-	-	RC-C	-	-	直天 RC-C	-	-	
		RC直	(-1250)									
	ピット共通	捨てコンクリート、土間コンクリート	ピット図による	-	-	一般部 RC-C, XPS t50	-	-	XPS板 t35	-	-	タラップ、釜場
						外壁 XPS t150	-	-				
	ピット(クールヒートトレンチ)	K防水	ピット図による	-	-	XPS t50	-	-	XPS板 t50	-	-	
		土間コンクリート RC-C				K防水						
						RC-C						
	消火水槽	P防水-1	ピット図による	-	-	P防水-1	-	-	XPS板 t35	-	-	タラップ、釜場
	雑用水槽	RC直				RC-B						
	汚水槽	P防水-2	ピット図による	-	-	P防水-2	-	-	P防水-2	-	-	メンテ用階段
		RC直				RC-B						タラップ、釜場
増築2階	増築 教育支援センター	TC-1、VS-2	±0	V	60	シナ合板(下地 GB-R)	OSCL	V	木毛セメント板	EP	2,700	流し台、本棚、窓台
	2階		(-30)						DR	EP		
	パントリー	VS-1	±0	V	60	FK(下地 GB-R)	EP	V	GB-R	EP	2,700	流し台、吊戸棚
			(-10)									

設工	. .	. .	
検工	. .	. .	
監理		. .	
施工		. .	

勝矢 武之 一級建築士
岩村 友惠 一級建築士
頭井 秀和 一級建築士
小林 哲也
宮口 芳郎 一級建築士

日建設計

2024.08.30 検図者:竹内 錦

(仮称)人生100年の学びの拠点
中頃別学園整備工事

改修後 仕上表(2)

意 (通し番号 12)
3 − 4

No. J − 221730 − C

'17.01.01発行 仕様書委員会 作成

780×570

内装仕上表

位置	室名	床	基準FLからのレベル (()は躯体天端値)	幅木	(Hmm)	壁	(塗装)	見切縁	天井	(塗装)	天井高(mm)	備考
増築 2階	教育委員会更衣室1	VS-1	±0 (-10)	V	60	GB-R RC-A	EP CWP	V	GB-D	-	2,700	天井付カーテンレール
	教育委員会更衣室2	VS-1	±0 (-10)	V	60	GB-R	EP	V	GB-D	-	2,700	天井付カーテンレール
	教育委員会事務室	VS-1	±0 (-10)	V	60	GB-R RC-A	EP CWP	V	DR	-	2,700	窓台
	教育長理事長室	TC-2	±0 (-30)	W	60	シナ合板(下地 GB-R)	OSCL	V	DR	-	2,700	窓台
	書庫	VS-1	±0 (-10)	V	60	GB-R	EP	V	GB-D	-	2,700	
	相談室2	TC-1	±0 (-10)	V	60	シナ合板(下地 GB-R)	OSCL	V	DR	-	2,700	窓台
	8年生教室	フローリング-1 下地:モルタル RC直	±0 (-30)	W	60	シナ合板(下地 GB-R)	OSCL	V	DR	-	2,700	ライニング棚、コート掛け ホワイトボード、窓台
	多目的室2	フローリング-1 下地:モルタル RC直	±0 (-30)	W	60	シナ合板(下地 GB-R)	OSCL	V	DR	-	2,700	ライニング棚、コート掛け ホワイトボード、窓台 掃除用具箱
	9年生教室	フローリング-1 下地:モルタル RC直	±0 (-30)	W	60	シナ合板(下地 GB-R)	OSCL	V	DR	-	2,700	ライニング棚、コート掛け ホワイトボード、窓台
	オープンスペース7	FLP-1 RC金ごて	±0 (-10)	RC目地	60	RC-A	CWP	-	木毛セメント板	EP	2,700	ベンチ
	図書ラウンジ2	FLP-1 RC金ごて	±0 (-10)	RC目地 V	60	RC-A GB-R	CWP EP	-	直天 RC-A	CWP	2,700	本棚、手摺 製 点字棚、ベンチ 木格子ガラリ
	多目的室1	FLP-1 RC金ごて	±0 (-10)	RC目地	60	RC-A	CWP	V	RC-A DR	CWP EP	2,700	カーテンレール 製 スクリーンボックス
	外調機置場3	FLP-2 RC直	-10 (-10)	-	60	GWB-I(下地 GB-R) GWB-I(下地 RC-B)	- -	-	直天 RC-C、GWB-I	-	-	ガラリチャンバー 不 機械基礎
	厨房機械室	FLP-2 RC直	-10 (-10)	-	60	GWB-I(下地 GB-R) GWB-I(下地 RC-B)	-	-	直天 RC-C、GWB-I	-	-	ガラリチャンバー 不 機械基礎 天井面吹付HFO面に不燃コート
	多目的室2	VS-1 RC金ごて	±0 (-10)	RC目地	60	RC-A	CWP	V	DR	EP	2,700	扉付収納棚
	発電機室	FLP-2 RC直	-10 (-10)	-	60	GWB-I(下地 RC-C)	-	-	直天 RC-C、GWB-I	-	-	機械基礎 不 防油堤
	電気室	FLP-2 RC直	-10 (-10)	-	60	GWB-I(下地 RC-C)	-	-	直天 RC-C、GWB-I	-	-	機械基礎 不 天井面吹付HFO面に不燃コート
	機械室2	FLP-2 RC直	-10 (-10)	-	60	GWB-I(下地 RC-C)	-	-	直天 RC-C、GWB-I	-	-	機械基礎 不 天井面吹付HFO面に不燃コート
	階段1	T-1 下地:モルタル RC直	±0 (-30)	W RC目地	60 60	RC-A	CWP	-	直天 RC-A	CWP	2,700	手摺、壁面本棚 点字鋲
	階段2	VS-1 RC金ごて	±0 (-10)	RC目地	60	RC-A	CWP	-	木毛セメント板	EP	2,700	手摺、点字鋲
	階段3	VS-1 RC金ごて	±0 (-10)	RC目地	60	RC-A	CWP	-	木毛セメント板	EP	2,700	手摺、点字鋲
	WWC4	VS-2 RC金ごて	±0 (-10)	V	60	手洗い:FK(下地 GB-R) GB-S	EP EP	V	GB-R	EP	2,500	手洗カウンター、ライニング トイレブース、ベビーキープ
	WWC4	VS-2 RC金ごて	±0 (-10)	V	60	手洗い:FK(下地 GB-R) GB-S	EP EP	V	GB-R	EP	2,500	手洗カウンター、ライニング トイレブース、ベビーキープ
	UWC4	VS-2 RC金ごて	±0 (-10)	V	60	手洗い:FK(下地 GB-R) GB-S	EP EP	V	GB-R	EP	2,500	手洗器、手棚、ライニング オストメイト、ベビーキープ
	廊下7	FLP-1 RC金ごて	±0 (-10)	RC目地	60	RC-A	CWP	V	構造用合板の上GB-F	EP	4,790	図書室1上部ブリッジ 手摺
	廊下8	FLP-1 RC金ごて	±0 (-10)	RC目地 V	60	RC-A GB-R	CWP EP	-	直天 RC-A 木毛セメント板	CWP EP	2,700	
	廊下9	FLP-1 RC金ごて	±0 (-10)	-	-	-	-	V	構造用合板の上GB-F	EP	4,790	図書室1上部ブリッジ 手摺
	廊下10	FLP-1 RC金ごて	±0 (-10)	RC目地	60	RC-A	CWP	-	木毛セメント板	EP	2,700	手摺
	廊下11	FLP-1 RC金ごて	±0 (-10)	RC目地	60	RC-A	CWP	-	木毛セメント板	EP	2,700	ゴミステーション 掃除用具箱、流し台 手摺
	EPS、PS、共通	FLP-2 RC直	-30 (-30)	-		RC-C 又は GB-R	- -	-	直天	-	-	EPS扉下立上り H=100

内装仕上表

位置	室名	床	基準FLからのレベル (()は躯体天端値)	幅木	(Hmm)	壁	(塗装)	見切縁	天井	(塗装)	天井高(mm)	備考
既存 1階	図書室3	VS-1(下地:既存モルタル) 一部床暖(下地:モルタル) 既存床暖保護コンクリート t70 既存断熱材 t20	±0 (-30)	V(GB-R部)	60	既存RC-C	-	-	GB-R t9.5繰貼、DR	EP	2,500	什器
	図書室3 (X4より+500の範囲)	VS-1(下地:既存モルタル)	±0 (-30)	-		既存RC-C	-	V	GB-R t9.5繰貼、DR	EP	2,500	
	(読み聞かせコーナー)	TC-1(下地:木床組H300) VS-1(下地:既存モルタル) 一部下地:フリーフロア	+300 ±0 (-80)	-		窓側:GB-R 他:既存RC-C	EP -	V	(円部)GB-R t9.5繰貼、DR 既存RC-C 既存 吹付PUF部	- - 吹付CPS	2,100 (FL+2,400)	什器、小上がり床 本棚
	(畳コーナー1, 2)	畳 板畳:縁甲板 下地:木床組	+300 (-30)	W(畳寄せ)集地		シナ合板(下地 GB-R)	OSCL	W 集地	GB-R t9.5繰貼、シナ合板	OSCL	2,550 (FL+2,850)	畳敷き、床の間、炉 押入れ、縁
	(床の間)	縁甲板 下地:木床組	+390 (-30)	W(畳寄せ)集地		GB-R 塗壁	-	W 集地	GB-R t9.5繰貼、シナ合板	OSCL	2,460 (FL+2,850)	床柱、床框、軸掛け
	(水屋)	縁甲板 下地:木床組	+300 (-30)	W(畳寄せ)集地		GB-R 塗壁 腰廻り:杉板(下地GB-R)	-	W 集地	GB-R t9.5繰貼、シナ合板	OSCL	2,250 (FL+2,850)	流し(竹すのこ敷) 棚板、戸棚、竹釘
	英語コーナー	TC-1 下地:モルタル	±0 (-30)	W OSCL	60	有孔シナ合板、GW充填	OSCL	V	GB-R t9.5繰貼、DR	EP	3,100	什器、掲示板 製 移動間仕切壁
	図書室4	VS-1(下地:既存モルタル)	±0 (-30)	W OSCL	60	シナ合板(下地 GB-R) 既存RC-C	OSCL -	W OSCL	既存RC-C 既存 吹付PUF部	- 吹付CPS	直天	本棚 天井付カーテンレール
	靴置場	フローリング-1 下地:モルタル 下地:一部フリーフロア H=135	±0 (-30) (-150)	V	60	既存RC-C GB-R	- EP	V	GB-R	EP	2,980	靴箱
	学童コーナー	TC-1 下地:フリーフロア H=320	300 (-30)	W OSCL	60	シナ合板(下地 GB-R) 既存RC-C	OSCL -	W OSCL	既存RC-C 既存 吹付PUF部	- 吹付CPS	-	棚、靴箱
	学童事務室	VS-1 下地:フリーフロア H=320	300 (-30)	V	60	GB-R	EP	V	GB-D	-	2,500	天井付カーテンレール カーテン
	授乳室	VS-1(下地:既存モルタル)	±0 (-30)	V	60	GB-R	EP	V	GB-D、t12.5	-	2,500	流し台、吊戸棚 不 天井付カーテンレール カーテン
	事務室1	VS-1(下地:既存モルタル)	±0 (-30)	V	60	GB-R	EP	V	GB-D	-	2,500	
	事務室2	VS-1(下地:既存モルタル)	±0 (-30)	V	60	GB-R	EP	V	GB-D	-	2,500	
	教材室1	VS-1 下地:モルタル t=13	±0 (-30)	V	60	GB-R	EP	V	GB-D	-	2,500	
	オープンスペース1,2	フローリング-1 下地:モルタル t=15	±0 (-30)	W OSCL	60	シナ合板(下地 GB-R)	OSCL	W OSCL	既存RC-C 既存 吹付PUF部	- 吹付CPS	-	掲示板 ベンチ、棚、掲示板
	トレーニングルーム	VS-1 下地:フリーフロア	±0 (-150)	W OSCL 吹付タイル	60 60	シナ合板(下地 GB-R) 既存外壁:RC-C	OSCL 吹付タイル	W OSCL	既存RC-C 既存 吹付PUF部	- 吹付CPS	-	
	ホール更衣室1	VS-1 下地:フリーフロア	±0 (-150)	V 吹付タイル	60 60	GB-R 既存外壁:RC-C	EP 吹付タイル	V	GB-D	-	2,500	姿見、天井付カーテンレール
	ホール更衣室2	VS-1 下地:モルタル t=28	±0 (-30)	V(GB-R部)	60	GB-R 既存RC-C	EP EP	V	GB-D	-	2,500	姿見、天井付カーテンレール
	管員室1	VT-1 下地:モルタル t=28	±0 (-30)	V(GB-R部)	60	GB-R 既存RC-C	EP EP	W OSCL	既存RC-C 既存 吹付PUF部	- -	-	
	学校職員室	VS-1 下地:モルタル t=28	±0 (-30)	V	60 60	GB-R	EP	W OSCL	既存RC-C 既存 吹付PUF部	- 吹付CPS	-	相談カウンター 製 棚、天吊TV下地、壁付TV下地
	(事務席・教頭席)	VS-1 下地:モルタル t=28 一部床暖(下地:モルタル)	±0 (-30) (-100)	V(GB-R部) W OSCL	60 60	GB-R	EP	W OSCL	既存RC-C 既存 吹付PUF部	- 吹付CPS	直天	製
	(休憩コーナー)	VS-1(下地:既存モルタル)	±0 (-30)	V(GB-R部) W OSCL	60 60	GB-R	EP	V	直天 既存RC-C 既存 吹付PUF部	- 吹付CPS	直天	流し台、吊戸棚 製
	会議室	VS-1 下地:既存モルタル	±0 (-30)	V(GB-R部) W OSCL	60 60	GB-R シナ合板(下地 GB-R) 既存RC-C	EP OSCL -	V	GB-R t9.5繰貼、DR	-	2,500	棚
	校長室	TC-2 下地:モルタル t=8	±0 (-30)	W OSCL	60	シナ合板(下地 GB-R)	OSCL	V	GB-R t9.5繰貼、DR	-	2,500	収納棚
	職員用更衣室1	VS-1 下地:既存モルタル	±0 (-30)	V	60	GB-R	EP	V	GB-D	-	2,500	姿見、天井カーテンレール
	職員用更衣室2	VS-1(下地:既存モルタル)	±0 (-30)	V	60	GB-R	EP	V	GB-D	-	2,500	姿見、天井カーテンレール
	印刷室	VS-1 下地:既存モルタル	±0 (-30)	V	60	GB-R	EP	V	GB-D	-	2,500	吊棚
	ゴミ庫	VS-4	-30 (-30)	VS-4立上	300	化粧FK(下地 GB-R)	-	-	既存RC-C 既存 吹付PUF部	- 吹付CPS	直天	SKライニング
	ゴミ庫前室	VS-4	-30 (-30)	VS-4立上	300	化粧FK(下地 GB-R)	-	-	既存RC-C	-	直天	入口スロープ
	オイルポンプ室	FLP-2	-30 (-30)	FLP-2 (RC立上)	300	化粧FK(下地 GB-R)	-	-	既存RC-C 既存 吹付PUF部	- 吹付CPS	直天	防油堤、基礎 不

棟工	. .	. .	
検工	. .	. .	
監理		. .	
施工		. .	

勝矢 武之 一級建築士
岩村 友惠 一級建築士
頭井 秀和 一級建築士
小林 哲也
宮口 芳郎 一級建築士

日建設計

2024.08.30 検図者:竹内 鉾

(仮称)人生100年の学びの拠点
中頃別学園整備工事

改修後 仕上表(3)

意 (通し番号 13)
3 − 5

No. J − 221730 − C

17.01.01発行 仕様書委員会 作成

780×570

内装仕上表

位置	室名	床	基準FLからのレベル(※は躯体天端)	幅木	(Hmm)	壁	(塗装)	見切縁	天井	(塗装)	天井高(mm)	備考
既存1階	相談室1	VS-1(下地:既存モルタル)	±0 (-30)	W OSCL	60	シナ合板(下地 GB-R)	OSCL	V	GB-R t9.5捨貼、DR	-	2,500	
	保健室	VS-3(下地:既存モルタル)	±0 (-30)	W OSCL	60	シナ合板(下地 GB-R)	OSCL	V	GB-R t9.5捨貼、DR	-	2,500	流し台、吊戸棚 天井付カーテンレール カーテン
	階段4	踏面:VS-1 下地:RC直 蹴上:スチール SOP		W OSCL	60	シナ合板(下地 GB-R)	OSCL	W OSCL	既存RC-C	-	直天	手摺、ステンレスノンスリップ 点字タイル、点字シート(手摺)
	階段5	VS-1(下地:既存モルタル) 蹴上・踏面:VS-1(下地:既存モルタル)	±0 (-30)	V	60	GB-R	EP	V	GB-R t9.5捨貼、DR	EP	2,500	手摺[既存再利用] ステンレスノンスリップ 点字タイル、点字シート(手摺)
	WWC3	VS-2 下地:フリーフロア	±0 (-80)	V	60	FK(下地 GB-R)	EP	V	GB-R	EP	2,500	トイレブース 洗面カウンター、ライニング鏡
	WWC3	VS-2 下地:フリーフロア	±0 (-80)	V	60	FK(下地 GB-R) 既存RC-C	EP	V	GB-R	EP	2,500	トイレブース、鏡 洗面カウンター、ライニング
	UWC3	VS-2(下地:既存モルタル)	±0 (-80)	V	60	FK(下地 GB-R)	EP	V	GB-D	-	2,500	手摺、ライニング、鏡
	廊下2	VS-1 下地:モルタル t=28 (Y3~Y2通廊)既存保護コン残置	±0 (-30)	W OSCL	60	GB-R (柱型)既存RC-C	EP -	V	GB-R t9.5捨貼、DR	EP	2,500	什器 [準]
		(Y3~Y3+3700間):VS-1 下地モルタルt28										
	廊下3	VS-1 下地:既存モルタル	±0 (-30)	W OSCL	60	GB-R	EP	V	GB-R t9.5捨貼、DR	EP	2,500	[準]
	廊下4	VS-1(下地:既存モルタル)	±0 (-30)	W OSCL	60	シナ合板(下地 GB-R)	OSCL	V	GB-R t9.5捨貼、DR	-	2,500	
	廊下13	VS-1(下地:既存モルタル) 既存床暖保護コンクリート t70 既存断熱材 t20	±0 -30	W OSCL	60	既存RC-C GB-R	- EP	V	GB-R t9.5捨貼、DR	-	2,500	展示棚
	廊下14	VS-1(下地:既存モルタル)	±0 -30	W OSCL	60	既存RC-C	-	V	既存RC-C 既存PUF部	- -	直天 吹付CPS	本棚
	EPS、PS、共通	FLP-2 下地:既存モルタル	-30 (-30)	-		RC-C GB-R	- -	-	直天	-	-	
既存体育館1階	体育館風除室	タイル2[既存のまま] VS-1(下地:既存モルタル)	-100 ±0 (-30)	既存のまま	100	既存のまま	EP	V	GB-D	-	2,500/2,600	
	体育館廊下	VS-1(下地:既存モルタル)	±0 (-30)	既存のまま	100	既存部塗替え 腰壁:既存部塗替え	EP	V	GB-D	-	2,500	
	給食事務室 (旧ミーティングルーム)	VS-1(下地:既存モルタル)	±0 (-30)	既存のまま VC(GB-R部)	100 100	既存部塗替え GB-R	EP EP	V	GB-D	-	2,500	
	牛乳受取室 (旧ミーティングルーム)	VS-1(下地:既存モルタル)	±0 (-30)	V	100	既存部塗替え GB-R	EP EP	V	GB-D	-	2,500	牛乳受台[新設]
	一時ゴミ保管庫 (旧女子更衣室)	VS-3(下地:既存モルタル)	±0 (-30)	既存のまま VC(GB-R部)	100 100	既存部塗替え GB-R	EP EP	V	GB-D	-	2,500	ステンレス流し L=900[新設]
	備品庫 (旧女子更衣室)	VS-1(下地:既存モルタル)	±0 (-30)	既存のまま VC(GB-R部)	100 100	既存部塗替え GB-R	EP EP	V	GB-D	-	2,500	
	給食員休憩更衣室 (旧男子更衣室)	VS-1(下地:既存モルタル)	±0 (-30)	既存のまま VC(GB-R部)	100 100	既存部塗替え GB-R	EP	V	GB-D	-	2,500	
	厨房トイレ (旧男子更衣室)	VS-2(下地:既存モルタル)	±0 (-30)	既存のまま VC(GB-R部)	100 100	既存の上、FK FK(下地 GB-R)	EP EP	V	GB-D	-	2,500	手洗カウンター
	体育館器具庫	既存のまま	±0 (-30)	既存のまま	-	既存のまま	-		GB-D	-	2,500	
	体育館WWC	VS-2 下地:モルタル t=28	±0 (-30)	既存のまま	100	100角半磁器質タイル [既存のまま] ライニング:GB-S	- EP	V	GB-D	-	2,500	トイレブース[新設] ライニング正面壁撤去新設
	体育館WWC	VS-2 下地:モルタル t=28	±0 (-30)	既存のまま	100	100角半磁器質タイル [既存のまま]	-	V	GB-D	-	2,500	トイレブース[新設] ライニング正面壁撤去新設
既存2階	図書室5	VS-1、TC-1 (下地:既存モルタル) 一部既設床暖(下地:モルタル)	±0 (-30) (-100)	W OSCL	60	シナ合板(下地 GB-R)	OSCL	V	ハイサイドライト部: GB-R t9.5捨貼、DR S塗現し 一般部:木毛セメント板	- EP SOP EP	7,650 2,700	カウンター、手摺 本棚、ベンチ 展示台
	(旧テラス部)	VS-1、TC-1 下地:フリーフロア	 (-100~-50)									
	廊下12	VS-1、TC-1 (下地:既存モルタル) 一部既設床暖(下地:モルタル)	±0 (-30) (-100)	W OSCL	60	シナ合板(下地 GB-R)	OSCL	V	ハイサイドライト部: GB-R t9.5捨貼、DR S塗現し 一般部:木毛セメント板	- EP SOP EP	7,650 2,700	カウンター 収納棚

位置	室名	床	基準FLからのレベル(※は躯体天端)	幅木	(Hmm)	壁	(塗装)	見切縁	天井	(塗装)	天井高(mm)	備考
既存2階	集中授業室 (なかとん学習塾)	VS-1 下地:モルタル t=13	±0 (-30)	W OSCL	60	町産木材張り (下地 GB-R)	OSCL	W OSCL	既存 吹付PUF部	吹付CPS	直天	ホワイトボード
	少人数学習コーナー1	VS-1 下地:モルタル t=13	±0 (-30)	W OSCL	60	シナ合板(下地 GB-R)	OSCL	V	木毛セメント板 (窓側折上げ)	EP	2,700	手摺
	理科室	VS-3 下地:モルタル t=13	±0 (-30)	V	60	FK(下地 GB-R)	EP	W OSCL	既存 吹付PUF部	吹付CPS	直天	ガラス戸付展示棚 実験テーブル
	理科準備室	VS-3 下地:モルタル t=13	±0 (-30)	V	60	FK(下地 GB-R)	EP	W OSCL	既存 吹付PUF部	吹付CPS	直天	作業テーブル
	薬品保管庫	VS-3 下地:モルタル t=13	±0 (-30)	V	60	FK(下地 GB-R)	EP	W OSCL	既存 吹付PUF部	吹付CPS	直天	
	少人数学習コーナー2	VS-1 下地:モルタル t=13	±0 (-30)	W OSCL	60	シナ合板(下地 GB-R)	OSCL	V	木毛セメント板 (窓側折上げ)	EP	2,700	手摺
	教材室2	VS-1 下地:モルタル t=13	±0 (-30)	V	60	GB-R	EP	V	GB-D	-	2,700	
	更衣室1	VS-1 下地:モルタル t=13	±0 (-30)	V	60	GB-R	EP	V	GB-D	-	2,700	姿見、天付カーテンレール
	更衣室2	VS-1 下地:モルタル t=13	±0 (-30)	V	60	GB-R	EP	V	GB-D	-	2,700	姿見、天付カーテンレール
	オープンスペース4	VS-1 一部既設床暖(下地:モルタル)	±0 (-30) (-100)	W OSCL	60	シナ合板(下地 GB-R)	OSCL	V	GB-R t9.5捨貼、DR	EP	2,500/2,700	流し台、什器、掲示板
	オープンスペース5	VS-1 下地:セルフレベリング t=5 一部既設床暖(下地:モルタル)	±0 (-30) (-100)	W OSCL	60	シナ合板(下地 GB-R)	OSCL	V	木毛セメント板	EP	2,700	ステップベンチ、什器
	オープンスペース6	VS-1 下地:セルフレベリング t=5 一部既設床暖(下地:モルタル)	±0 (-30) (-100)	W OSCL	60	シナ合板(下地 GB-R)	OSCL	V	GB-R t9.5捨貼、DR	EP	2,500/2,700	ステップベンチ、什器、掲示板
	教材室3	VT-1 下地:セルフレベリング t=5	±0 (-30)	V	60	GB-R	EP	V	GB-D	-	2,700	
	防災倉庫	VT-1 下地:セルフレベリング t=5	±0 (-30)	V	60	FK(下地 GB-R)	-	V	GB-D	-	2,700	
	多目的教室3	VS-1(下地:既存モルタル)	±0	W OSCL	60	シナ合板(下地 GB-R)	OSCL	-	GWB-2 梁型:既存PUF部	- 吹付CPS	3,600	流し台、吊戸棚 什器、ホワイトボード
	多目的教室4	VS-1(下地:既存モルタル)	±0 (-30)	W OSCL	60	シナ合板(下地 GB-R)	OSCL	-	GWB-2 梁型:既存PUF部	- 吹付CPS	3,600	流し台、吊戸棚 什器、ホワイトボード
	多目的教室5	VS-1 下地:セルフレベリング t=5	±0 (-30)	W OSCL	60	シナ合板(下地 GB-R)	OSCL	-	GWB-2 梁型:既存PUF部	- 吹付CPS	3,600	流し台、吊戸棚 什器、ホワイトボード
	5年生教室	VS-1 下地:セルフレベリング t=5	±0 (-30)	W OSCL	60	シナ合板(下地 GB-R)	OSCL	-	GWB-2 梁型:既存PUF部	- 吹付CPS	3,600	ホワイトボード、収納棚 コート掛け、ランドセル棚
	6年生教室	VS-1(下地:既存モルタル)	±0 (-30)	W OSCL	60	シナ合板(下地 GB-R)	OSCL	-	GWB-2 梁型:既存PUF部	- 吹付CPS	3,600	ホワイトボード、収納棚 コート掛け、ランドセル棚
	7年生教室	VS-1(下地:既存モルタル)	±0 (-30)	W OSCL	60	シナ合板(下地 GB-R)	OSCL	-	GWB-2 梁型:既存PUF部	- 吹付CPS	3,600	ホワイトボード、収納棚 コート掛け、ランドセル棚
	既存小荷物EV	-		-	-	既存のまま	-	-	既存 吹付PUF部	吹付CPS	直天	EV本体、扉撤去の上 開口をLGSでふさぐ
	屋上メンテナンス階段	VS-1 踏面:チェッカープレート SOP 蹴上:スチール SOP	±0 (-30)	V	60	GB-R 外壁面:既存 吹付HFO	EP 吹付CPS	- -	既存 吹付PUF部	吹付CPS	直天	手摺
	WWC5	VS-2 下地:フリーフロア	±0 (-110)	V	60	FK(下地 GB-R)	EP	V	GB-R	EP	2,500	トイレブース 洗面カウンター、ライニング
	WWC5	VS-2 下地:フリーフロア	±0 (-110)	V	60	FK(下地 GB-R) 既存RC-C	EP	V	GB-R	EP	2,500	トイレブース 洗面カウンター、ライニング
	階段4	VS-1(下地:既存モルタル)	±0 (-30)	W OSCL	60	シナ合板(下地 GB-R)	OSCL	V	木毛セメント板	EP	2,700	手摺 点字タイル、点字シート(手摺)
	階段5	VS-1(下地:既存モルタル)	±0 (-30)	W OSCL V	60 60	GB-R RC手すり壁	EP EP	V	GB-R t9.5捨貼、DR	-	2,500	手摺[既存再利用] ステンレスノンスリップ 点字タイル、点字シート(手摺)
既存塔屋階	塔屋階階段室	FLP-2 RC直	+510 (+510)	FLP-2立上げ	60	既存 HFO	-	-	床下・梁型:既存吹付PUF	-	直天	手摺

監理			
施工			

勝矢 武之 一級建築士
岩村 友惠 一級建築士
頭井 秀和 一級建築士
小林 哲也
宮口 芳郎 一級建築士

日建設計

2024.08.30 検図者：竹内 錦

(仮称)人生100年の学びの拠点
中頃別学園整備工事

改修後 仕上表(4)

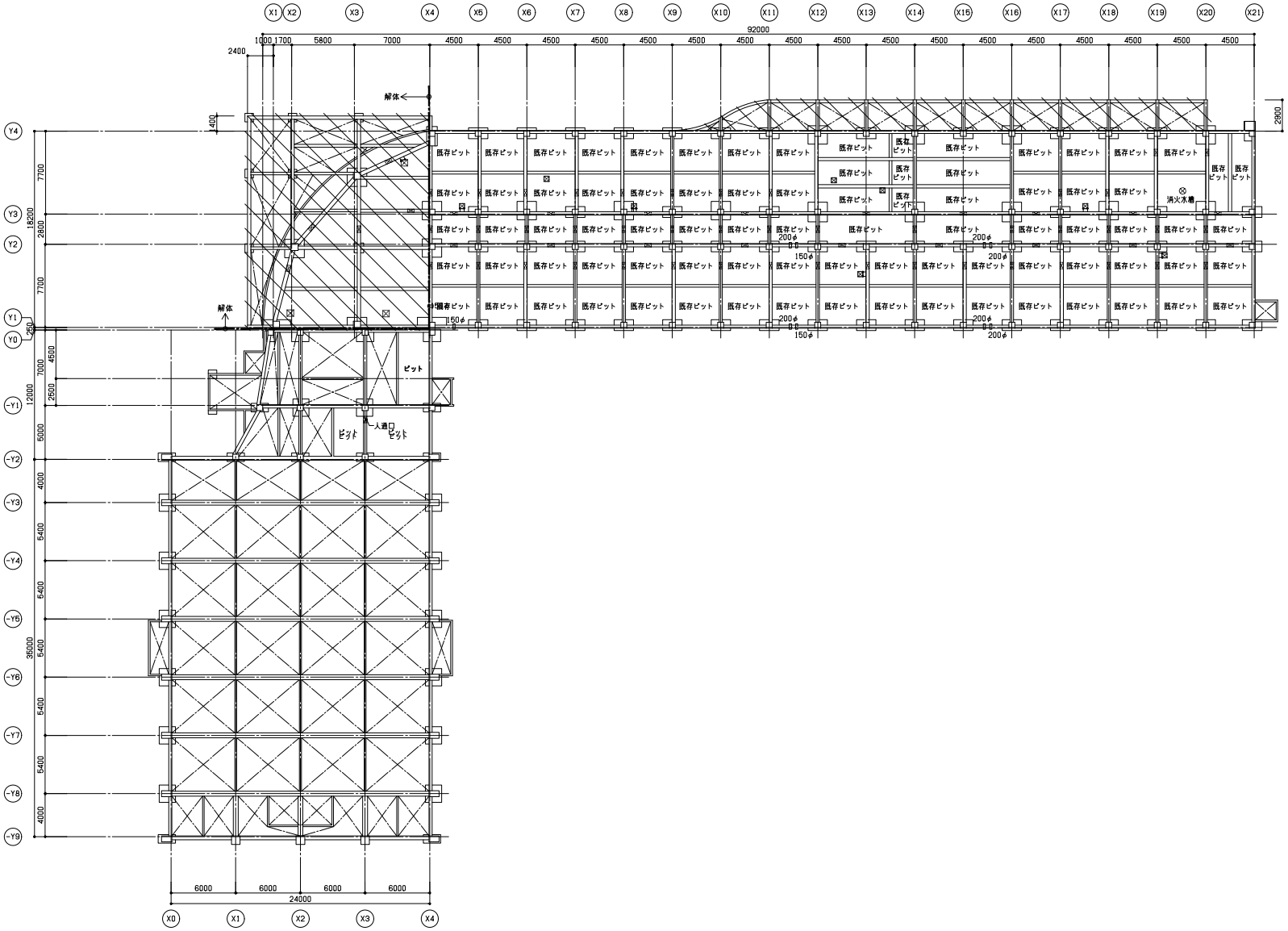
意 (通し番号 14)
3 − 6

No. J − 221730 − C

'17.01.01発行 仕様書委員会 作成

780×570

01	ピット平面図	A1:1/200



担当	. .	. .		凡例	人通口 600φ	床点検口 600×600	
現工	. .	. .			通気管	床点検口 450×450	
監理		. .				マンホール	
施工		. .			タラップ		

特記なき限りスラブ下はピットを示す（切込砂利@100転圧）
は、スラブ下埋戻しを示す
は、解体範囲を示す

勝矢 武之	一級建築士
岩村 友恵	一級建築士
頭井 秀和	一級建築士
小林 哲也	
寳口 芳郎	一級建築士

日建設計

2024.08.30　検図者：竹内 勝

（仮称）人生100年の学びの拠点
中頃別学園整備工事

改修前 ピット平面図　A1:1/200

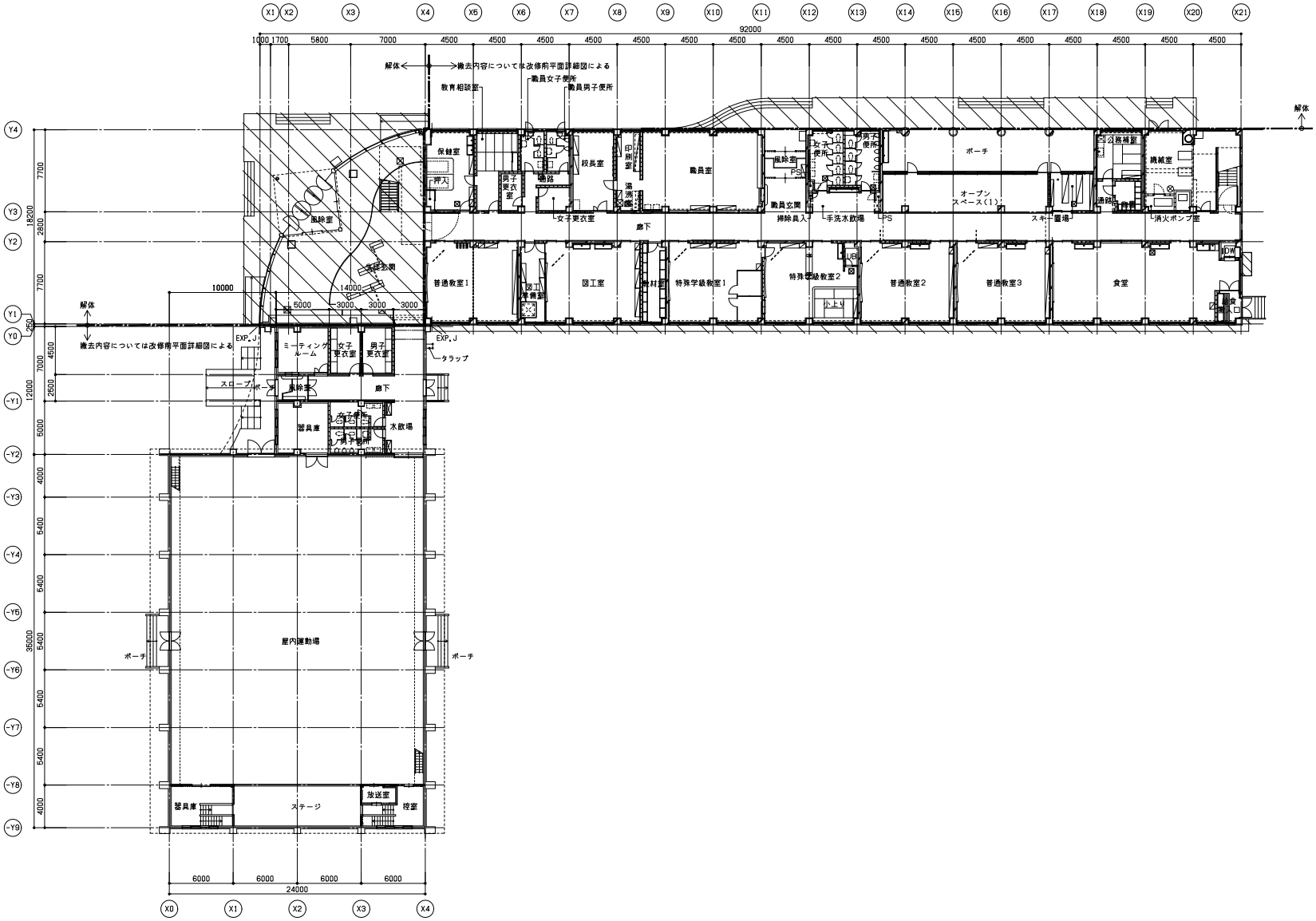
（通し番号 15）
4 － 1

No. J－221730－C

4-1~3_改修前 平面図● 11208 24.09.13 [A1 1:1]

780×670

01	1階平面図	A1:1/200



施工	. .	. .	
現工	. .	. .	
監理		. .	
施工		. .	

勝矢　武之　一級建築士
岩村　友恵　一級建築士
頭井　秀和　一級建築士
小林　哲也
賀口　芳郎　一級建築士

日建設計

2024.08.30　検図者：竹内　勝

（仮称）人生100年の学びの拠点
中頃別学園整備工事

改修前　1階平面図　A1:1/200

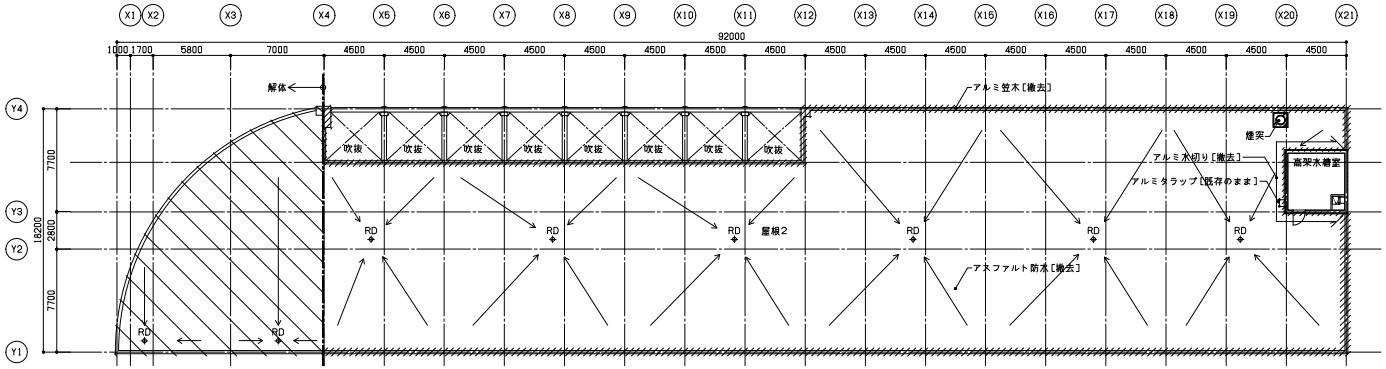
（通し番号 16）
4 － 2

No. J－221730－C

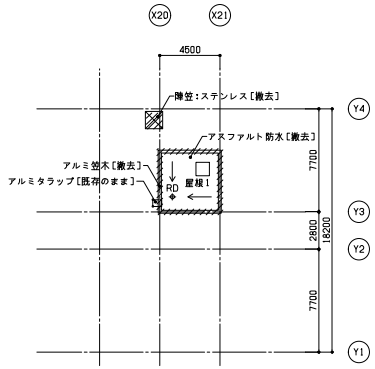
780×670

4-1~3_改修前　平面図●　11208 24.09.13 [A1 1:1]

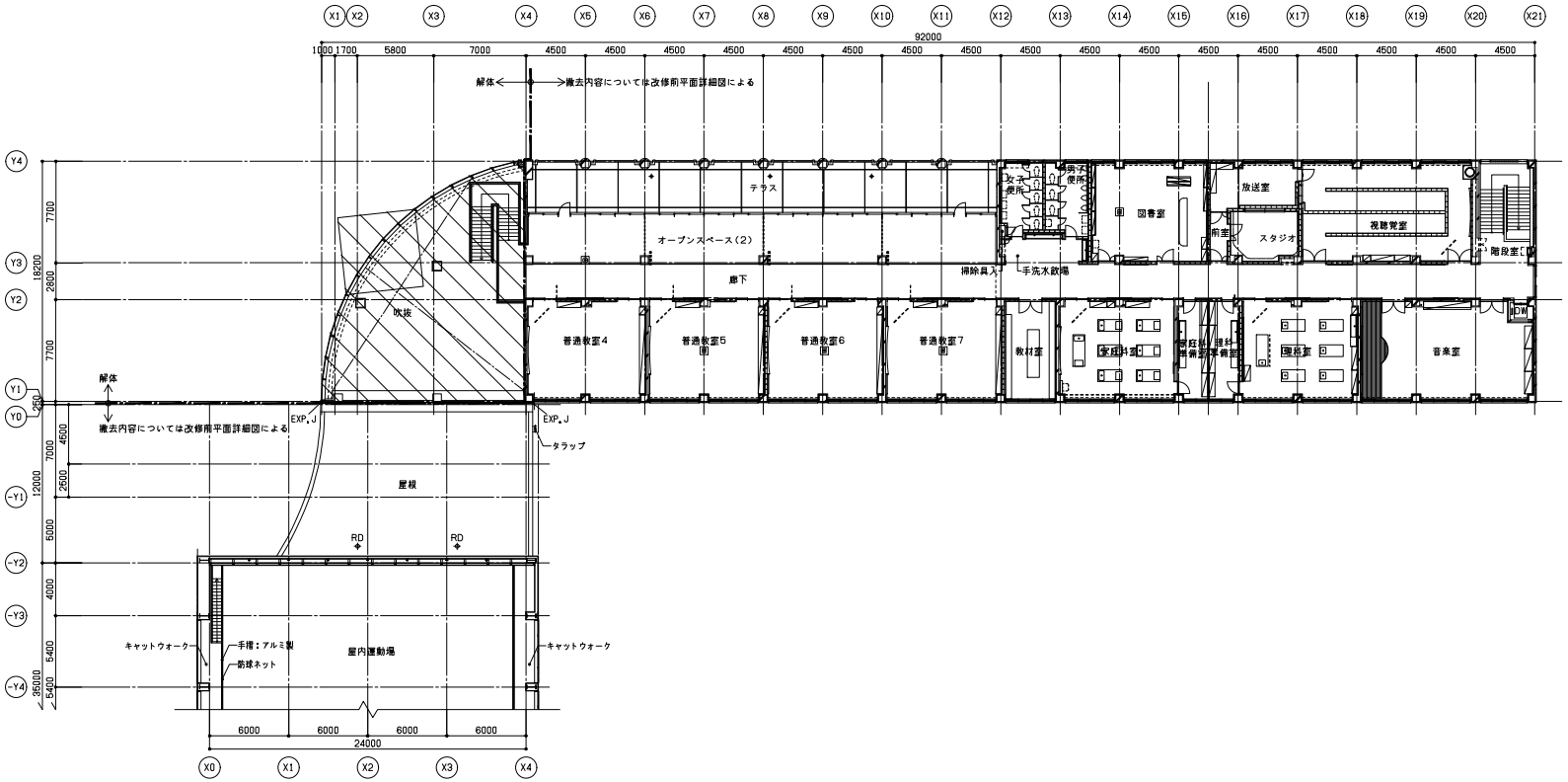
02 塔屋階平面図 A1:1/200



03 塔屋平面図（改修） A1:1/200



01 2階平面図 A1:1/200



構工	. .	. .	
電工	. .	. .	
監理		. .	
施工		. .	

勝矢 武之 一級建築士
岩村 友惠 一級建築士
頭井 秀和 一級建築士
小林 哲也
賀口 芳郎 一級建築士

日建設計

2024.08.30 検図者：竹内 勝

（仮称）人生100年の学びの拠点
中頃別学園整備工事

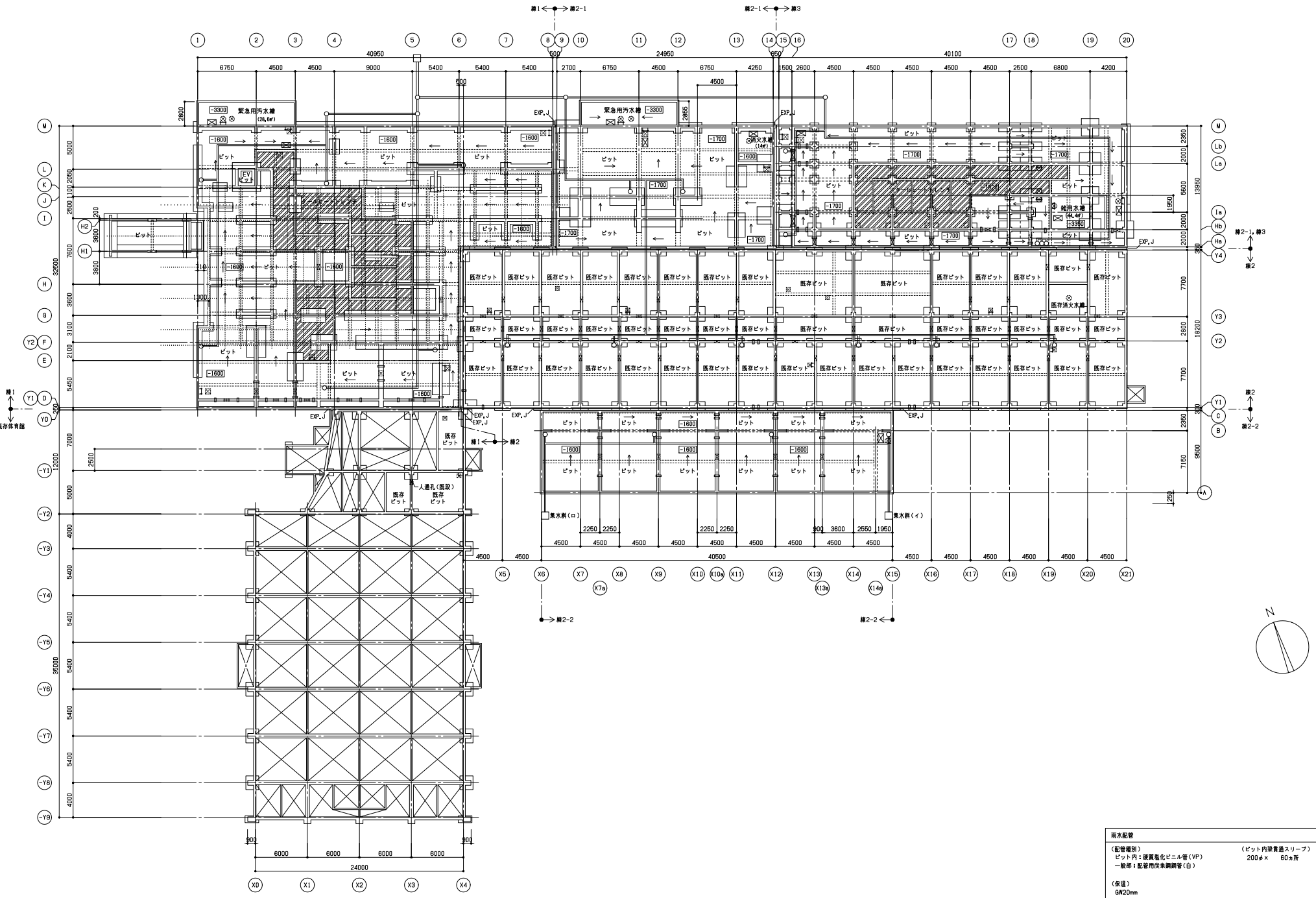
（通し番号 17）
4 － 3

改修前 2階・塔屋階平面図 A1:1/200

No. J－221730－C

4-1~3_改修前 平面図● 11208 24.09.13 [A1 1:1]

01	ピット平面図	A1:1/200



雨水配管

（配管種別）
ピット内：硬質塩化ビニル管（VP）
一般部：配管用炭素鋼鋼管（白）

（ピット内梁貫通スリーブ）
200φ× 60ヵ所

（保温）
GW20mm
ピット内VPは保温なしとする。

電工			
機工			
監理			
施工			

凡例

	人通口 600φ		床点検口		クールヒートトレンチ兼用ピット
	上部通気管 100φ		マンホール		横引管
	下部連通管 150φ半割		埋戻し（B種）		
	タラップ		水勾配（特記なき限り1/100）		
			釜場1000×600×H600		

特記事項

特記なき限り下記による
仕上レベル

勝矢 武之	一級建築士	
岩村 友恵	一級建築士	
頭井 秀和	一級建築士	
小林 哲也		
實口 芳郎	一級建築士	

日建設計

2024.08.30　検図者：竹内 勝

（仮称）人生100年の学びの拠点
中頃別学園整備工事

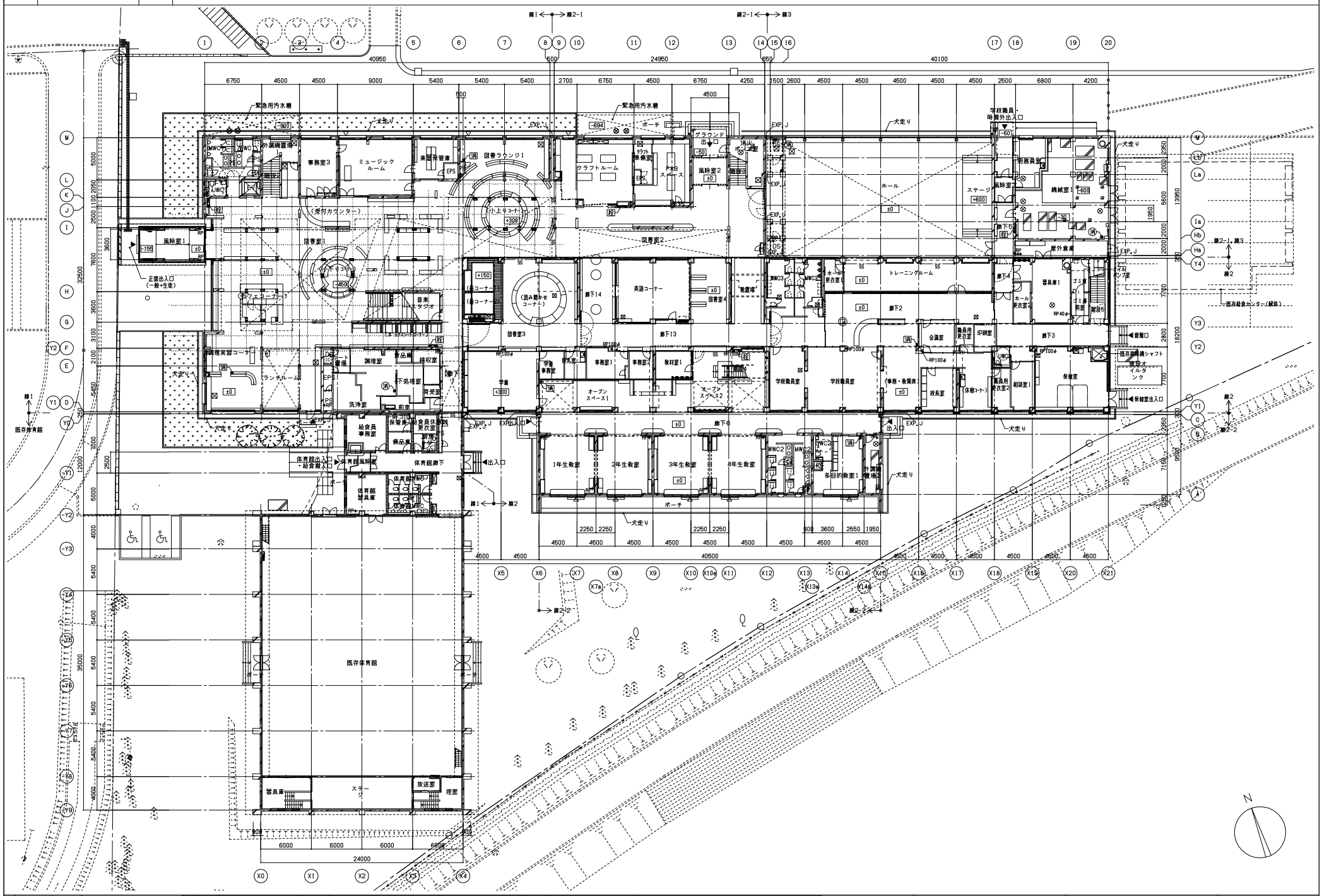
改修後　ピット平面図　A1:1/200

（通し番号 18）
4 － 4

No. J－221730－C

780×670

01 1階平面図 A1:1/200



監理			
施工			

凡例

	RC壁		雨水桝		タラップ		縦引管(特記なき限り竪樋縦引管は見下げ)
	軽量鉄骨間仕切壁		床点検口		丸環		水勾配(特記なき限り1/75以上)
	機械基礎		マンホール	RD	ルーフドレン(特記なき限り150φ)		屋内消火栓+消火器
			マンホール+化粧蓋	RD	バルコニードレン(特記なき限り100φ)		消火器(スタンド型)
			避難ハッチ	RP	竪樋 (特記なき限り150φ)		消火器(埋込みボックス型)

特記事項
・特記なき限り下記による
　―― 線種のRFLから仕上までのレベル
・RDルーフドレン各所に挿入型凍結防止ヒーター(30w/m×5m、自己温度制御型、通電ランプ付)を設置する

勝矢 武之	一級建築士
岩村 友恵	一級建築士
瑞井 秀知	一級建築士
小林 哲也	
實口 芳郎	一級建築士

日建設計

2024.08.30 検図者:竹内 鈴

(仮称)人生100年の学びの拠点
中頓別学園整備工事

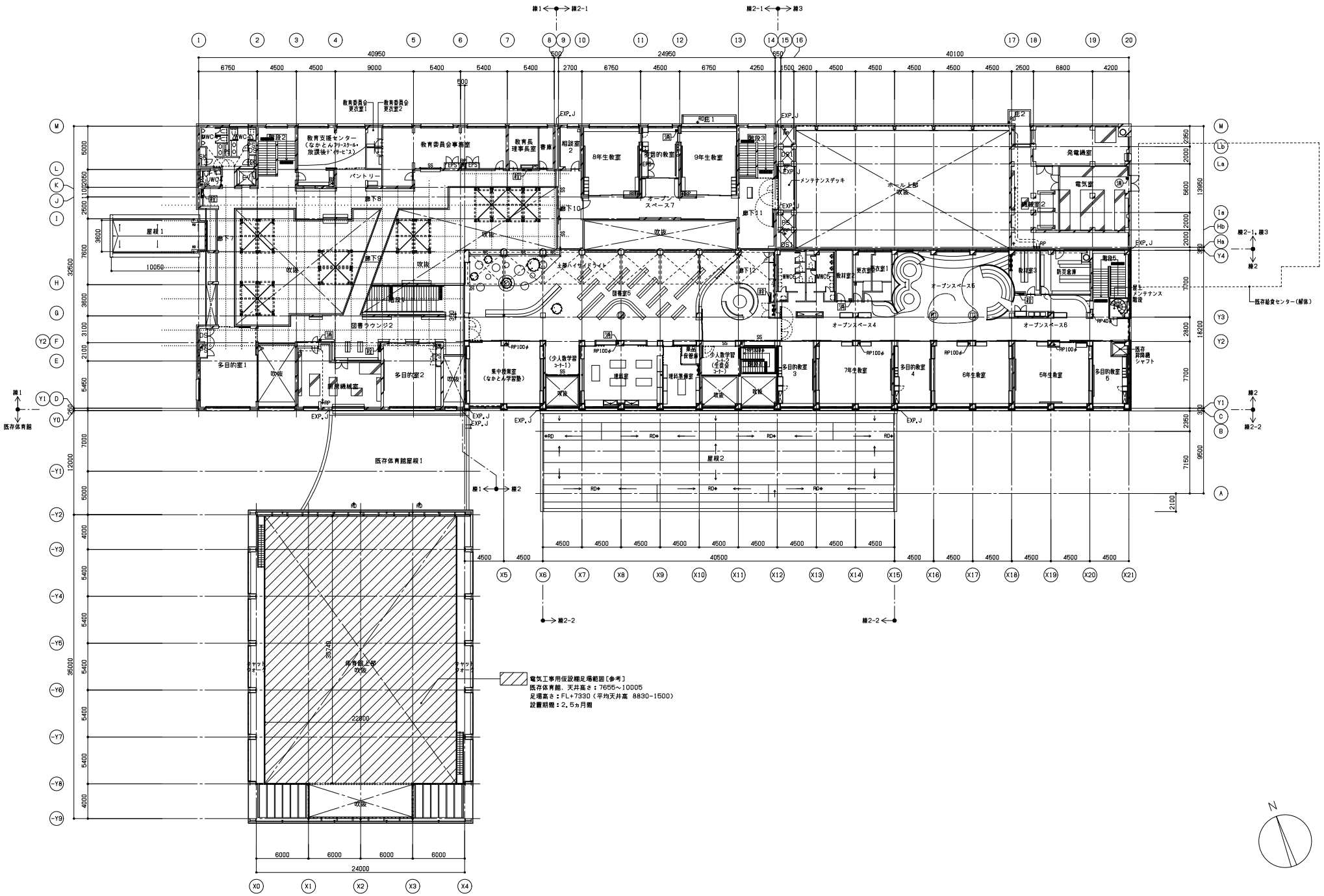
改修後 1階平面図 A1:1/200

意 (通し番号 19)
4 − 5

No. J − 221730 − C

780X570

01	2階平面図	A1:1/200



構工											
電工											
監理											
施工											

凡例

	RC壁		雨水桝		タラップ	--->	縦引管（特記なき限り壁面縦引管は見下げ）
	軽量鉄骨間仕切壁	⊠	床点検口	±	丸環	→	水勾配（特記なき限り1/75以上）
	機械基礎	⊗	マンホール	RD	ルーフドレン（特記なき限り150φ）	PE	屋内消火栓＋消火器
			マンホール＋化粧蓋	RD+	バルコニードレン（特記なき限り100φ）	消	消火器（スタンド型）
			避難ハッチ	RP	竪樋　（特記なき限り150φ）	消	消火器（埋込みボックス型）

特記事項
・特記なき限り下記による
　躯体の RFLから仕上までのレベル
・RDルーフドレン各所に挿入型凍結防止ヒーター［30w/m×5m、自己温度制御型、通電ランプ付］を設置する

勝矢 武之	一級建築士	
岩村 友恵	一級建築士	
頭井 秀知	一級建築士	
小林 哲也		
實口 芳郎	一級建築士	

日建設計

2024.08.30　検図者：竹内 睦

（仮称）人生100年の学びの拠点
中頓別学園整備工事

改修後　2階平面図　A1:1/200

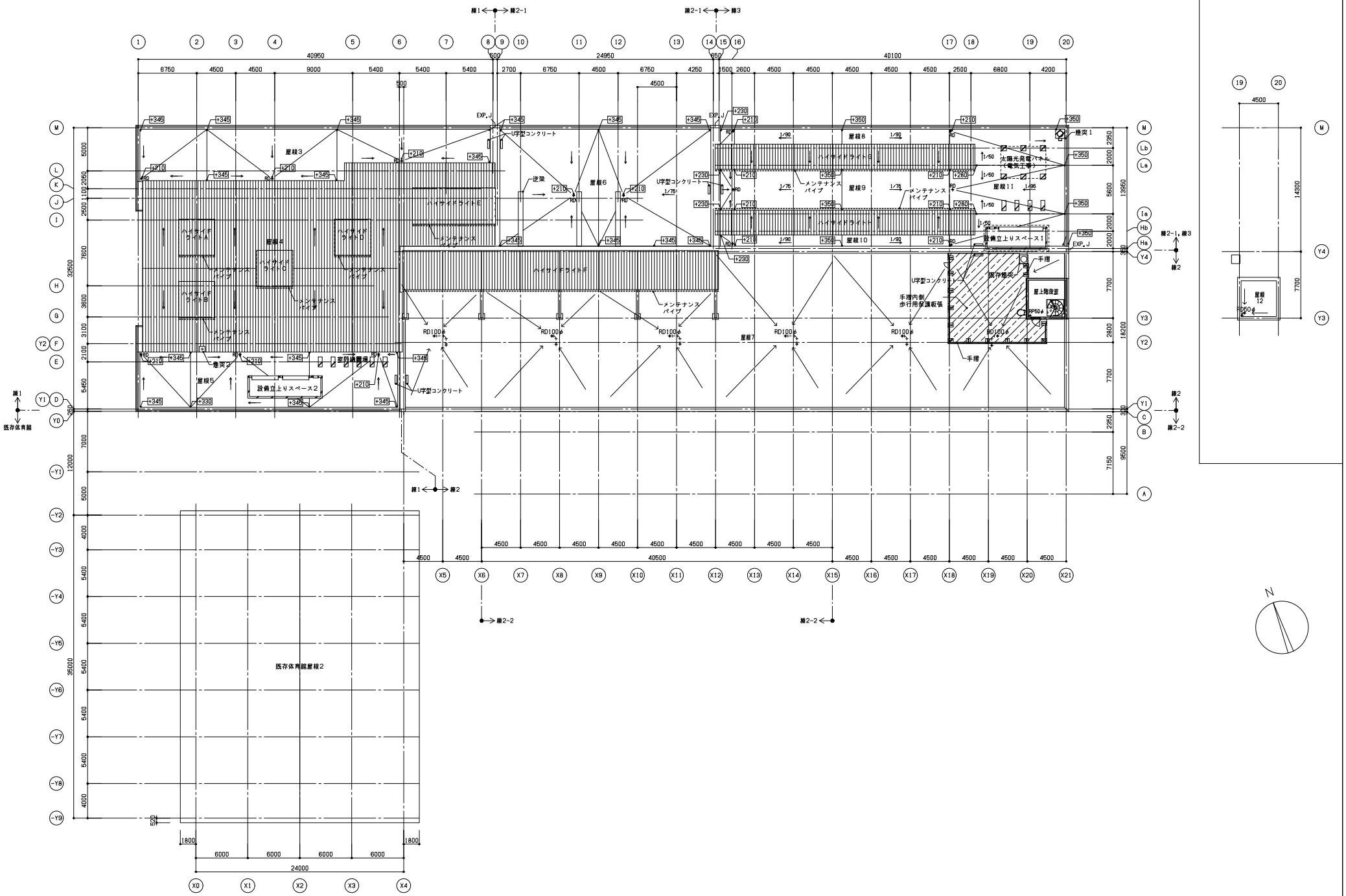
（通し番号 20）
4 － 6

No. J－221730－C

780×670

01 塔屋階平面図 A1:1/200

02 屋根伏図 A1:1/200



審工			凡例	RC壁	雨水桝	タラップ	縄引管(特記なき限り壁縄縄引管は見下げ)	特記事項	勝矢 武之 一級建築士
現工				軽量鉄骨間仕切壁	床点検口	丸環	水勾配(特記なき限り1/75以上)	・特記なき限り下記による	岩村 友恵 一級建築士
監理				機械基礎	マンホール	ルーフドレン(特記なき限り150φ)	屋内消火栓＋消火器	縄梯のRFLから仕上までのレベル	頭井 秀和 一級建築士
施工					マンホール+化粧蓋	パルコニードレン(特記なき限り100φ)	消火器(スタンド型)	・RDルーフドレン各所に挿入型凍結防止ヒーター[30w/m×5m、自己温度制御型、通電ランプ付]を設置する	小林 哲也
					避難ハッチ	竪樋 (特記なき限り150φ)	消火器(埋込みボックス型)		賀口 芳郎 一級建築士

日建設計

2024.08.30 検図者：竹内 勝

（仮称）人生100年の学びの拠点
中頓別学園整備工事

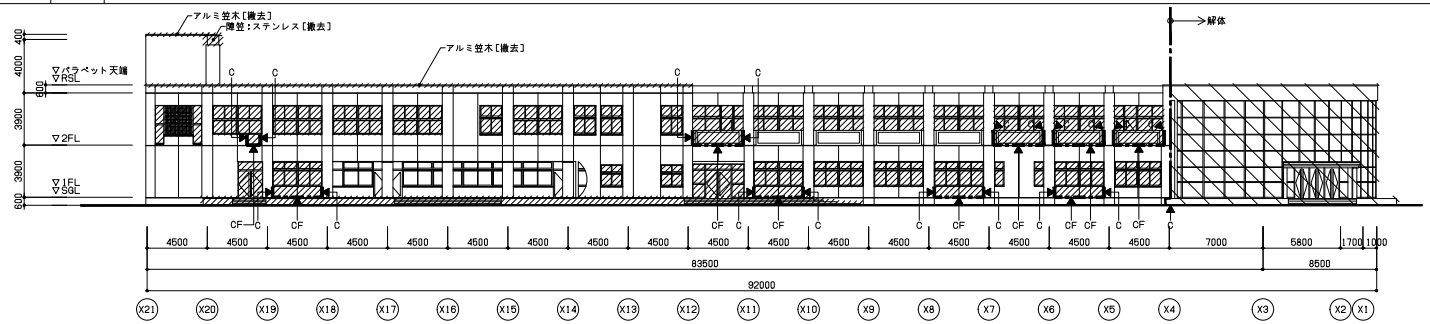
改修後 塔屋階平面図・屋根平面図 A1:1/200

（通し番号 21）
4 － 7

No. J－221730－C

780×670

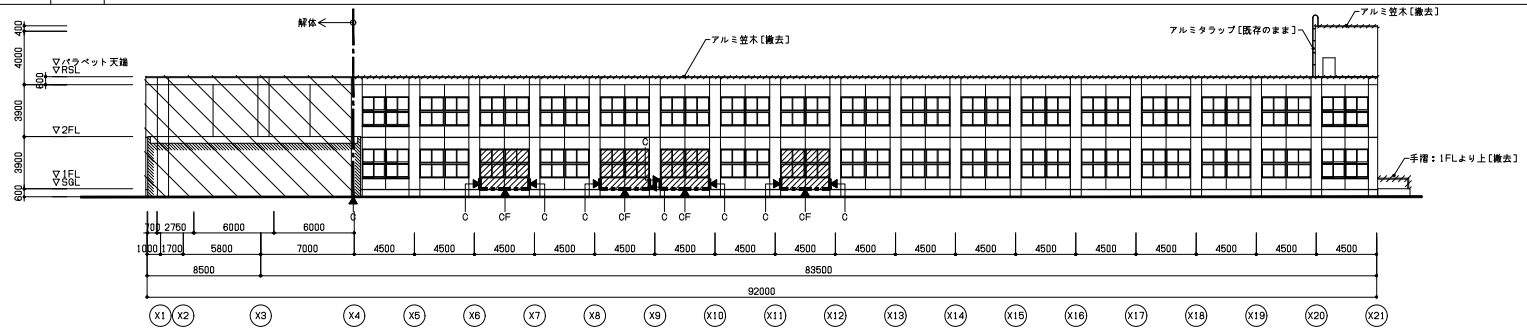
01 北側立面図(1) 1/200



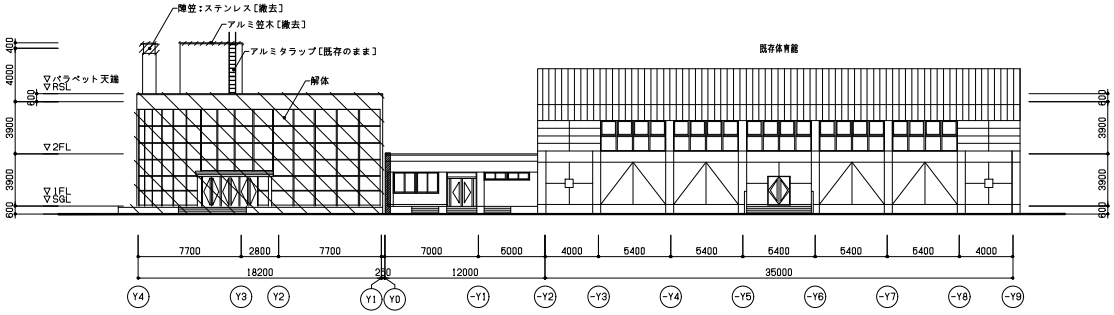
外壁改修リスト(概数)

種別	仕様	改修場所 既存校舎	改修場所 既存体育館
鉄筋露出部補修	幅150厚50程度 防錆処理共 リフリート工法同等	2m	2m
鉄筋露出部補修(悪露端)	300×300以下 防錆処理共 リフリート工法同等	5ヵ所	5ヵ所
ひび割れ補修	0.2≤W≤1.0 エポキシ樹脂自動低圧注入工法	10m	5m
	1.0<W Uカットシール充填工法	10m	5m
欠損部補修	ポリマーセメントモルタル充填工法 一般 300×300以下	10ヵ所	10ヵ所

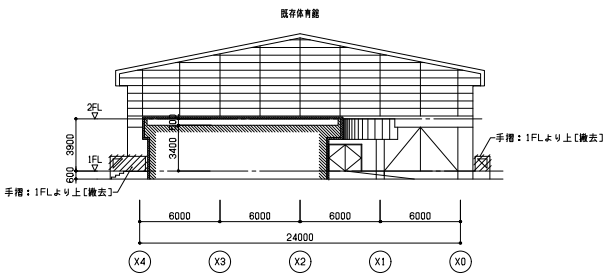
02 南側立面図(1) 1/200



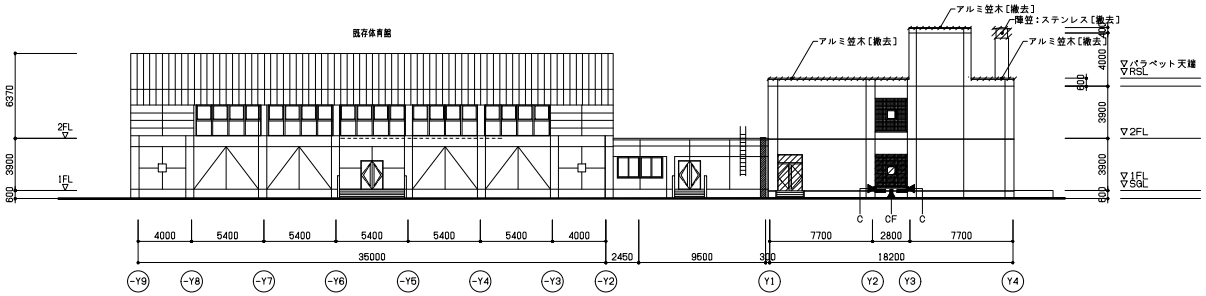
03 西側立面図 1/200



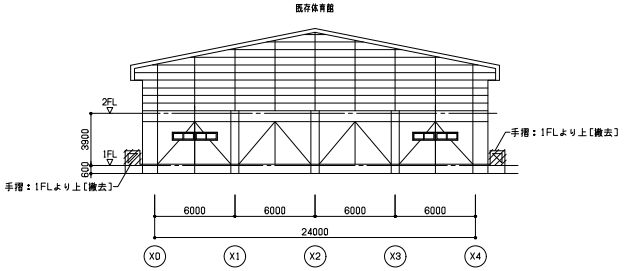
05 北側立面図(2) 1/200



04 東側立面図 1/200



06 南側立面図(2) 1/200



監理			
施工			

凡例
- 撤去部分を示す
- コンクリートカッター位置を示す
- C 壁コンクリートカッター位置を示す(両面)
- CF 床コンクリートカッター位置を示す

勝矢 武之 一級建築士
岩村 友恵 一級建築士
頭井 秀和 一級建築士
小林 哲也
寳口 芳郎 一級建築士

日建設計

2024.08.30 検図者:竹内 睦

(仮称)人生100年の学びの拠点
中頃別学園整備工事

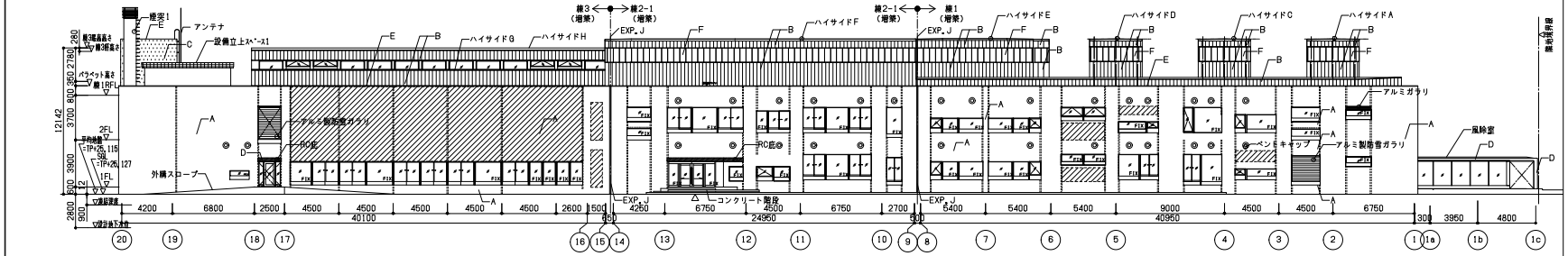
改修前 立面図 A1:1/200

(通し番号 22)
4 − 8

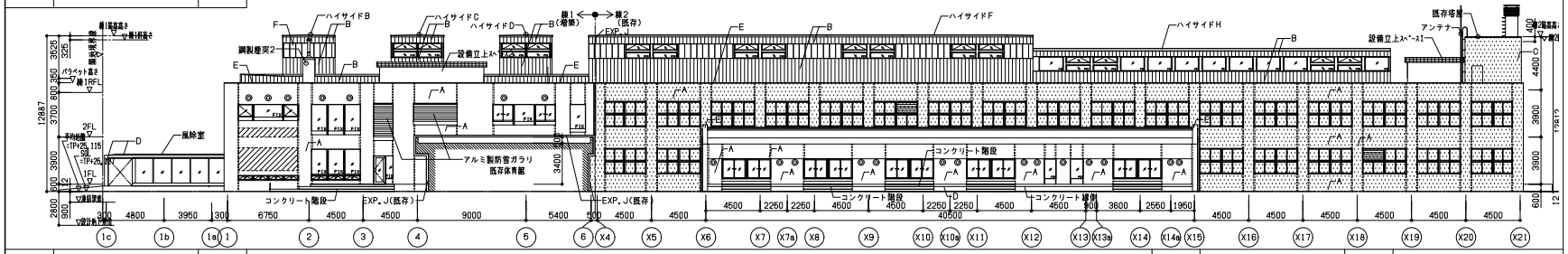
No. J − 221730 − C

780×670

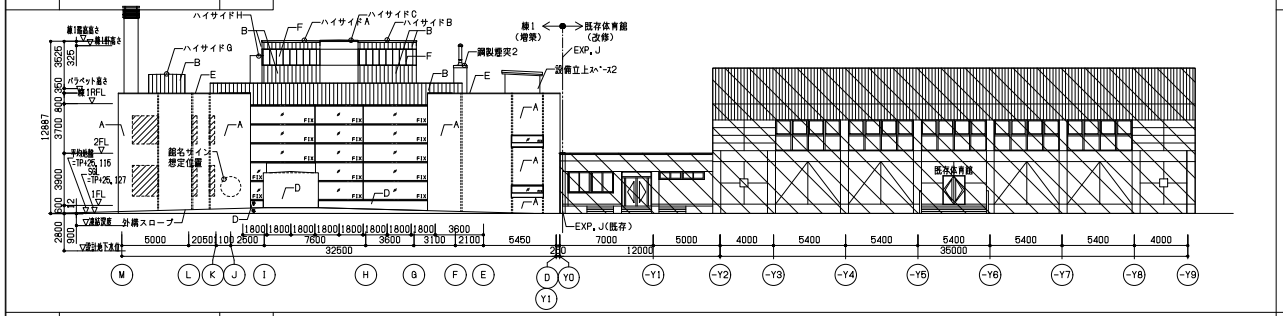
01 改修後北側立面図(1) 1/200



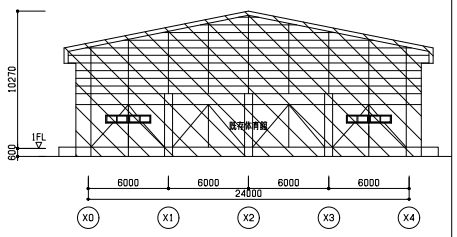
02 改修後南側立面図(1) 1/200



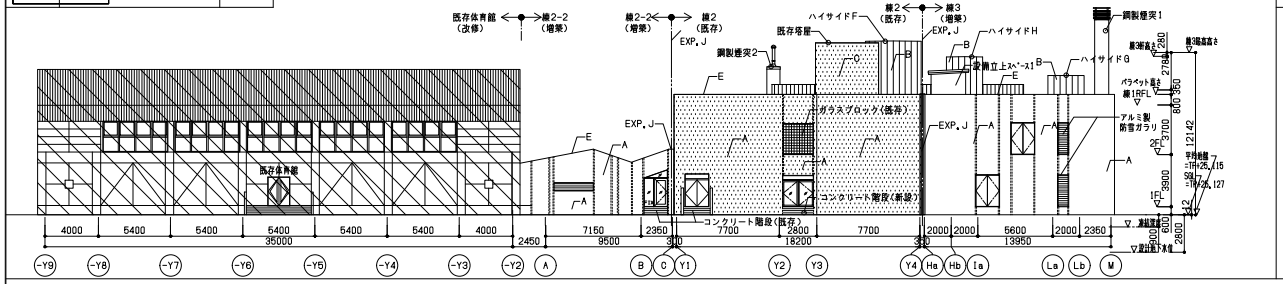
03 改修後西側立面図 1/200



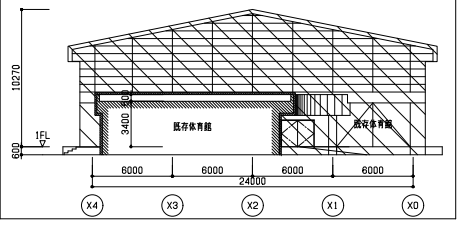
05 改修後北側立面図(2) 1/200

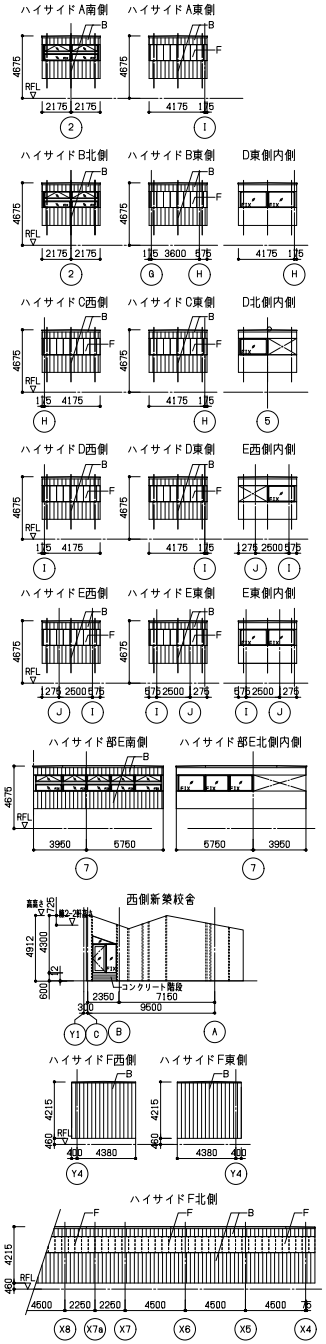


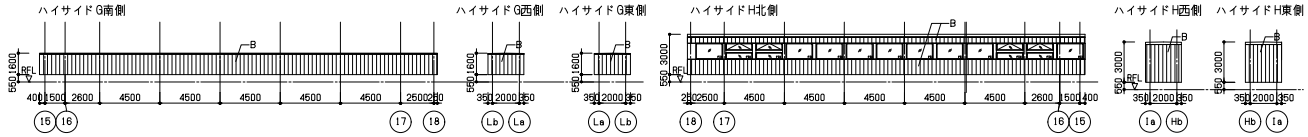
04 改修後東側立面図 1/200



06 改修後南側立面図(2) 1/200







外壁乾式整位置を示す	◎	ペントキャップ+化粧スリットを示す	A	外断熱A	E	アルミ笠木
既存体育館を示す			B	ガルバリウム鋼板縦はぜ葺き	F	複層ポリカーボネート
既存校舎(線2を示す)			C	吹付タイル		
化粧目地を示す			D	RC-A、CPW		

凡例

勝矢 武之	一級建築士
岩村 友恵	一級建築士
頭井 秀和	一級建築士
小林 哲也	
實口 芳郎	一級建築士

日建設計

2024.08.30 検図者：竹内 睦

(仮称)人生100年の学びの拠点
中頃別学園整備工事

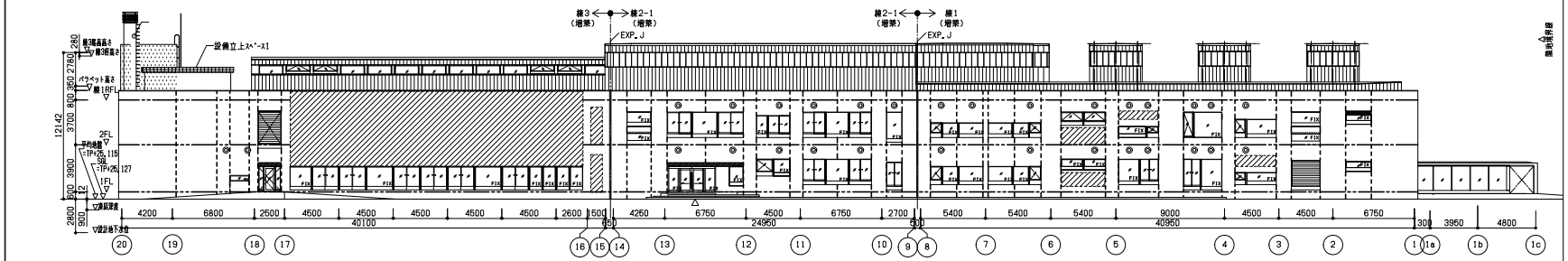
改修後 立面図 A1:1/200

(通し番号 23)
4 − 9

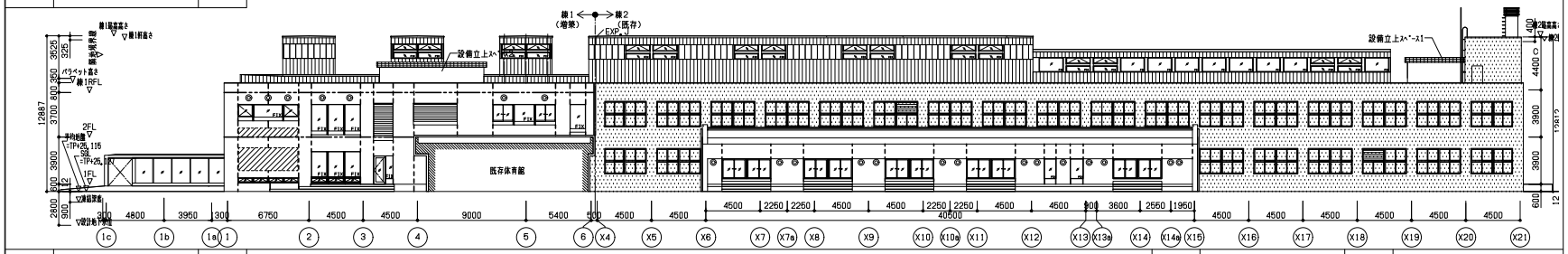
No. J − 221730 − C

4-9_改修後 立面図 92296 24.09.13 [A1 1:1]

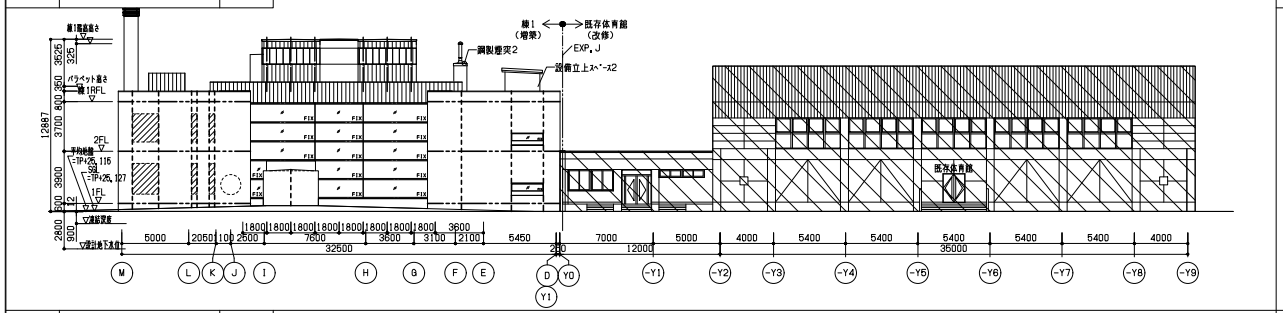
01 改修後北側立面図(1) 1/200



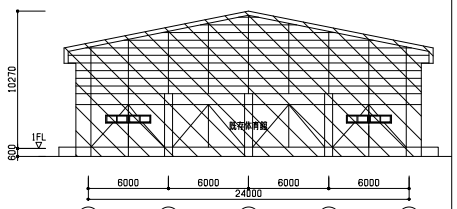
02 改修後南側立面図(1) 1/200



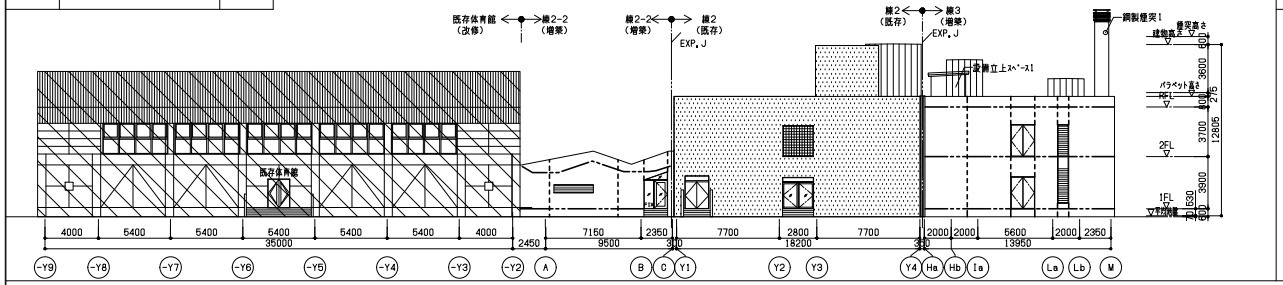
03 改修後西側立面図 1/200



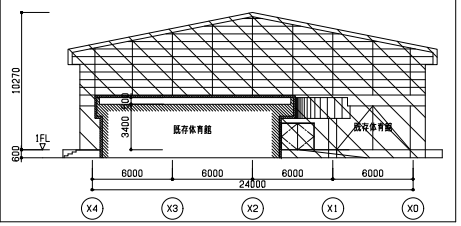
05 改修後北側立面図(2) 1/200

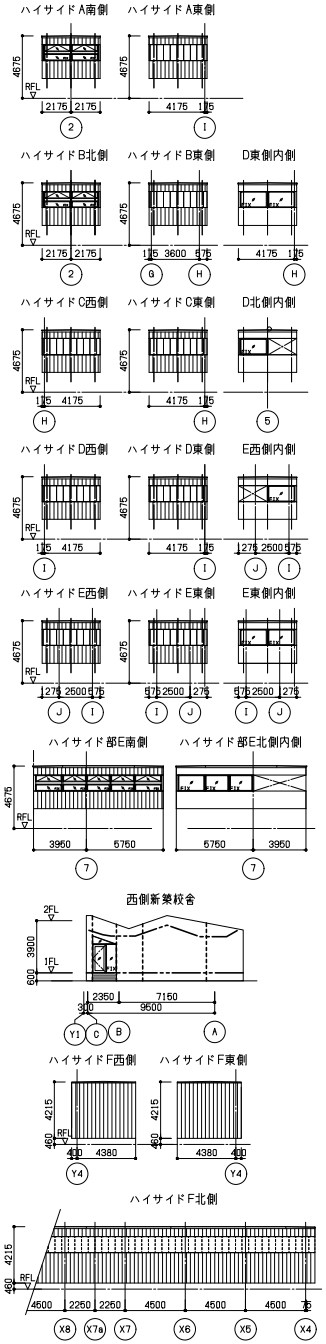


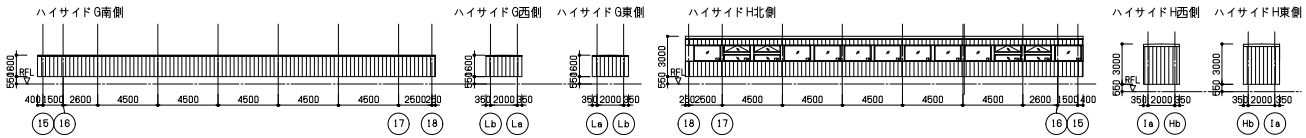
04 改修後東側立面図 1/200



06 改修後南側立面図(2) 1/200







凡例	外壁乾式壁位置を示す	打継目地	
	既存体育館を示す	誘発目地	
	既存校舎(線2を示す)		

勝矢 武之	一級建築士	日建設計	(仮称)人生100年の学びの拠点 中頓別学園整備工事
岩村 友恵	一級建築士		
頭井 秀和	一級建築士		
小林 哲也			
賀口 芳郎	一級建築士	2024.08.30	検図者：竹内 睦

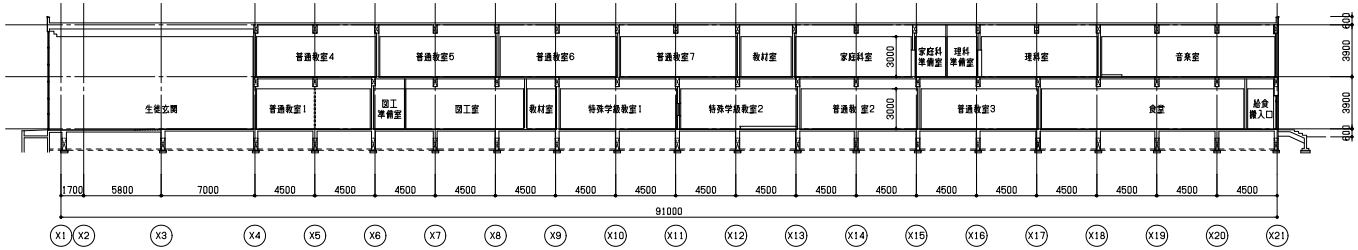
躯体目地位置図 A1:1/200

(通し番号 24)
4 − 9A

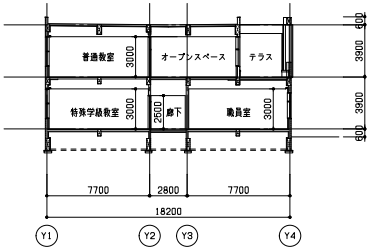
No. J − 221730 − C

4-9A_躯体目地位置図 92296 24.09.13 [A1 1:1]

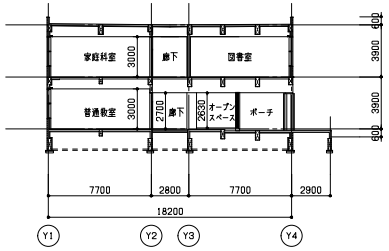
01	改修前　断面図	1/200



東西断面図



南北断面図1



南北断面図2

電工	. .	. .	
機工	. .	. .	
		. .	
監理		. .	
施工		. .	

勝矢　武之　一級建築士
岩村　友恵　一級建築士
頭井　秀和　一級建築士
小林　哲也
賀口　芳郎　一級建築士

日建設計

2024.08.30　検図者：竹内　勝

（仮称）人生100年の学びの拠点
中頃別学園整備工事

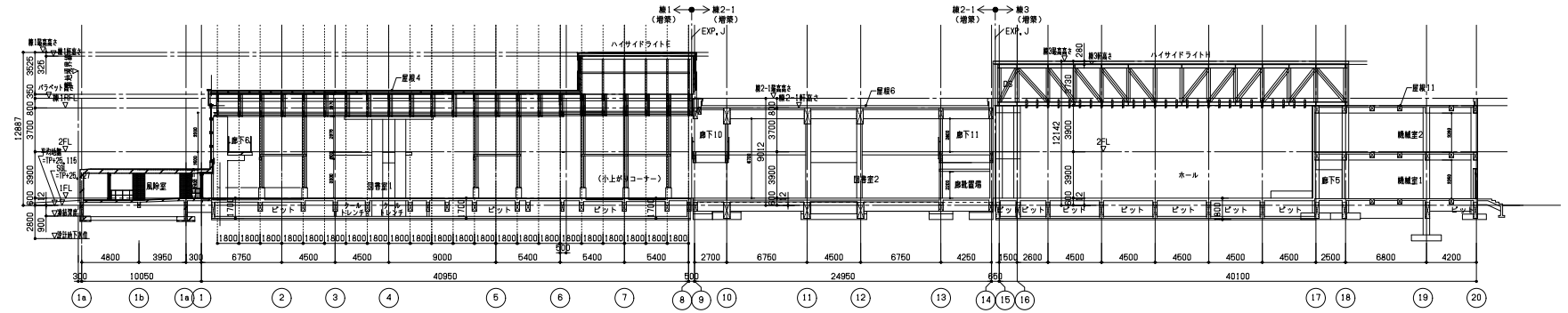
改修前　断面図　A1:1/200

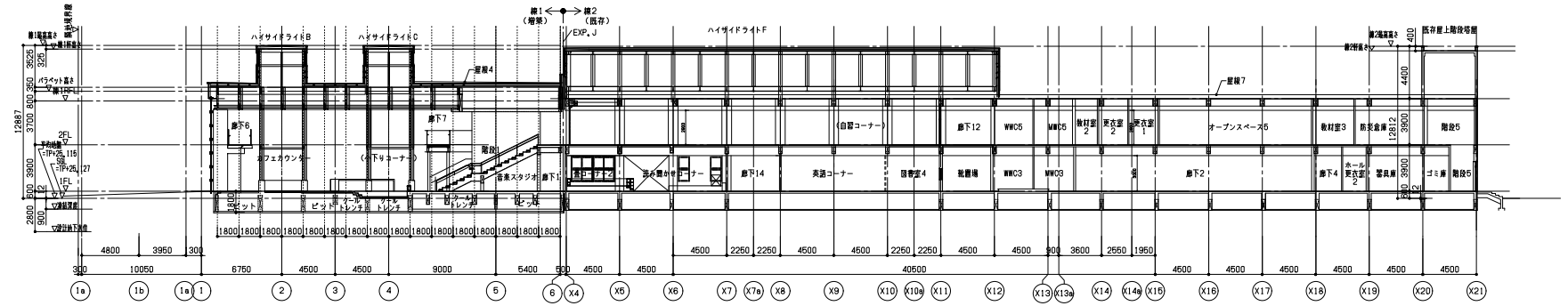
（通し番号 25）
4 － 10

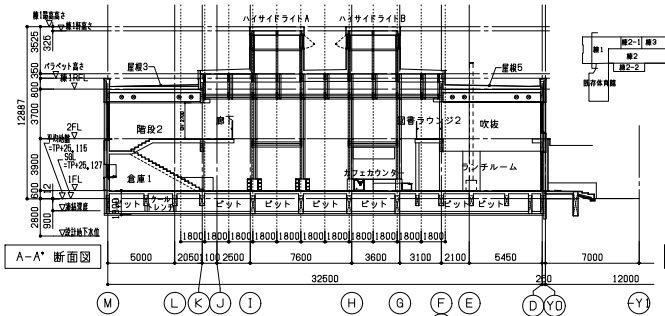
No. J－221730－C

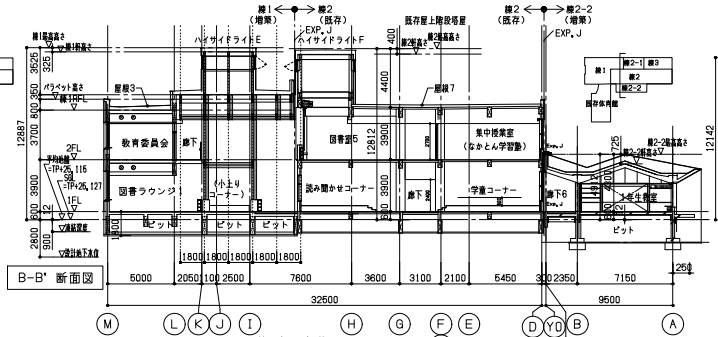
780X670

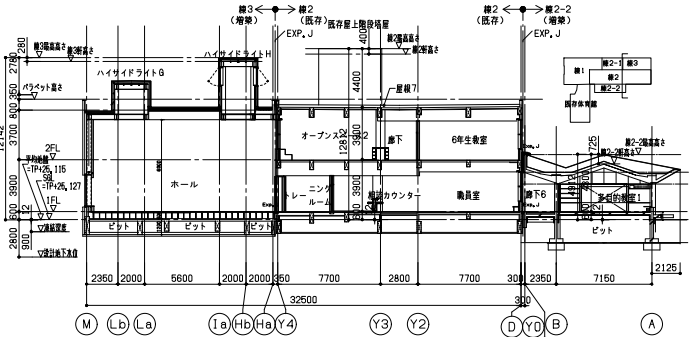
01	改修後　断面図	1/200

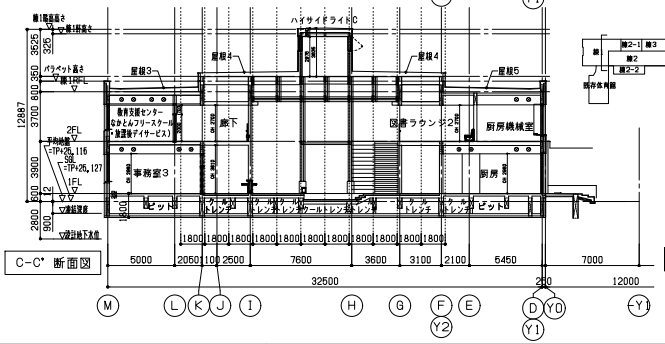


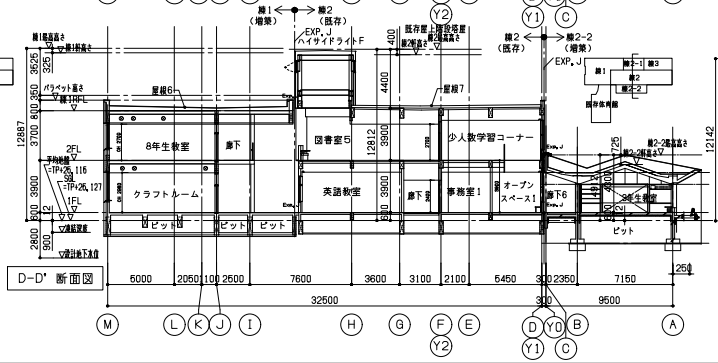


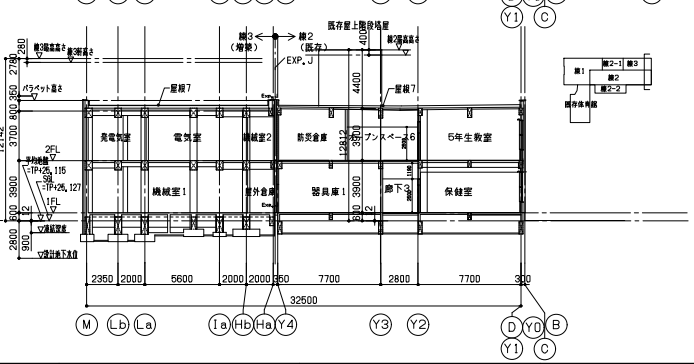












監工			
現工			
監理			
施工			

勝矢　武之　一級建築士
岩村　友恵　一級建築士
宮城　正弘　一級建築士・構造設計一級建築士
丹保　洋人　一級建築士・設備一級建築士
永井　禎史　意見を聞いた建築設備士

日建設計

2024.08.30　　検図者：竹内　渉

（仮称）人生100年の学びの拠点
中頃別学園整備工事

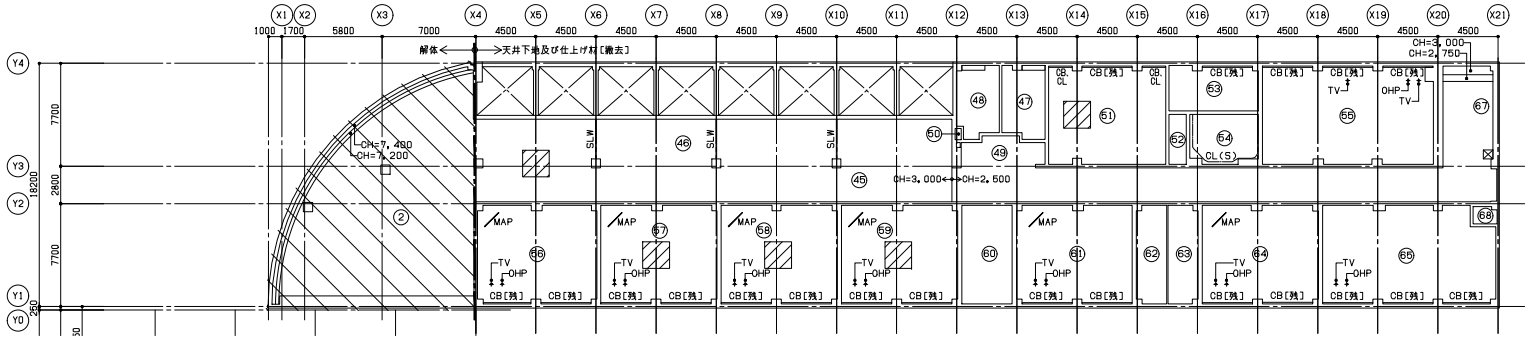
改修後　断面図　　A1:1/200

（通し番号 26）
4 － 11

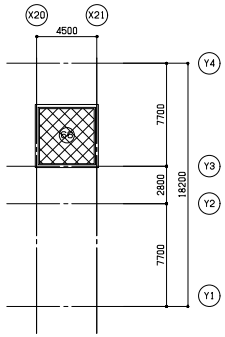
No. J－221730－C

780X670

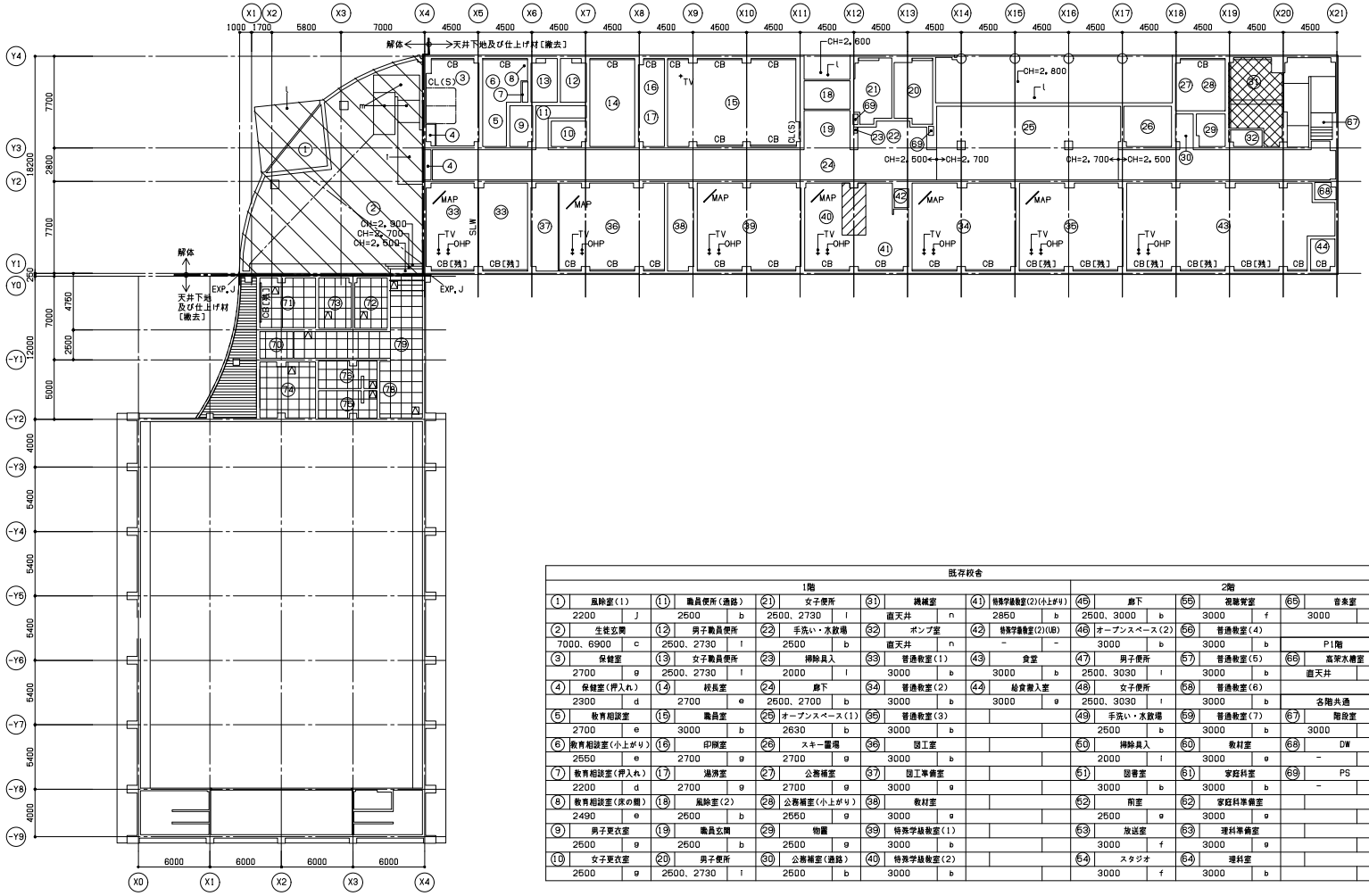
01 2階天井伏図 1/200



01 2階天井伏図 1/200

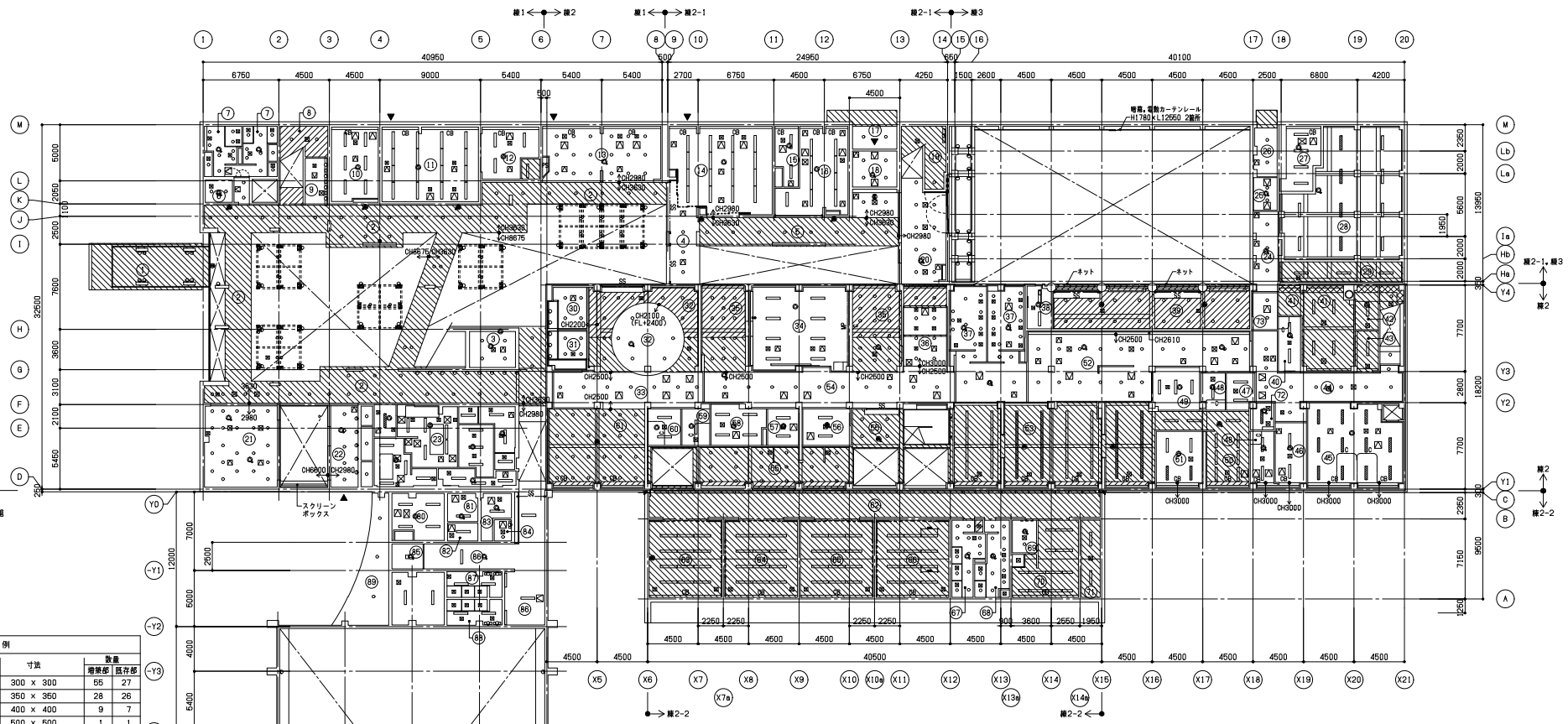


02 1階天井伏図 1/200



| 既存校舎 | | |

01	1階天井伏図	1/200



凡例

器具	記号	寸法	数量 増築部	数量 既存部
設備機器（天井開口補強を設備機器の個数分見込む）	■	300 × 300	55	27
	■	350 × 350	28	26
	■	400 × 400	9	7
	■	500 × 500	1	1
	■	600 × 600	7	－
	■	700 × 500	2	－
		天井埋込型スピーカー		
		天井露出型スピーカー		
照明機器（天井開口補強を設備機器の個数分見込む）	○	ダウンライト φ100	190	202
	○	壁付ライト 補強無し	63	5
	○	埋込照明 φ165	0	0
	▭	埋込照明 300×1250	72	60
	▭	埋込照明 300×625	－	2
	▭	直付照明 L1500	88	16
	▭	直付照明 L900	－	23
	非常用点灯	直付照明 300×1250	5	14
	非常用点灯	直付照明 L900	－	16
	▭	直付照明 L600	6	－
天井点検口（天井開口補強を設備機器の個数分見込む）	▨	600□	25	27
	▨	450□	34	19
その他	CB	カーテンボックス	19	10
	●	避難口誘導灯	2	－
		（既存部）既存直天 RC-C 吹付PUF面+吹付CPS		
		（既存部）既存直天 RC-C 吹付PUF面 集地		
		（既存部）既存直天 RC-C 吹付PUF面+GWB-2		
		（既存部）既存直天 RC-C 集地		
		（増築部）直天 RC-A CWP		

注記）
・塗装仕上は仕上表による。

ⓔ	塗名
天井材	塗装
天井裏	

1階

① 風除室1 直天 RC-A CWP CH=2235~2100	② 図書室1 RC-A CWP CH=3630/8690	③ 音楽スタジオ GB-R、GWB-2 － CH=2280	④ 図書室2 木毛セメント板 EP CH=2980	⑤ 図書室2 直天 RC-A ／GB-R EP CH=3630/2980	⑥ UWC1 GB-R EP CH=2500	⑦ MWC1・WWC1 GB-R EP CH=2500	⑧ 外調機置場1 直天 RC-C － CH= －	⑨ 図書室1 GB-R EP CH=2980	⑩ 事務室3 DR － CH=2980	⑪ ミュージックルーム DR － CH=2980	⑫ 楽器保管庫 DR － CH=2980
⑬ 図書ラウンジ1 DR EP CH=2980	⑭ クラフトルーム DR － CH=2980	⑮ クラフト準備室 DR － CH=2980	⑯ FABスペース DR － CH=2980	⑰ グラウンド出入口 RC-A FK CWP EP CH=2100	⑱ 風除室2 FK EP CH=2100	⑲ 消火ポンプ室 直天 RC-A － CH= －	⑳ 教室場 GB-R EP CH=2980	㉑ 調理実習コーナー 木毛セメント板 EP CH=2980	㉒ ランチルーム 木毛セメント板 EP CH=2980/6600	㉓ 給食厨房各室 化粧FK － CH=2500	㉔ 廊下5 DR EP CH=2500
㉕ 風除室3 FK EP CH=2100	㉖ 学校職員・時間外出入口 RC-A FK CWP EP CH=2100	㉗ 用務員室 GB-D － CH=2500	㉘ 職械室1 直天 RC-C ／GWB-1 － CH= －	㉙ 屋外倉庫 直天 RC-A － CH= －	㉚ 畳コーナー1 シナ合板 OSCL CH=2550	㉛ 畳コーナー2 シナ合板 OSCL CH=2550	㉜ 読み聞かせコーナー 直天 既存RC-C ／DR － CH= － ／ 2100	㉝ 図書室3 DR － CH= － ／2500	㉞ 英語コーナー DR EP CH=3100	㉟ 図書室4・廊下14 直天 既存RC-C － CH= － ／2500	㊱ 教室場 GB-R EP CH=2980
㊲ WWC3/MWC3 GB-R EP CH=2500	㊳ ホール更衣室1 GB-D － CH=2500	㊴ トレーニングルーム 直天 既存RC-C － CH= －	㊵ ホール更衣室2 GB-D － CH=2500	㊶ 器具庫1 直天 既存RC-C － CH= －	㊷ ゴミ庫 直天 既存RC-C － CH= －	㊸ ゴミ庫前室 直天 既存RC-C － CH= －	㊹ 廊下3 DR EP CH=2500	㊺ 保健室 DR － CH=2500	㊻ 相談室1 DR － CH=2500	㊼ 印刷室 GB-D － CH=2500	㊽ 職員用更衣室1，2 GB-D － CH=2500
㊾ 会議室 DR － CH=2500	㊿ 学校職員室（休憩コーナー） 直天 既存RC-C － CH= －	51 校長室 DR － CH=2500	52 廊下2 DR EP CH=2500	53 学校職員室1，2 直天 既存RC-C － CH= －	54 廊下13 DR － CH=2500	55 オープンスペース1・2 直天 既存RC-C － CH= －	56 教材室1 GB-D － CH=2500	57 事務室2 GB-D － CH=2500	58 事務室1 GB-D － CH=2500	59 授乳室 GB-D － CH=2500	60 学童事務室 GB-D － CH=2500
61 学童コーナー 直天 既存RC-C － CH= －	62 廊下6 直天 RC-A CWP CH=2100~2975	63 1年生教室 直天 RC-A CWP CH=2100~3300	64 2年生教室 直天 RC-A CWP CH=2100~3300	65 3年生教室 直天 RC-A CWP CH=2100~3300	66 4年生教室 直天 RC-A CWP CH=2100~3300	67 MWC2 GB-R EP CH=2100	68 WWC2 GB-R EP CH=2100	69 UWC2 GB-R EP CH=2100	70 多目的教室1 直天 RC-A CWP CH=2100~3300	71 外調機置場2 直天 RC-C、GWB-1 － CH=	72 UWC3 GB-D － CH=2500
73 廊下4 DR － CH=2500		80 給食員事務室 GB-D － CH=2500	81 備品庫 GB-D － CH=2500	82 一時ゴミ保管庫 GB-D － CH=2500	83 給食員休憩更衣室 GB-D － CH=2500	84 厨房トイレ GB-D － CH=2500	85 体育館風除室 GB-D － CH=2500/2600	86 体育館廊下 GB-D － CH=2500	87 体育館WWC GB-D － CH=2500	88 体育館MWC GB-D － CH=2500	89 体育館ポーチ 既存 アルミスパンドレル － CH=2600

構工	・・	・・	
電工	・・	・・	
管理		・・	
施工		・・	

勝矢 武之 一級建築士
岩村 友恵 一級建築士
関井 秀知 一級建築士
小林 哲也
賀口 芳郎 一級建築士

日建設計

2024.08.30 検図者：竹内 睦

（仮称）人生100年の学びの拠点
中頓別学園整備工事

改修後 1階天井伏図 A1:1/200

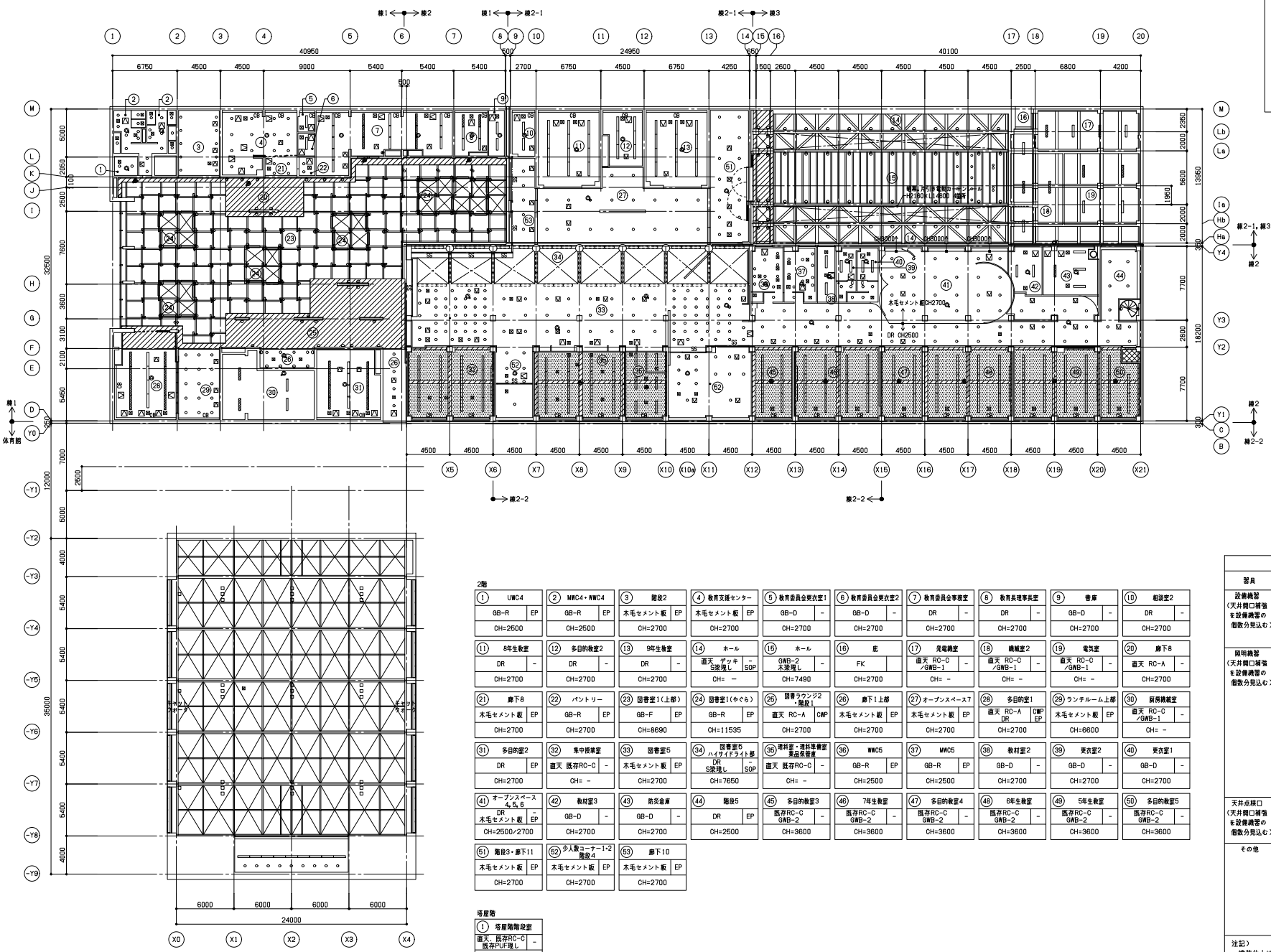
（通し番号 28）
5 － 2

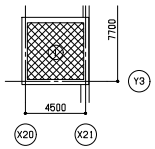
No. J－221730－C

780X570

01	2階天井伏図	1/200

02	塔屋階天井伏図	1/200





2階

① UWC4	② MWC4・WWC4	③ 階段2	④ 教育支援センター	⑤ 教育委員会更衣室1	⑥ 教育委員会更衣室2	⑦ 教育委員会事務室	⑧ 教育長理事長室	⑨ 書庫	⑩ 給湯室2
GB-R EP	GB-R EP	木毛セメント板 EP	木毛セメント板 EP	GB-D -	GB-D -	DR -	DR -	GB-D -	DR -
CH=2500	CH=2500	CH=2700	CH=2700	CH=2700	CH=2700	CH=2700	CH=2700	CH=2700	CH=2700
⑪ 8年生教室	⑫ 多目的教室2	⑬ 9年生教室	⑭ ホール	⑮ ホール	⑯ 廊	⑰ 発電機室	⑱ 機械室2	⑲ 電気室	⑳ 廊下8
DR -	DR -	DR -	直天 デッキS梁現し - S0P	GWB-2 木梁現し -	FK	直天 RC-C /GWB-1 -	直天 RC-C /GWB-1 -	直天 RC-C /GWB-1 -	直天 RC-A -
CH=2700	CH=2700	CH=2700	CH= —	CH=7490	CH=2700	CH= -	CH= -	CH= -	CH=2700
㉑ 廊下8	㉒ パントリー	㉓ 図書室1(上部)	㉔ 図書室1(やぐら)	㉕ 図書ラウンジ2・階段1	㉖ 廊下1上部	㉗ オープンスペース7	㉘ 多目的室1	㉙ ランチルーム上部	㉚ 厨房機械室
木毛セメント板 EP	GB-R EP	GB-F EP	GB-R EP	直天 RC-A CWP	木毛セメント板 EP	木毛セメント板 EP	直天 RC-A DR CWP EP	木毛セメント板 EP	直天 RC-C /GWB-1 -
CH=2700	CH=2700	CH=8690	CH=11535	CH=2700	CH=2700	CH=2700	CH=2700	CH=6600	CH= -
㉛ 多目的室2	㉜ 集中授業室	㉝ 図書室5	㉞ 図書室5 ハイサイドライト部	㉟ 理科室・理科準備室 薬品保管庫	㊱ WWC5	㊲ MWC5	㊳ 教材室2	㊴ 更衣室2	㊵ 更衣室1
DR EP	直天 既存RC-C -	木毛セメント板 EP	DR S梁現し - S0P	直天 既存RC-C -	GB-R EP	GB-R EP	GB-D -	GB-D -	GB-D -
CH=2700	CH= -	CH=2700	CH=7650	CH= -	CH=2500	CH=2500	CH=2700	CH=2700	CH=2700
㊶ オープンスペース4,5,6	㊷ 教材室3	㊸ 防災倉庫	㊹ 階段5	㊺ 多目的教室3	㊻ 7年生教室	㊼ 多目的教室4	㊽ 6年生教室	㊾ 5年生教室	㊿ 多目的教室5
DR - 木毛セメント板 EP	GB-D -	GB-D -	DR EP	既存RC-C GWB-2 -	既存RC-C GWB-2 -	既存RC-C GWB-2 -	既存RC-C GWB-2 -	既存RC-C GWB-2 -	既存RC-C GWB-2 -
CH=2500/2700	CH=2700	CH=2700	CH=2500	CH=3600	CH=3600	CH=3600	CH=3600	CH=3600	CH=3600
(51) 階段3・廊下11	(52) 少人数コーナー1-2 階段4	(53) 廊下10							
木毛セメント板 EP	木毛セメント板 EP	木毛セメント板 EP							
CH=2700	CH=2700	CH=2700							

塔屋階

① 塔屋階階段室
直天 既存RC-C 既存PUF現し -
CH= -

凡 例

器具	記号	寸法	増築部	既存部
設備機器(天井開口補強を設備機器の個数分見込む)		300 × 300	15	42
		350 × 350	21	15
		400 × 400	2	4
		天井埋込型スピーカー		
		天井露出型スピーカー		
照明機器(天井開口補強を設備機器の個数分見込む)		ダウンライト φ100	111	232
		壁付ライト 補強無し	110	2
		直付照明 φ165	79	-
		埋込照明 300×1260	81	26
		直付照明 L900	34	32
		直付照明 L1500	-	53
		埋込照明 300×1260	24	1
		直付照明 L900	8	-
		木軸上部照明 補強無し	-	72
天井点検口(天井開口補強を設備機器の個数分見込む)		600□	32	14
		450□	29	29
その他	CB	カーテンボックス	15	14

(既存部) 既存直天 RC-C 吹付PUF面+吹付CPS
(既存部) 既存直天 RC-C 吹付PUF面 素地
(既存部) 既存直天 RC-C 吹付PUF面+GWB-2
(既存部) 既存直天 RC-C 素地
(増築部) 直天 RC-A CWP

注記)
・塗装仕上は仕上表による。

⊗	塗名	
	天井材	塗装
	天井裏	

施工			
施工			
監理			
施工			

勝矢 武之 一級建築士
岩村 友恵 一級建築士
順井 秀和 一級建築士
小林 哲也
賀口 芳郎 一級建築士

日建設計

2024.08.30 検図者：竹内 勝

(仮称)人生100年の学びの拠点
中頓別学園整備工事

改修後 2階・塔屋階天井伏図 A1:1/200

(通し番号 29)
5 − 3

No. J − 221730 − C

780X670

共通事項

a.本表は建具関連の符号・標準納まりなどを示しているが、本表に記載のない仕様は標準仕様書・特記仕様書を適用する。
b.カウンター戸その他これらに類する建具は別図によるものとし、本表には含まない。
c.本表に記載の符号などは、本表以外の設計図にも適用する。
d.建具性能欄に記載があるのは、防火設備・特定防火設備・不燃建具を示し、開き戸はノンストップクローザー、遅込み戸は煙感知器連動閉鎖装置付きとする。
e.建具表にない建具(家具に付属する建具など)は、平面詳細図・展開図・部分詳細図による。
f.表中、*印を付した事項を適用する。・印を⊙にした場合は、⊙印を優先して適用する。
g.◉⊙印とした場合は、両方を適用する。
h.建具金物は、建具の大きさ・重量に適した品番を選定する。
i.工事範囲内の既存建具は取付け状態及び開閉機能の調査を行い、機能上所要の性能であることを確認する。開閉調整、ボルトやねじ等の緩み部分の増締め程度を本工事に含み実施する。設計図に記載のない建具用金物の交換や大掛りな修理が必要な場合は、監理者と協議する。
j.片引戸、両引戸、引違い戸、かまち戸等の軸吊開き戸は、指はさみ事故を防ぐための引残し措保や同固納まり等、適切な処置を施す。
k.外気に面する建具材の周囲取合い部は、ヒートブリッジによる結露等の不具合を生じない納まりとする。
c.外部に面する既存建具を「かぶせ工法」で改修する場合は、改修概仕[5.2.5(2)(ア)3]による。
既存枠と新規枠の外部取合いは排水機構付きダブルシーリング方式とし、下辺に排水用逆流防止弁を設ける。
f.建具に付随する金属製のフィン、水切り(既製水切り皿板を除く)等の水平部材の雨滴告対策として、上面部材厚2mm以上とする。
h.高所に設置する可動の建具には、開放制限装置設置(有効開口幅110mm以下)転落防止処置を講ずる。
i)外部に面する部分に用いるボルト及びナットは、高力ボルトは溶融亜鉛めっき仕上げ、それ以外はステンレス製とする。
g.アルミニウム製建具の耐久性能は次による。
1)シーリング部は完成引渡し後10年間、大掛かりな補修を要しないものとする。
2)塗装面は完成引渡し後5年間、はく離、色むら、浮き、膨れ等が生じないものとする。
3)可動部のエアタイト材等は、有効な性能の保証期間を5年間以上とする。
b.防虫網の種別は合成樹脂(線径0.25 以上 網目16～18メッシュ)とする。
i.ぜん板、額縁等には裏面断熱材として吹付け硬質ウレタンフォーム25mmを設ける。
f.鋼製建具のSATの性能は遮音性T-1。ATの性能はフラッシュ戸の場合、気密性A-3 遮音性T-2、片面フラッシュの場合、気密性A-3。PATの性能は次により、気密性A-4、遮音性T-3とする。
b.AT、PAT、外気に面する戸の表面板の諸部は、四周とも包み込む。
c.SATは下枠を除く枠の三周に、ATはびPATは四周に、シリコーンスポンジゴム等の気密材を設置する。気密材は、塗装した戸面に長期間密着していても剥がれないものを使用する。
d.PATの把手は、設計図に記載なき限り、グレモン多点締りハンドルとする。
e.遮音性能が必要な鋼製建具には、必要に応じて内部にロックウール等を充填し、所定の性能を確保する。また、充填材の落ち込みがないよう内部には分割材を入れる。
f.外気に面する戸には、内部にロックウール(150kg/m³品)を充填し、充填材の落ち込みがないよう内部に分割材を入れる。
g.床防水を行う室の戸枠は、下端より300mmまでをステンレス製とする。また、防水層が取り合う部分には、ステンレス製フラッシング#100以上を溶接で取り付ける。
h.雨掛り箇所の壁面と同面の戸枠上端には、ステンレス厚1.5mm、出25mm、塗装仕上げの水切り板を設ける。また、下枠の下部には水返しの立上り10mm以上を設ける。
f.既存建具の金物を一部更新する場合は、原則として外観、材質、性能等を既存の仕様に合せたものとする。
f.ドアクローサーは、室内側(大部屋内にあっては小部屋側)取付けを原則とし、仕様は次に
h.フロアヒンジは、外部の雨掛りの戸には使用しない。
i.外気に面する部分に使用するピボットヒンジはステンレス製とする。
j.鋼製建具の開き戸の丁番は埋込み形旗丁番とする。
k.建具金物を取り付ける箇所は、裏面に補強板を設ける。
i.開閉サッシの締付け開閉機構の部材は、ねじ、ばね及び高応力部をステンレス製とする。
m.フロアヒンジはプレート版に込みとし、床仕上げ同材を張った化粧プレートとする。
n.水掛り及び外気に面する建具金物はステンレス製とする。また、丁番の切欠き部分は十分な止水処理を施す。
c.マスターキーのシステムは新規に製作する。
h.雨掛りとなる建具、門扉等に用いる電気錠は、防滴型とする。
2)外装に使用するガラスは、熱割れ計算にて安全性の確認を行う。ルーバー等の突起物やガラスに近接した壁等がある場合や、熱だまりになる部分については、周辺の状況も計算要素に加える。
4)ガラスの風圧力によるたわみは、有限要素法又は板状子協会の定める計算式で算出し、たわみ量は部材長の1/50以下、対象箇所はビジョン部とする。
b.鋼入りガラスの小口処理は、全周小口へのシリコーンシーリング材塗布とする。
c.ガラス用飛散防止フィルムは、原則として遮目を設けない。
d.取扱い説明書に耐用年数、張り方、メンテナンス等の留意点を明記し、完成引渡し時に発注者及び建物管理者へ適切な説明を行った上、提出する。
e.強化ガラスへの飛散防止フィルム張りの範囲は、呼び厚さ5ミリを超えるすべての強化ガラスとする。
e.複層ガラスのスペーサーは、製造者の仕様により、色は黒色にする。
b.常時開放遅込戸の開鎖装置はシンジクローザーとし、調整器は壁側に設ける。
d.くぐり戸付きの特定防火戸の、くぐり戸の下部は下枠なしとする。
e.防火防煙シャッターの場合は、煙感知器と連動するものとし、手動閉鎖装置を設置する。
a.外気に面するガラリには、ダクト接続の有無にかかわらず防鳥網を設置する。
b.給排気ガラリの必要面積は、建具表備考欄の開口率とガラリ通過風速3m/sとして計画風量に基づき確認する。
c.ダクトが接続されるガラリは接続枠付きとし、枠裏面(室内側)に断熱処置を施す。接続枠も耐風圧性能を満足する。
d.ガラリは外部より着脱可能な取付けとし、取付けボルトナット類は、微振動により脱落しない機構及び機能を有したものとする。

建具の符号

防火戸種別 (1,2,18,257) 建具の種類 整理番号

:特定防火設備を示す。

:防火設備を示す

建具の種類と符号

符号	種類	符号	種類	符号	種類
AD	アルミニウム製戸	WW	木製窓	MP	移動棚仕切(スライディングウォール)
SD	鋼製戸	H	ふすま	TB	トイレブース
LD	鋼製軽量戸	P	紙張り障子	SCW	スチールカーテンウォール
WD	木製戸	SS	鋼製重量シャッター	SF	鋼製一方神
AW	アルミニウム製窓	AG	アルミニウム製ガラリ	WF	木製一方神
SW	鋼製窓	WG	木製ガラリ	MW	窓用網戸

ガラスの種類・符号・性能

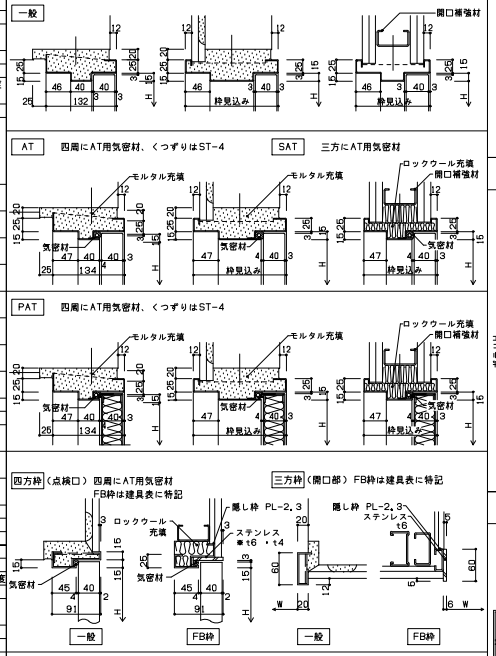
符号	種類	項目	単位	性能値
FL	フロート板ガラス	-	-	
F	型板ガラス	-	-	
T	強化ガラス	-	-	
NP	網入板ガラス	-	-	
HRT	耐熱強化ガラス	-	-	
IGU	複層ガラス	熱貫流率	W/m²・K	
LE	Low-E複層ガラス	熱貫流率 日射熱取得率	W/m²・K -	低放射複層タイプ(Low-E層室内側)

建具金物などの種類と仕様

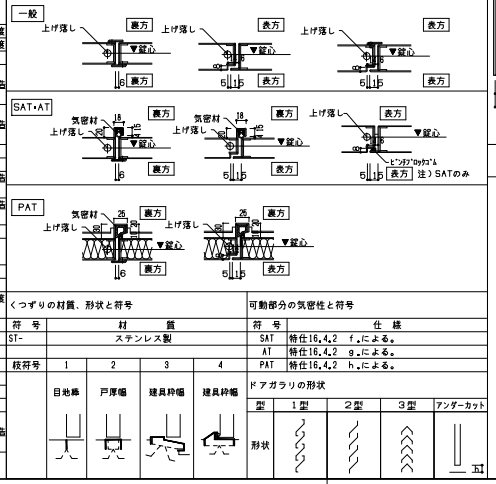
注)下表における製造者・品番は、製品グレードを示し、同等品以上とする。

区分	符号	種類	材質・性能など	製造者・品番・備考
錠・錠り金物	C	空錠	*シリンダー箱錠の シリンダーなしタイプ	
	PD	本締り錠	框戸、自動ドアなどは、納まり寸法に応じて同等性能品から選定する。	ゴール AHD程度 美和ロック DH程度
	-E	同上 電気錠		美和ロック AL3M程度 ゴール EW程度
	-EHC	同上 電気錠(非常時解錠装置付き)	カバー式	
	CP	シリンダー箱錠	バックセット <握玉> *76mm以上 ・64mm以上 <レバーハンドル> ・76mm以上 *64mm以上 ・50mm以上	美和ロック MHS+LHS程度 ゴール AH・AHL程度
	-L	同上 自動施錠タイプ		美和ロック LAL程度 ゴール HL1程度
	-E	同上 電気錠		美和 AU程度 ゴール EU程度
	-HK	同上 非常時解錠装置付き	カバー式 解錠信号(*なし ・あり)	
	-H	同上 表示付き	非常開錠装置付き	
	HL	ホテル錠	・キータイプ ・カードタイプ(・差込み・非接触)	
	SL-1	引戸錠(鎌錠)	静音タイプ	美和ロック FG程度 ゴール SX5程度
	SL-2	引戸錠(上吊り戸用・ロッドタイプ)		美和ロック UD程度 ゴール TSD程度
	G-1	グレモン錠	ハンドル(*亜鉛合金 ・ステンレス)	美和ロック GT50程度 ゴール CWM程度
	G-2	グレモン錠(脱着ハンドル)		
	K-1	点検扉錠(面付け本締り錠)	キーシステム組み込み	美和ロック NDF程度 ゴール MDU程度
	K-2	点検扉錠(カムロック)	内部解錠可とする キーシステム組み込み	美和ロック PCL程度 ゴール KW程度
	K-3	点検扉錠(キーハンドル)	内部解錠可とする	
	PP	プッシュプル錠		
	FD	上げ落し(フランス落し)		
	FDA	自動上げ落し		
支持金物	H	丁番	室内の丁番の軸(*鋼製、ステンレス製)	
	PH-1	ピボットヒンジ(一般用)	*枠付け ・床付け	
	PH-2	ピボットヒンジ(ステンレス製)	ロストワックス又は削出し加工品	リョービ ジオプロ程度
	PH-3	特殊ピボットヒンジ(重量戸用)	戸の質量に応じたものとする	
	RH	連続丁番		東京鳳 ロートン ロングヒンジ程度
	TH	耐震丁番		美和ロック FH程度
	SH	軸吊りヒンジ	点検扉用	リョービ TKP程度
自閉装置付き支持金物	FH	フロアヒンジ	形式 ・浅型 ・一般型 防水仕様 ・防水型 ・一般型 カバー材質( )	
	HO-1	ヒンジクローザー(中心吊)		日東工器 オートヒンジ程度
	HO-2	ヒンジクローザー(丁番型)		日東工器 オートヒンジ程度
自閉装置	DC-1	ドアクローザー	ラッチング機能、ディレードアクション機能 バックチェック機能(*閉扉に当てる場合 ・遅戸) Grade-1適合品	リョービ 1000G1程度 日本ドアーチェック製造 7000程度
	DC-1a	ドアクローザー	ラッチング機能、ディレードアクション機能 バックチェック機能 (*屋外に面する場合 ・屋内)	リョービ 80程度 日本ドアーチェック製造 程度
	DC-2	ドアクローザー(コンシールド)	一般用	
	DC-2a	ドアクローザー(コンシールド)	重量戸用	ドルマ IT596程度
	DC-3	点検口用簡易ドアクローザー		日本ドアーチェック製造 TH2程度
	DC-4	ドアクローザー(コンシールド)	煙感連動	日本ドアーチェック製造 SAC程度
ハンドル・把手類	LH-1	レバーハンドル	ステンレスHL(錠製造者の標準品)	美和ロック 64程度 ゴール DU11S程度
	LH-2	レバーハンドル		
	LH-*	レバーハンドル		
	N	握玉	形状 :*Y形 ・球形 材質 :*ステンレス製 ・木製	シリンダー箱錠製造者程度 の標準品程度程度
	CSH	ケースハンドル		
	HH	掘込引手		
	DH-1	ドアハンドル		
	DH-2	ドアハンドル		
	PB-1	押引手バー	L=2000、樹脂加工木材、金物ステンレス	UNION T51-35-101-A程度
	PB-2	押引手バー		
その他	JC-1	閉鎖順位調整器(アーム式)	材質:*ステンレス ・鋼	リョービ JCN-*程度 日本ドアーチェック製造 SF-*F程度
	JC-2	閉鎖順位調整器(アーム式) (戸じゃくり組込みタイプ)	材質:*ステンレス ・鋼	リョービJCN-*C程度
	JC-3	閉鎖順位調整器 (上枠格納式)	材質:*ステンレス ・鋼	日本ドアーチェック製造 SF-*FK程度 東京鳳 COR-*程度
	VO	換気窓開閉装置	電動オペレーター(ワンタッチ式)	オイレス SLE300程度
	DS	戸当り	室内開き戸には原則設置	ユニオン UT-15程度
	AS	アームストッパー	*鋼(クロームめっき) ・ステンレス	
	ZOW	昇降式戸下踏タイト金物		東京鳳 ゼロオート マテックタイト程度
	SP	可動圏仕切		
	MP	移動圏仕切		

標準建具枠納まり 1/5



開き戸召し合せ部 1/5



くつずりの材質、形状と符号

符号	材質
ST-	ステンレス製

枝符号	1	2	3	4
	目地棒	戸厚幅	建具枠幅	建具枠幅

可動部分の気密性と符号

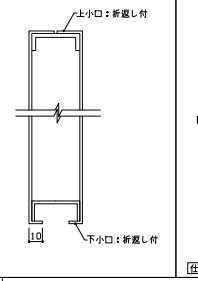
符号	仕様
SAT	特任16.4.2 f.による。
AT	特任16.4.2 g.による。
PAT	特任16.4.2 h.による。

ドアガラリの形状

型	1型	2型	3型	アンダーカット
形状				

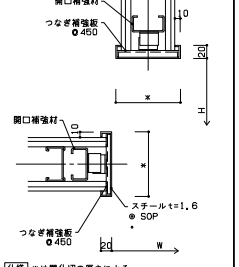
扉上下小口 1/2

JTST99208E



三方枠(開口部) 1/6

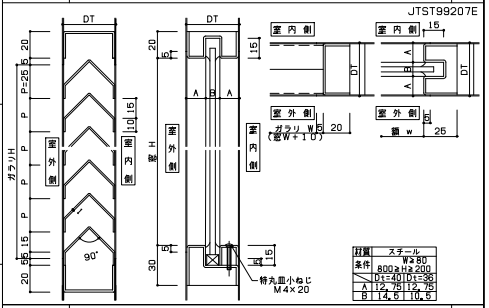
JTST10201E



仕様 *は開仕切の厚さによる。

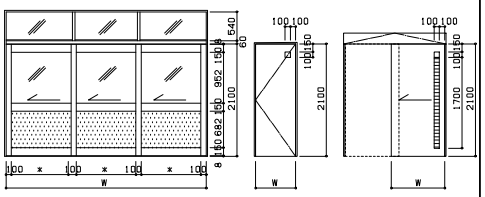
軽量鋼製建具 小窓 ガラリ 1/2

JTST99207E



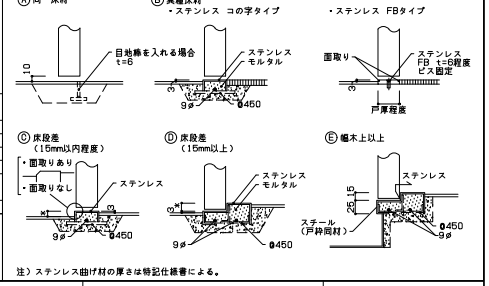
材質	スチール
条件	W≤80 800≧H≧200
	D1=40 D2=30
A	12.75 12.75
B	14.5 10.5

木製建具標準姿図 1/60



一般戸のくつずり(気密戸、防火戸等は別図による) 1/6

JTST07202E



注)ステンレス曲げ材の厚さは特記仕様書による。

審査	. .	. .	
検査	. .	. .	
監理		. .	
施工		. .	

日建設計

. .

(仮称)人生100年の学びの拠点
中頃別学園整備工事

建具共通事項

(通し番号 30)
6 - 1

No. J - 221730 - C

*17.01.01発行 仕様書委員会 作成

78×570